

平成20年度行政評価結果

| 政策            |               |              | 事務事業        |           |          |            |      |   | 施策評価  |        |       |             |        |  |   |               |        |
|---------------|---------------|--------------|-------------|-----------|----------|------------|------|---|---|--------|-------|-------------|--------|--|---|---------------|--------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)  | 事務事業名       | 所管        | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価 | 細事業名  | 直接事業費   | 人件費    | 人工数   | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度   | 翌年度予算<br>の方向性 |        |
| 01            | 安全            | 快適に暮らせるまちづくり |             |           |          |            |      |   | -   | -      | -     | -           |        |  |   |               |        |
|               |               | 01           | 生活しやすいまちづくり |           |          |            |      |   | -   | -      | -     | -           |        |  |   |               |        |
|               |               |              | 01          | 土地利用      |          |            |      |   | 74  | 1,094  | 0.14  | -           |        |  |   |               |        |
|               |               |              |             | 土地利用計画事業  | 都市整備課    | C          | 縮小   | 届出制であるため、市民の法遵守意識を啓発する必要がある   | 土地利用計画策定事務<br>公法届出審査事務<br>国土利用計画法届出審査事務<br>遊休土地調査事務   | 74     | 1,094 | 0.14        |        | 市民のみならず、市外県外の人にも法の趣旨などを周知する方策を県などと協議し検討する必要がある。                  | 農用地などの関係があるため、関係機関や他部署との連携を図る必要がある。                   | 3中立           | 平均的な配分 |
|               |               |              |             | 02        | 開発規制     |            |      |   | 42  | 3,892  | 0.47  | -           |        |  |   |               |        |
|               |               |              |             | 開発指導事務    | 都市整備課    | B          | 現状継続 | 開発関係申請書は、申請者からの許可申請により事務処理が行われるので計画的に進めることはできない。また、他部署と密接な連絡調整をする必要がある  | 都計法開発申請審査事務<br>県土保全条例申請審査事務<br>市条例開発申請審査事務<br>宅地造成規制法申請審査事務<br>屋外広告物条例申請審査事務                          | 42     | 3,892 | 0.47        |        | 無届、無秩序な開発を防止するため各区会などと協議を行いサポーター制度の導入を検討する必要がある。市公報による周知も必要と考える。 | 上位法との関連もあるので、県との情報交換をしながら乱開発の防止に努める必要がある。             | 3中立           | 平均的な配分 |
|               |               |              |             | 03        | 地域地区     |            |      |   | 75  | 10,303 | 1.25  | -           |        |  |   |               |        |
|               |               |              |             | 都市計画総括事業  | 都市整備課    | B          | 現状継続 | 都市計画は土地利用の基本であり、社会情勢の変化に応じて都市計画の見直しを行っていく必要がある。   | 都市計画総括事務<br>都市計画審議会運営事務<br>県都市計画協会会費及び負担金<br>県再開発推進協議会負担金<br>(財)都市計画協会会費<br>研修会等参加負担金                 | 35     | 3,944 | 0.42        |        | 都市計画制度についての理解が得られていないように思われるので、今後、市広報、ホームページ等を通してPRしてもらいたい。      | 現在策定中の都市計画マスタープランは国土利用計画(備前市計画)との整合を図る必要がある。          | 3中立           | 平均的な配分 |
|               |               |              |             | 建築指導事業    | 都市整備課    | B          | 現状継続 | 設計者及び建築主には、申請書提出前に情報提供(都市計画の規制、他関係法令)することによって、効率的な事務処理ができる。   | 建築確認申請審査事務<br>道路位置指定申請審査事務<br>建築基準法43条1項申請審査事務<br>建築基準法43条2項申請審査事務<br>大規模行為届出審査事務<br>福祉のまちづくり条例届出審査事務 | 40     | 6,359 | 0.83        |        |  |   |               |        |
|               |               |              |             | 04        | 都市交通施設   |            |      |   | 17,567  | 8,563  | 1.00  | -           |        |  |   |               |        |
|               |               |              |             | 都市交通施設事業  | 都市整備課    | A          | 現状継続 | 道づくりをまちづくりの基本として、安全で快適な都市活動を推進するため、積極的に推進する必要がある。   | 都市交通施設総括事務<br>都市計画法53条申請審査事務<br>県街路事業促進協議会負担金<br>全国街路事業促進協議会会費<br>都市計画道路修正事務                          | 853    | 3,713 | 0.39        |        | 都市計画道路については、目標達成の観点からも早期の見直しが必要であり、また駐車場については現状のまま進めること。         | 国、県管理の幹線街路については、道路管理者に要望すること。利用率の低い駐車場の率のアップ方法を検討のこと。 | 3中立           | 平均的な配分 |
|               |               |              |             | 市営駐車場管理事業 | 管理課(日生)  | B          | 現状継続 | 事業実施することで駐車違反の減少、市民の利便性が向上しつつある。地域によっては見直しの方が良い駐車場もある。駐車場事業は、一度整備すると修繕、改修費が余り必要でないのでコスト経費は余りかからない。現時点では、このままの管理運営が最善と考える。 | 一般駐車場管理事業<br>定期駐車場管理事業<br>市営駐車場管理事業   | 50     | 1,104 | 0.14        |        |  |   |               |        |
|               |               |              |             |           |          |            |      |   | 14,934  | 3,139  | 0.39  |             |        |  |   |               |        |
|               |               |              |             |           |          |            |      |   | 1,730   | 607    | 0.08  |             |        |  |   |               |        |

| 政 策           |               | 施 策              | 事 務 事 業       |       |          |            |  |                 |               | 施 策 評 価       |             |             |   |               |               |               |
|---------------|---------------|------------------|---------------|-------|----------|------------|--|-----------------|---------------|---------------|-------------|-------------|---|---------------|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)      | 事務事業名         | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名         | 直接事業費         | 人件費           | 人工数         | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント        | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               | <b>05 住宅</b>     |               |       |          |            |  |                 | <b>20,903</b> | <b>25,131</b> | <b>2.81</b> | -           |   |               |               |               |
|               |               |                  | 特定公共賃貸住宅助成金事業 |       |          |            |  | 特定公共賃貸住宅助成金事業   | 3,354         | 814           | 0.10        |             | 公営住宅については、老朽化も激しいため建替えも視野に入れて検討。宅地分譲については、価格を再検討し早期の完売を目指す。また、耐震診断については、最近の大規模地震の被害を考慮しもっとPRに努め診断件数を増やす努力を行う。また、Iターン、Uターンを考えている人のため空き家、貸し農地等を一元化した情報提供を行う必要がある。 | 同左            | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |                  | 市営住宅整備事業      | 都市整備課 | C        | 見直し        | 市営住宅の整備は法令の廃止がない限り、市が継続して実施して行くことになると考えられる。整備の方法は団地の統廃合を始め、建替、大規模改修（リフォーム）等があるが、必要性、緊急性、将来性等を総合的に検討し、長期的な整備計画を策定する必要がある。厳しい財政状況は厳然たる事実であるが、事業の必要性を訴え、財源を確保して着実に実施していく。   | 市営住宅建設事業        | 0             | 0             | 0.00        |             |   |               |               |               |
|               |               |                  | 市営住宅管理事業      | 都市整備課 | B        | 見直し        | 老朽化の進行に伴ない、修繕件数は増加し、修理コストも増大していく見込みである。当面は、現在の管理方法でいかにコストを削減し、対処的な対応には限界があると考えられる。団地の統廃合や、中高層の耐用年数の長い住宅への建替、比較的管理状態のいい団地の長寿命化を計るための改修等を盛り込んだ長期計画を早急に策定する必要がある。計画内容は市全体のバランスに考慮したもので、将来にわたり安定的な建替、改修が行われるよう配慮することが望まれる。 | 市営住宅維持管理事業      | 17,195        | 22,022        | 2.42        |             |   |               |               |               |
|               |               |                  | 宅地造成分譲事業      | 都市整備課 | C        | 現状継続       | 整備済みの分譲地の販売促進に努めているが、売上ができるよう広くPRする必要がある。販売コストを抑えることは重要であるが、販売価格を下げたことや、各分譲地の特長を有料的な広告等を用いてPRすることも必要ではないだろうか。  | 住宅用地造成事業        | 97            | 183           | 0.02        |             |   |               |               |               |
|               |               |                  |               |       |          |            |  | 住宅用地維持管理事業      | 145           | 259           | 0.03        |             |   |               |               |               |
|               |               |                  |               |       |          |            |  | 起債償還事業（元金）      | 0             |               |             |             |   |               |               |               |
|               |               |                  |               |       |          |            |  | 起債償還事業（利子）      | 0             |               |             |             |   |               |               |               |
|               |               |                  |               |       |          |            |  | 宅造特会繰出金事業       | 0             |               |             |             |   |               |               |               |
|               |               |                  |               |       |          |            |  | 一般会計繰出金事業       | 0             |               |             |             |   |               |               |               |
|               |               |                  | 三石財産区特会繰出金事業  | 0     |          |            |  |                 |               |               |             |             |   |               |               |               |
|               |               |                  | 建築物耐震診断等事業    | 都市整備課 | B        | 現状継続       | 平成15年度から補助制度として実施したが、5年目でありながら市民の関心があまり感じることができない。今後、大規模地震が発生する確率が高くなり、関心が高まれば相談件数が増えると思われる。相談の段階で制度の概要等関連説明を行い、県と連絡を取りながら進める必要がある。  | 建築物耐震診断等事業      | 112           | 1,853         | 0.24        |             |   |               |               |               |
|               |               | <b>06 土地区画整理</b> |               |       |          |            |  |                 | <b>0</b>      | <b>0</b>      | <b>0.00</b> | -           |   |               |               |               |
|               |               |                  | 土地区画整理事業      | 都市整備課 | D        | 休止         | 現在、土地区画整理事業は中断していることや、市町合併による新都市計画のうえからも、今後事業を検討していくことが必要である。  | 土地区画整理事務        | 0             | 0             | 0.00        |             | 事業の可能性についての判断が必要。   | 事業を検証する必要がある。 | 1低い           | 平均的な配分        |
|               |               | <b>07 公園緑地</b>   |               |       |          |            |  |                 | <b>4,232</b>  | <b>3,002</b>  | <b>0.33</b> | -           |   |               |               |               |
|               |               |                  | 公園整備事業        | 都市整備課 | B        | 現状継続       | 開園以来、老朽化している遊具には、特に注意が必要であり、また、公園施設内にも老朽化している施設がかなりあるため、年次的に整備を行っていく必要がある  | 公園整備事業          | 436           | 694           | 0.08        |             | 財政難の折、新たな公園整備は期待できないが、維持管理に力を入れ事故のない様に市民が安心して利用できる公園にしてほしい。   | 同左            | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |                  | 公園管理事業        | 都市整備課 | B        | 現状継続       | 安全な公園を目指し、遊具等の安全点検を公園管理マニュアルに基づき、定期的を実施するとともに、清掃（除草）作業について、市民協働による管理と公園利用者の公共意識の向上を図ることを目標とする  | 公園維持管理事業        | 2,370         | 2,031         | 0.22        |             |   |               |               |               |
|               |               |                  |               |       |          |            |  | (社)日本公園緑地協会会費   |               |               |             |             |   |               |               |               |
|               |               |                  |               |       |          |            |  | 全国都市公園整備促進協議会会費 |               |               |             |             |   |               |               |               |
|               |               |                  |               |       |          |            | 頭島グラウンドゴルフ場管理運営事業  | 1,426           | 277           | 0.03          |             |             |   |               |               |               |

| 政 策           |               | 施 策                  | 事 務 事 業       |      |          |            |   |  |   | 施 策 評 価  |  |             |  |  |               |               |
|---------------|---------------|----------------------|---------------|------|----------|------------|---|--|---|--|--|-------------|--|--|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)          | 事務事業名         | 所管   | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細 事 業 名  | 直接事業費   | 人件費  | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               | <b>08 水資源開発と水利利用</b> |               |      |          |            |   |  | <b>69,827</b>   | <b>14,641</b>  | <b>1.56</b>  | -           |  |  |               |               |
|               |               |                      | 水源施設維持管理事業    | 水道課  | B        | 現状継続       | 水質汚染が進む中、水質基準に適合した安全な水道水を使用者に供給するためには、水源の確保は重要である。また、浄水場も常にきれいに維持し、ポンプ効率の良い運転に心がける。   | 水源施設維持管理事業<br>水源保護審議会運営業務<br>岡山県広域水道企業団運営経費等負担金<br>吉井川坂根堰管理負担金<br>八塔寺川ダム管理費等負担金  | 54,298<br>0<br>10,195<br>4,560<br>774   | 14,641<br>0<br>0<br>0<br>0   | 1.56<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.00   | -           | コスト削減を図るために、浄水施設の運転及び保守業務について、効率化の観点から業務の部分委託も視野に入れた、民間委託の実施を検討するしてはどうか。                               | 事業、経営の効率を図るためにも外部委託の導入について検討する必要がある。                   | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               | <b>09 上水道及び簡易水道</b>  |               |      |          |            |   |  | <b>363,579</b>  | <b>125,819</b>   | <b>15.47</b>   | -           |  |  |               |               |
|               |               |                      | 上水道管理運営事業     | 水道課  | A        | 現状継続       | 水道事業は市民の日常生活に直結しており、欠くことのできないものであるため、有収水量の減少に伴い収入が減少し、施設の更新に伴う整備費用が増加する中で、給水の適正を保持し、安心・安全な水道水の安定供給を継続させるのに不可欠な事業である。  | 水道施設維持管理運営事業<br>水道施設建設事業<br>水道施設改良事業<br>水道審議会運営事務<br>水道事業計画事業<br>企業債管理事業<br>日本水道協会会費<br>日本水道協会中国四国地方支部会費<br>日本水道協会岡山県支部会費<br>吉井川下流水利用連絡協議会会費<br>吉井川坂根堰利水者協議会会費<br>岡山県電力協議会会費 | 108,700<br>14,091<br>167,476<br>0<br>0<br>0<br>166<br>67<br>26<br>23<br>0<br>16 | 39,020<br>5,049<br>17,014<br>0<br>1,282<br>644<br>0<br>0<br>0<br>111<br>111<br>0 | 4.92<br>0.52<br>2.55<br>0.00<br>0.13<br>0.06<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.01<br>0.01<br>0.00 | -           | 施設整備事業の実施に際しては、適正な稼働率で送配水ができるように施設の適正規模を見極める必要がある。また浄水場の運転・保守についても動力費等の削減を行い、常にコスト削減を意識した運転等に努める必要がある。 | 事業、経営の効率を図るためにも外部委託の導入について検討する必要がある。                   | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |                      | 水道料金賦課徴収事業    | 水道課  | C        | 見直し        | 平成20年度より隔月検針となり、直接事業費の削減となったが、水道料金の減収が続いている中未収金対策が重要である。  | 水道料金賦課徴収事業   | 26,632  | 38,571   | 4.63   | -           |  |  |               |               |
|               |               |                      | 簡易水道事業管理運営事業  | 水道課  | A        | 現状継続       | 安全な飲料水の供給は、地域住民の生活と健康に欠かすことのできないものであり、コスト削減に努めながら、今後とも継続必要がある。  | 簡易水道事業管理運営事業   | 25,868  | 5,017  | 0.57   | -           |  |  |               |               |
|               |               |                      | 飲料水供給施設管理運営事業 | 水道課  | B        | 見直し        | 水道は、市民の日常生活に直結し、欠くことのできないもので、安全な飲料水の供給を継続していくためには必要な事業である。  | 飲料水供給施設管理運営事業  | 8,161   | 6,135  | 0.68   | -           |  |  |               |               |
|               |               |                      | 簡易給水施設管理運営事業  | 水道課  | A        | 現状継続       | 安全な飲料水の供給は、地域住民の生活と健康に欠かすことのできないものであり、コスト削減に努めながら、今後とも継続必要がある。  | 簡易給水施設管理運営事業   | 6,104   | 4,562  | 0.51   | -           |  |  |               |               |
|               |               |                      | 水質管理事業        | 水道課  | A        | 現状継続       | 今後も厳しくなる水質基準（項目数の増、基準値が厳しくなる等）に対応するため、広域水道企業団、岡山県健康づくり財団と連携しながら技術力の向上に努める。  | 水質管理事業   | 6,249   | 8,303  | 0.88   | -           |  |  |               |               |
|               |               | <b>10 下水道</b>        |               |      |          |            |   |  | <b>5,782,748</b>  | <b>87,870</b>  | <b>11.42</b>   | -           |  |  |               |               |
|               |               |                      | 公共下水道施設整備事業   | 下水道課 | B        | 現状継続       | 人口密集地の重点的な整備及び工法の再検討により、整備の効率化、コスト削減をはかりながら整備を行っているが、今後、人口の減少、市民の節水意識の高まりによる流入量の減少などが見込まれることから、下水道全体計画の見直しを行っていく必要がある。  | 管渠整備事業<br>施設改築事業<br>認可変更委託業務<br>水道管外移設補償事業   | 320,796<br>333,690<br>0<br>42,831   | 26,260<br>2,454<br>1,762<br>169  | 3.84<br>0.26<br>0.19<br>0.02   | -           | 今後の整備については、「市民ニーズ、地域特性、コスト比較」など、総合的な判断からより一層事業の効率化を図る。経営基盤強化のため経営の計画性、透明性の向上を図りながら企業会計の導入を進める。         | 事業の効率化を図り、目標を早期に達成するためにも事業計画区域の見直し、整備手法の検討を早期に行う必要がある。 | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |                      | 浄化槽設置補助事業     | 下水道課 | C        | 現状継続       | 汚水処理は、下水道整備等との関連で地域の実情に応じての比較検討により効率的な方法を選択して整備を進めることが必要である。H20年度には下水道認可区域の拡大をおこなったので、浄化槽整備については補助申請件数が減少することが見込まれます。平成21年度からは補助内容の見直し（補助金額の増）をおこなったので、啓発活動とあわせて整備推進を図っていきたい。 | 浄化槽設置補助事業  | 14,702  | 968  | 0.13   | -           |  |  |               |               |

| 政 策           |               |             | 施 策            |       |          |            |   |  |   |   |  |             | 事務事業   |  |               |               |  | 施策評価 |  |  |  |  |
|---------------|---------------|-------------|----------------|-------|----------|------------|---|--|---|---|--|-------------|--|--|---------------|---------------|--|------|--|--|--|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名          | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細 事 業 名  | 直接事業費   | 人件費   | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |      |  |  |  |  |
|               |               |             | 雨水施設整備事業       | 下水道課  | B        | 現状継続       | 近年の異常気象の増加に伴う被害を解消するため、継続的に雨水管渠整備を推進して行く。雨水ポンプ場が完成したため、浸水解消が期待できる。                                  | 管渠整備事業<br>ポンプ場整備事業<br>水道管外移設補償事業   | 81,806<br>493,270<br>270                                  | 10,038<br>638<br>93                                   | 1.53<br>0.08<br>0.01   |             |  |  |               |               |  |      |  |  |  |  |
|               |               |             | 水洗化普及事務        | 下水道課  | C        | 現状継続       | 下水道整備の目的である生活環境の改善、公共用水域の保全を図るには水洗化率の向上が重要であり、啓発活動の充実は重要である   | 啓発事務<br>水洗便所改造資金融資斡旋事務   | 33<br>8   | 44<br>132   | 0.00<br>0.02   |             |  |  |               |               |  |      |  |  |  |  |
|               |               |             | 公共下水道施設管理事業    | 下水道課  | C        | 現状継続       | 処理コストを抑えるよう努力しつつ、処理場機能を最大限に発揮できるよう運転管理を行う。  | 浄化センター外管理事業<br>管渠施設管理事業  | 339,580<br>60,094   | 32,280<br>2,649                                       | 3.63<br>0.42   |             |  |  |               |               |  |      |  |  |  |  |
|               |               |             | 農業集落排水施設管理運営事業 | 下水道課  | B        | 現状継続       | 処理は概ね良好に行われており、引き続き処理機能を十分発揮できるよう維持管理を行う。   | 農業集落排水施設管理運営事業   | 55,938  | 572   | 0.07   |             |  |  |               |               |  |      |  |  |  |  |
|               |               |             | 漁業集落排水施設管理運営事業 | 下水道課  | B        | 現状継続       | 施設の老朽化の進行により修繕費が増大してきているが、処理は概ね良好に行われており、引き続き施設の処理機能を十分発揮できるよう計画的、効率的に改修等を行う必要がある。                  | 漁業集落排水施設管理運営事業   | 28,552  | 1,279   | 0.13   |             |  |  |               |               |  |      |  |  |  |  |
|               |               |             | 個別排水処理施設管理運営事業 | 下水道課  | C        | 現状継続       | 浄化槽は適正な機能を満たしている。   | 個別排水処理施設管理運営事業   | 21,709  | 158   | 0.02   |             |  |  |               |               |  |      |  |  |  |  |
|               |               |             | 排水設備検査事務       | 下水道課  | B        | 現状継続       | 今後も継続して、下水道協会岡山県支部と連携し責任技術者の技術レベルの向上と排水設備設置基準の周知を図る一方で、各接続者にも維持管理方法の周知を図っていく。                       | 排水設備検査事務   | 0   | 2,018   | 0.32   |             |  |  |               |               |  |      |  |  |  |  |
|               |               |             | 受益者負担金賦課徴収事務   | 下水道課  | C        | 見直し        | 督促の強化と制度の周知に一層取り組み収納率の向上を図ることが必要  | 受益者負担金賦課徴収事務   | 10,115  | 1,821   | 0.24   |             |  |  |               |               |  |      |  |  |  |  |
|               |               |             | 下水道財政管理運営事務    | 下水道課  | C        | 現状継続       | 下水道事業経営の独立採算制の原則に基づき、継続的な増収、経費削減への取り組みと長期的視野に立った整備計画、地方債管理等により下水道財政の健全化に務めていく必要がある。                 | 下水道審議会運営業務<br>日本下水道協会負担金<br>日本下水道協会中四国支部負担金<br>日本下水道協会岡山県支部負担金<br>和気赤磐共同コンポスト事務組合負担金<br>下水道事業債管理事務   | 0<br>291<br>41<br>165<br>10,736<br>3,952,854              | 0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>2,790                        | 0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.28                                 |             |  |  |               |               |  |      |  |  |  |  |
|               |               |             | 下水道使用料賦課徴収事務   | 下水道課  | C        | 現状継続       | 下水道使用料の徴収は、下水道事業の運営のために欠かせない業務であり、徴収事務を水道事業者に委託することは効率的で有効性にも優れている。今後も水道事業者と連携協議をしながらコスト縮減と成果向上を図る。 | 下水道使用料賦課徴収事務   | 15,267  | 1,745   | 0.23   |             |  |  |               |               |  |      |  |  |  |  |
|               |               |             | <b>11 道路</b>   |       |          |            |   |  | <b>501,752</b>  | <b>67,453</b>   | <b>9.59</b>  | <b>-</b>    |  |  |               |               |  |      |  |  |  |  |
|               |               |             | 国道等整備促進事業      | 都市整備課 | C        | 現状継続       | 早急な整備の完了は期待できないが、整備実現に向けて努力していく。  | 国道2号(岡山県東部)整備促進期成会負担金<br>国道2号(岡山県東部)整備促進期成会事務<br>国道2号(岡山県東部)整備促進要望事務<br>国道374号整備促進期成会会費<br>国道374号整備促進要望事務<br>国道250号整備要望事務<br>道路整備促進同盟会・全国協議会要望事務<br>(社)日本道路協会負担金<br>中国国道協会会費<br>中国横断自動車道建設促進岡山県期成会会費 | 200<br>395<br>224<br>50<br>46<br>0<br>91<br>30<br>60<br>2 | 92<br>395<br>224<br>0<br>46<br>0<br>91<br>0<br>0<br>0 | 0.13<br>0.06<br>0.06<br>0.00<br>0.06<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.00 |             | 財政難の今日、道路整備については、緊急性や費用対効果を十分に考慮し実施するよう心がけること。また、維持管理面では広報活動等を通じボランティア団体が増えるような方法を検討のこと。 | 架橋事業は、目標達成は可能であるが、用地買収を進めて欲しい。限られた予算ではあるが、緊急性や費用対効果を勘案して実施のこと。 | 4や高い          | 平均を上回る配分      |  |      |  |  |  |  |
|               |               |             | 県道改良事業         | 都市整備課 | C        | 現状継続       | 今後も整備箇所の要望は増加していくと思われるが、事業内容を見直すなどの改善を考慮しながら状況に応じた事業継続が必要である。                                       | 道路改良県工事負担金<br>県道改良要望事務   | 20,130<br>0   | 197<br>513  | 0.03<br>0.06   |             |  |  |               |               |  |      |  |  |  |  |



| 政 策           |               | 施 策            |              | 事 務 事 業 |          |            |  |                       |               | 施 策 評 価      |             |             |   |   |               |               |
|---------------|---------------|----------------|--------------|---------|----------|------------|--|-----------------------|---------------|--------------|-------------|-------------|---|---|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)    | 事務事業名        | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名               | 直接事業費         | 人件費          | 人工数         | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               | <b>12 公共交通</b> |              |         |          |            |  |                       | <b>79,821</b> | <b>3,467</b> | <b>0.37</b> | -           |   |   |               |               |
|               |               |                | J Rへの要望事務    | 企画課     | C        | 拡充         | J Rに対する要望は、利用者、地域住民の声を届け、要望の実現に向け働きかけることが重要である。利潤を求める民間事業者への要望はすぐに実現に結びつくとは限らないが、要望に反する改正を阻止する効果もあると思われる。公共交通の利用促進施策や、他市町との連携などとあわせ粘り強く働きかけを継続していく必要がある。   | J Rへの要望事務             | 0             | 185          | 0.02        |             | 公共交通対策については、国（岡山運輸支局）、県、地元交通事業者、公共交通会議、新たな定住自立圏形成推進圏域団体等の関係者との連携を密にして、具体策を検討、実施していく必要がある。 | どこまで公費で負担すべきか、住民の理解を得ながら経費の削減を図る方法はないか検討してみてください。 | 2やや低い         | 平均的な配分        |
|               |               |                | 公共交通利用促進対策事業 | 企画課     | C        | 拡充         | 公共交通の利便性向上はJ R、路線バス等を利用する利用者ももとより、外部から本市を訪れる方々にとっても有益である。また地域の活性化や本市への定住促進への取組みともリンクしており、この事業を推進充実させていくことは意義深いものがある。公共交通の運行事業者は民間事業者であり、採算ベースに乗らない場合、公共交通機関の減便や廃止につながることになる。人口減少やモータリゼーションの進展により、公共交通を利用する方は年々減少傾向にあるが、利用者減少に歯止めをかけないと、地域の公共交通は維持できなくなる可能性が高い。今後は車を利用している人も積極的にJ Rや路線バスを利用してもらおう啓発していくとともに、地球温暖化対策や観光施策なども連携した取組みを検討していく必要がある。 | J R赤穂線東片上駅前サークル広場関係事務 | 0             | 556          | 0.06        |             |   |   |               |               |
|               |               |                | 市営バス運行事業     | 企画課     | C        | 見直し        | この路線は、交通弱者にとって重要な交通手段であり、対象者・利用者が少なくとも運行維持の必要がある。平成19年6月より無料対象者制度を廃止し、スクール利用以外は100円均一料金としているが、路線バス運賃とのバランスも考え受益に応じた負担も今後は検討すべきと考える。来年度にはスクール利用者がなくなる予定なので路線の再編が必要と考える。   | 公共交通利用促進対策事務          | 0             | 482          | 0.05        |             |   |   |               |               |
|               |               |                | 路線バス維持事業     | 企画課     | C        | 見直し        | 一定の利用はあるものの全体的に利用者は減少傾向にあり、運行欠損に対する補助は増加傾向にある。市民からは増便等の要望もあるものの経費面を考えると難しい。今後は、極力市民の声に沿った路線やダイヤ等の見直しを図っていくとともに、バス以外の移動手段の検討やスクール運行との調整を視野に入れ交通体系全体を見直していく必要がある。なお、今後定住自立圏構想を推進する中で、公共交通の利便性向上について、関係市町と連携した取組みを検討していく。   | 市営バス運行業務              | 5,084         | 835          | 0.09        |             |   |   |               |               |
|               |               |                |              |         |          |            |  | 路線バス運行補助金             | 70,000        | 835          | 0.09        |             |   |   |               |               |
|               |               |                |              |         |          |            |  | 路線バス施設管理事業            | 32            |              |             |             |   |   |               |               |
|               |               |                |              |         |          |            |  | バス運行形態調査検討事務          | 0             |              |             |             |   |   |               |               |

| 政策            |               |             | 事務事業            |       |          |            |  |  |   | 施策評価   |  |             |  |  |               |               |  |
|---------------|---------------|-------------|-----------------|-------|----------|------------|--|--|---|--|--|-------------|--|--|---------------|---------------|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名           | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細事業名   | 直接事業費   | 人件費  | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |
|               |               |             | 旧片上鉄道沿線地域活性化事業  | 企画課   | C        | 見直し        | この路線は、本市と和気町、赤磐市、美咲町を結ぶ唯一の公共交通機関であり、沿線地域の活性化を促進する意味でも重要な役割を担っている。しかし、年々利用者が減少している（和気町内でデマンド交通システム導入などが利用者減少の一因であると考えられる）ことから、今後は、実態を調査して、事業者とともに見直す必要がある。減便により利用者は減少傾向にある。成果指標の見直しが必要。                                 | 片上・柵原間バス事業負担金<br>片鉄沿線地域活性化対策協議会運営事務  | 4,700<br>5  | 574  | 0.06   |             |  |  |               |               |  |
|               |               |             | <b>13 港湾・漁港</b> |       |          |            |  |  | <b>87,909</b>   | <b>7,841</b>   | <b>0.83</b>  | -           |  |  |               |               |  |
|               |               |             | 港湾管理運営事業        | 都市整備課 | C        | 見直し        | 東備港内の岡山県管理施設の使用許可事務については、岡山県の利用条例により備前市に委託されているが、施設修繕対応等の維持管理事務については、施設管理者である岡山県が実施することになる。港湾利用者が安全に効率よく施設利用を行えるよう県担当と協議を行い、修繕を要請する必要がある。また、明石埠頭では、周辺住民から粉塵に関する苦情も寄せられていることから、県担当課や港湾利用者との協議を行い、適切な港湾利用について調整を図る必要がある。 | 東備港片上港区管理委託事業<br>東備港鶴海地区小型船舶係留施設使用許可事務<br>県港湾管理事業(新開・坂田水門)負担金<br>(社)日本港湾協会会費<br>港湾都市協議会分担金<br>県港湾漁港協会会費<br>瀬戸内海の道ネットワーク推進協議会会費<br>全国海岸協会会費<br>港湾施設維持管理事業<br>東備港日生港区野積み場管理事業<br>東備港日生地区小型船舶係留施設使用許可事務<br>港湾統計事務 | 22,847<br>49<br>2,051<br>50<br>9<br>0<br>60<br>30                         | 289<br>349<br>0  | 0.05<br>0.06<br>0.00   |             | 委託金、負担金の見直しを県と協議し進めてほしい。特に、片上港区委託事業については、県において指定管理者制度の導入を強力に進めてほしい。  | H21年度に臨港地区(日生)に指定したので今後は、高潮対策等について工事実施を要望していくこと。           | 4 やや高い        | 平均的な配分        |  |
|               |               |             | 港湾建設事業          | 都市整備課 | C        | 現状継続       | 今後も整備箇所の要望は増加していくと思われるが、事業内容を見直すなどの改善を考慮しながら状況に応じた事業継続が必要である。  | 港湾改修県工事負担金<br>港湾改修要望事務   | 18,018  | 1,128  | 0.13   |             |  |  |               |               |  |
|               |               |             | 鴻島港整備事業         | 都市整備課 | A        | (空白)       | 台風時の高波により度々落橋していた浮橋が、事業を行ったことにより改善され、利用者の安心・安全が図れた。今後は、地元住民への連絡体制を確立し、荒天時には早期に対応を行い浮橋が安全・安心して利用できるようにする必要がある。  | 鴻島港整備事業  | 20,580  | 897  | 0.15   |             |  |  |               |               |  |
|               |               |             | 漁港整備事業          | 都市整備課 | C        | 現状継続       | 漁業の盛んな地域であり島民の多くが水産加工業に携わるなど市の産業経済に与える影響は大きく一定の成果が得られている。  | 漁港整備県工事負担金(補助)<br>漁港整備県工事負担金(単独)   | 11,835<br>12,380  | 0  | 0.00<br>0.00   |             |  |  |               |               |  |
|               |               |             | <b>14 ごみ処理</b>  |       |          |            |  |  | <b>316,690</b>  | <b>151,783</b>   | <b>25.36</b>   | -           |  |  |               |               |  |
|               |               |             | 循環型社会推進事業       | 環境課   | B        | 見直し        | 循環型社会の構築は、今後とも推進する必要がある。多様化してくる。それらの需要に答えるため、現行の制度の見直しを繰り返しながら推進していく必要がある。生ごみ処理容器購入補助金や資源ごみ回収推進団体報奨金はともに市民に好評な事業であり、直接的にゴミの減量化・資源化につながるだけでなく、リサイクル意識の向上にもつながるため、循環型社会の構築に有益な事業であるため今後も継続が望まれる。                         | 循環型社会推進事業<br>資源ごみ回収推進事業<br>廃棄物減量化・資源化対策等推進協議事業<br>生ごみ処理容器購入費補助事業   | 0<br>8,694<br>65<br>800   | 107<br>634<br>146  | 0.02<br>0.12<br>0.03<br>0.04   |             | ごみ焼却維持管理事業についてはランニングコストの削減に努力をするとともに、効率的な収集を検討する必要がある。最終処分場維持管理事業については、より一層の資源化を図り、施設の延命化に努める必要がある。市民に対しても資源化・減量化の啓発に努める必要がある。 | ごみの広域化も視野にいれながら、分別・資源化・減量化をさらに推進し、市民の理解が得られるよう業務遂行に努められたい。 | 3 中立          | 平均的な配分        |  |
|               |               |             | ごみ処理施設管理事業      | 環境課   | B        | 現状継続       | 施設の延命、処理コストの削減を図るため、ごみの資源化・減量化を引き続き行っている。施設の維持管理については、備前ブロックごみ処理広域化の動向に注視しながら行っている。  | 備前ごみ処理施設維持管理事業<br>日生ごみ処理施設維持管理事業<br>不燃物前処理委託事業<br>備前最終処分場維持管理事業<br>日生最終処分場維持管理事業<br>全国都市清掃会議中国・四国地区協議会負担金<br>全国都市清掃会議中国・四国地区協議会負担金<br>東備環境施設連絡協議会負担金<br>廃棄物処理施設技術管理者協議会会費<br>岡山県廃棄物処理施設整備等促進協議会負担金             | 67,287<br>21,955<br>26,011<br>6,736<br>6,800<br>80<br>0<br>30<br>30<br>30 | 26,590<br>272<br>5,381<br>9,149<br>364<br>0<br>0<br>0<br>0 | 4.04<br>0.04<br>0.89<br>2.02<br>0.05<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.00 |             |  |  |               |               |  |

| 政 策           |               |             | 施 策                   |     |          |            |  |                             |                       |                       |                       |             | 事務事業   |                                     |               |               | 施策評価 |  |  |  |
|---------------|---------------|-------------|-----------------------|-----|----------|------------|--|-----------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-------------|--|-------------------------------------|---------------|---------------|------|--|--|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名                 | 所管  | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名                     | 直接事業費                 | 人件費                   | 人工数                   | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント                              | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |      |  |  |  |
|               |               |             |                       |     |          |            |  | 岡山県適正困難処理指定廃棄物対策協議会負担金      | 20                    | 0                     | 0.00                  |             |  |                                     |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                       |     |          |            |  | 職員研修会等負担金                   | 17                    | 0                     | 0.00                  |             |  |                                     |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 生活環境改善事業              | 環境課 | B        | 現状継続       | 前年度と比べて、設置（補助）数は減っており、整備は進んでいるものと思われるが、片上、伊里地区において、『拾い』が依然として目立つ。<br>予算にも限りがあるが、要望を踏まえつつ、緊急性のある地区、未整備地区を重点的に整備を進めていき、最終的に『拾い』ゼロを目指す。   | 環境衛生改善補助事業                  | 1,685                 | 334                   | 0.05                  |             |  |                                     |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 塵芥収集事業                | 環境課 | (空白)     | 見直し        | 循環型社会の形成に向け、分別収集の拡充を目指すことが求められている。さらに、分別数の増加と収集の効率化という相反する要素をバランスよく取り入れる必要がある。平成20年度については、古紙の分別収集を開始し、可燃ごみの減量化に一定の成果を収めている。  | 塵芥収集事業<br>指定ごみ袋事業<br>苦情処理事務 | 68,844<br>16,804<br>0 | 103,495<br>1,881<br>0 | 17.38<br>0.31<br>0.00 |             |  |                                     |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 和気北部衛生施設組合負担金事業       | 環境課 | B        | 見直し        | 備前市は、和気北部衛生施設組合に加入しており、施設の運営費、建設費の負担金、分担金を納付しなければならない。<br>負担金の一部は前年度のごみ処理量によっても決定されているため、ごみの減量化に努める必要がある。<br>また現在、和気北部衛生施設組合に委託しているごみ処理事業は、現在協議中の備前広域環境施設組合のごみ処理施設（平成26年度稼働予定）へ移行する計画であり、実施されれば現有施設は廃止されるため、平成21年度より解体費用等の積立を開始する。   | 和気北部衛生施設組合負担金               | 63,340                | 697                   | 0.07                  |             |  |                                     |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | リサイクル施設整備事業           | 環境課 | (空白)     | 廃止・完了      | 備前第一清掃工場及び日生清掃工場焼却炉は休止後、数年が経過し、閉鎖していたが、循環型社会形成推進交付金を利用することにより解体・撤去を行った。また、跡地には古紙・ペットボトルのストックヤードを整備し、資源回収の拠点として活用を行っている。  | リサイクル施設整備事業                 | 16,262                | 1,005                 | 0.11                  |             |  |                                     |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 備前地域ごみ処理広域化事業         | 環境課 | (空白)     | 現状継続       | ごみの処理は避けられない問題であり、広域化は以前から協議されてきたが、前に進んでいなかったが、事務局が変更になり、事業が前に進んでいる。本市としても、今後とも推進する必要がある。  | 備前地域ごみ処理広域化事業               | 11,200                | 1,534                 | 0.19                  |             |  |                                     |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | <b>15 し尿処理</b>        |     |          |            |  |                             | <b>47,050</b>         | <b>26,138</b>         | <b>3.39</b>           | <b>-</b>    |  |                                     |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | し尿処理施設維持管理事業          | 環境課 | C        | 見直し        | 下水道の普及等によりし尿・浄化槽汚泥の収集・処理量はさらに減少すると予測されるが、法令に基づき今後も適正な処理を行う必要がある。処理施設の運営にあたっては、コストの削減に努めており、単位当りの処理コストは年々減少している。<br>処理施設の老朽化は長年の課題であり、下水道や浄化槽の普及により処理対象物の量や性状が年々変化していることも踏まえ、設備や能力の見直しが必要である。合併前より単独処理施設の建替えや大規模改修について協議されており、合併後は下水道接続及び和気赤磐し尿処理施設への処理委託といった選択肢も含めて検討しているが、未だ最終決定に至っていない。施設の耐用年数が超過しており早急な対応が必要であることから、H21年度中には方針を決定し、計画を前進させる必要がある。 | し尿処理施設維持管理事業                | 30,088                | 26,031                | 3.38                  |             | 衛生センターは老朽化しており、更新時期が来ている。市民生活に支障をきたさないように年度計画を作成し、関係部署と調整すること。 | 施設が老朽化している中で、今後の方向性について協議を進める必要がある。 | 3 中立          | 平均的な配分        |      |  |  |  |
|               |               |             |                       |     |          |            |  | 岡山県し尿処理施設協議会負担金             | 15                    | 107                   | 0.01                  |             |  |                                     |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 和気赤磐し尿処理施設一部事務組合負担金事業 | 環境課 | B        | 現状継続       | 備前市は、吉永地域のし尿処理に関し、和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合に加入しており、構成団体として施設の管理、運営費の分担金を納付しなければならない。   | 和気赤磐し尿処理施設一部事務組合負担金         | 16,947                | 0                     | 0.00                  |             |  |                                     |               |               |      |  |  |  |



| 政 策           |               | 施 策              |                   | 事 務 事 業 |          |            |   |  |  | 施 策 評 価              |                              |             |  |   |               |               |
|---------------|---------------|------------------|-------------------|---------|----------|------------|---|--|--|----------------------|------------------------------|-------------|--|---|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)      | 事務事業名             | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細 事 業 名  | 直接事業費  | 人件費                  | 人工数                          | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               | <b>16 火葬場・墓地</b> |                   |         |          |            |   |  | <b>36,210</b>  | <b>13,259</b>        | <b>2.34</b>                  | -           |  |   |               |               |
|               |               |                  | 斎場維持管理事業          | 環境課     | B        | 現状継続       | 施設の老朽化等により、施設の維持費は年々増加していくと思われる。現状では、コストの削減は難しい。祭壇業務については民間に同一のサービスがあるため廃止もしくは業務の縮小が必要である。備前斎場と日生斎場とで、使用料が異なるため統一する必要がある。   | 備前斎場維持管理事業<br>日生斎場維持管理事業<br>県トラック協会会費  | 13,254<br>9,835<br>34  | 11,692<br>357<br>0   | 2.12<br>0.04<br>0.00         |             | 日生斎場を廃止し、備前斎場への1本化ができないか。市有墓地の造成と適正管理が必要である。                               | 墓地需要が多いことから、造成に向けた検討を行うこと。                              | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |                  | 和気北部衛生施設組合斎場負担金事業 | 環境課     | B        | 現状継続       | 備前市は和気北部衛生施設組合に加入しており、主に吉永地域の火葬執行に組合で運営する火葬施設を使用しており、施設の管理、運営費の分担金を組合規約に基づき納付しなければならない。   | 和気北部衛生施設組合斎場負担金  | 5,617  | 0                    | 0.00                         |             |  |   |               |               |
|               |               |                  | 市有墓地管理事業          | 環境課     | (空白)     | 現状継続       | 現在の市有墓地は残区画数が減少しているため、市民の墓地需要に対応するために、区画を造成する必要がある。備前地域：残区画数2、日生地域：残区画数0、吉永地域：残区画数36  | 市有墓地施設管理事業<br>市有墓地整備事業<br>市債元金・利子償還事業  | 1,765<br>0<br>5,705  | 1,152<br>58<br>0     | 0.17<br>0.01<br>0.00         |             |  |   |               |               |
|               |               | <b>17 情報通信</b>   |                   |         |          |            |   |  | <b>165,511</b>   | <b>17,073</b>        | <b>2.19</b>                  | -           |  |   |               |               |
|               |               |                  | 情報インフラ整備事業        | 企画課     | A        | 拡充         | 民間事業者への働きかけにより、伊部・浦伊部・久々井地区はFWAの導入により、B・Bゼロエリアは大幅に解消している。また、事業者の協力を得て次世代高速データ通信が可能な携帯電話のカバーエリアは充実してきている。残る未ブロードバンドエリアについては事業者の利益が見込めずどうしても残ってしまうため、携帯電話不感エリアの一掃と兼ねて市が事業を実施するほか解消手段はない。国のICT交付金を利用して持ち出しを最小限に抑えて事業を実施していく。 | ラストワンマイル対策業務<br>携帯不感地域対策業務   | 0<br>0   | 199<br>574           | 0.02<br>0.06                 |             | 地デジ対策について、移行時期が迫ってきているので、注視して対応していたが、市民の方が移行後、安心して地上デジタル放送を視聴できるよう努めていきたい。 | 地上デジタル放送への対応は進んでいるが、ブロードバンド化は、市民にとってどこまで必要なのか。検討の必要がある。 | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |                  | 地上デジタル放送対応事業      | 企画課     | B        | 拡充         | 共聴組合加入世帯の不公平感解消を図るため、国の補助制度に沿って事務を進めていく必要がある。また、県の独自補助とあわせて市でも財政負担を避けられない状況となつてはいるが、必要性の高い事業である。今後、新たな難視問題等も懸念され、国・放送事業者によるデジタルカバーエリアの拡大や衛星セーフティネットなどの代替策の充実を求めていくことが必要である。   | 地上デジタル放送対応事務   | 16   | 4,913                | 0.57                         |             |  |   |               |               |
|               |               |                  | 地域情報拠点施設の整備事業     | 企画課     | B        | 現状継続       | 今後とも既存施設の安定接続を維持していくことが重要である。当面は人件費中心の事業と想定され、施設移転がない時期は事業費も少なくなるが、施設移転等の場合は必須の事業で廃止できるものではない。  | 地域情報拠点施設の整備業務（各施設援助等）  | 0  | 299                  | 0.03                         |             |  |   |               |               |
|               |               |                  | ネットワーク維持業務        | 企画課     | A        | 見直し        | 行政運営上、ネットワークの安定稼働は市行政（職員ポータル・財務会計等）や学校運営に欠かせない基盤である。基幹業務にも影響を及ぼすため、安定稼働の堅持は最優先されるべきものである。   | 通信運搬 プロバイダー・フレックグループ<br>光ファイバ保険<br>自設線保守業務（電子自治体推進協議会）<br>光ファイバ電柱共架料等  | 3,753<br>437<br>6,773<br>1,991   | 0<br>0<br>199<br>158 | 0.00<br>0.00<br>0.02<br>0.02 |             |  |   |               |               |
|               |               |                  | 公共システム維持事業        | 企画課     | A        | 見直し        | 行政運営上、公共システムの安定稼働は業務に欠かせない基盤である。市民サービスにも影響を及ぼすため、安定稼働の堅持は最優先されるべきものである。   | 全国町字ファイル保守業務<br>情報ネットワーク保守委託<br>電算業務保守委託<br>地籍等システム保守委託<br>地籍等システムリース<br>戸籍システム維持業務<br>土木積算システム維持業務<br>情報ネットワークシステム維持業務<br>基幹業務システム維持業務<br>地籍等システム維持業務 | 236<br>5,534<br>5,534<br>0<br>4,391<br>3,119<br>79,217<br>50,406<br>14,513 | 0.79                 |                              |             |  |   |               |               |

| 政策            |               |             | 事務事業                   |            |          |            |   |  |               | 施策評価          |             |             |   |   |               |               |  |
|---------------|---------------|-------------|------------------------|------------|----------|------------|---|--|---------------|---------------|-------------|-------------|---|---|---------------|---------------|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名                  | 所管         | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細事業名   | 直接事業費         | 人件費           | 人工数         | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |
|               |               |             | 行政情報化推進事業              | 企画課        | B        | 拡充         | 直接事業費の大幅減は、事業費の大半を占めていた住基ネット維持業務が機器更新により市民課に移管されたことによる。これ以外はLGWAN保守や各種負担金であり、これ以上の削減は難しい。パソコン等の故障に対しては、ハードディスク交換程度は職員が対応し、事業費の削減と共に機器の延命化に成果を上げている。<br>ICカード&証明書自動交付機については継続検討しているが、財政的に取組みが困難な状況が続いている。GISに関しては、ASP板での利用導入へ方向転換を検討中。 | LGWANシステム保守業務<br>住民基本台帳ネットワーク保守業務<br>電子申請利用推進業務<br>電子自治体推進協議会運営負担金<br>地方自治情報センター関係業務<br>HP動画コンテンツ等充実業務<br>職員等問い合わせ対応業務<br>パソコン等簡易修理業務<br>次期システム等検討業務 | 659           | 58            | 0.01        |             |   |   |               |               |  |
|               |               |             | 情報化適応人材育成事業            | 企画課        | B        | 現状継続       | 職員が研修講師を行うなどコスト抑制努力をしている。<br>市民の皆様向けには民間で同様のサービスが充実していることから市として実施する時期は終了したものとみなす。今後は職員向けスキルアップ、及び効率的な行政運営のため、内部研修を充実させることが重要である。  | ITリーダー等研修業務<br>地域公民館等講習業務  | 0             | 642           | 0.09        |             |   |   |               |               |  |
|               |               |             | <b>18 有線テレビ放送</b>      |            |          |            |   |  | <b>12,444</b> | <b>28,347</b> | <b>4.87</b> | -           |   |   |               |               |  |
|               |               |             | 番組制作事業                 | 有線テレビ放送制作室 | C        | 見直し        | 番組審議会の意見を参考に企画番組等の充実を図る必要がある。また、放送形態や番組編成について見直しを図る必要がある。   | 番組制作業務<br>番組制作審議会業務<br>ケーブルテレビ振興協議会業務  | 5,090         | 27,161        | 4.75        |             | デジタル化へ向けた機器整備と番組制作を民間委託するための委託条件や番組構成案を至急作成し諸手続きの準備をすること。                                       | 老朽化の機器更新やデジタル化対応の機器の財源確保の努力を。また民間活力の導入に対しても対相手との協議を進めるように。      | 3中立           | 平均的な配分        |  |
|               |               |             | 民営化・民間委託推進事業           | 有線テレビ放送制作室 | B        | 廃止<br>完了   | 日生有線テレビ(株)を委託先として委託内容や放送形態などの条件を調査、研究、協議してきたが、合意に至っていないので、今後も更に協議を深め、経費節減のため民間委託を推進する必要がある。   | 民営化・民間委託推進研究業務<br>第3セクターとの調整業務   | 0             | 521           | 0.05        |             |   |   |               |               |  |
|               |               |             | 放送設備機器整備事業             | 有線テレビ放送制作室 | C        | 拡充         | 更新した機器は安定稼働しているが、未だ多くの機器が老朽化しており不安が残る。また地上デジタル放送への機器整備の実施はこれからであり、機器整備には多額の経費が必要となることから財政状況を勘案しながら計画の見直しを行う。<br>しかしながら、平成23年7月までには何らかの対策が必要である。そして、放送設備の整備には民間委託とも深い関係がある。  | 放送設備機器整備業務   | 7,234         | 251           | 0.03        |             |   |   |               |               |  |
|               |               |             | <b>02 自然と共生するまちづくり</b> |            |          |            |   |  | -             | -             | -           | -           |   |   |               |               |  |
|               |               |             | <b>01 環境保全</b>         |            |          |            |   |  | <b>68,653</b> | <b>30,627</b> | <b>5.46</b> | -           |   |   |               |               |  |
|               |               |             | 大気汚染防止事業               | 環境課        | B        | 見直し        | 大気汚染常時監視については、更に欠測データを減らすために測定機器に十分な保守管理を行う必要がある。また、周辺環境等の状況変化に応じ調査内容を改善しながらの事業継続が必要である。  | 大気環境測定局維持管理事業<br>大気汚染監視事業<br>測定機器整備事業<br>環境改善施設等整備助成事業<br>届出受付事務<br>苦情処理事務   | 6,935         | 274           | 0.04        |             | 地球温暖化防止対策の一環として、クリーンエネルギーを活用した事業展開に取組む必要がある。また、市民への積極的な啓発活動も必要。大気汚染防止事業については、より正確で適正な調査に留意すること。 | 地球温暖化防止対策をはじめ、市民の環境保全に対する意識は高まっている。今後も関係機関と協力し、環境保全に努めていく必要がある。 | 3中立           | 平均的な配分        |  |
|               |               |             | 休廃止鉱山鉱害防止事業            | 環境課        | B        | 見直し        | 修繕は出来るだけ入れ札・見積競争を取り入れたためコスト削減につながった。国の補助の動向に注視し、できるだけコストがかからない鉱害対策を行っていく必要がある。目的である坑廃水の中和处理は達成できている。  | 休廃止鉱山鉱害防止事業  | 56,853        | 17,698        | 3.76        |             |   |   |               |               |  |
|               |               |             | 水質汚濁防止事業               | 環境課        | B        | 現状継続       | 大規模な測定箇所の削減と集約を行い、真に把握が必要とされる箇所のみ測定体制にしたので、大きくコストが下がった。合わせて全市的に環境水の値が良くなった傾向が見受けられる。  | 水質調査測定事業<br>測定機器整備事業<br>岡山三川水質汚濁防止協議会負担事務<br>苦情処理事務<br>金剛川浄化対策協議会運営事務  | 1,903         | 416           | 0.06        |             |   |   |               |               |  |

| 政 策           |               | 施 策         |                       | 事 務 事 業 |          |            |  |   |  |  | 施 策 評 価  |             |   |  |               |               |
|---------------|---------------|-------------|-----------------------|---------|----------|------------|--|---|--|--|--|-------------|---|--|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名                 | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名   | 直接事業費  | 人件費  | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               |             | 騒音・振動対策事業             | 環境課     | B        | 現状継続       | 法に規制されているものであり、発生源者からの事前届出により事前指導を実施することで苦情の未然防止に努めている。発生源者には法を遵守するように立入検査による指導を行っており、市民の住環境を守るうえで必要な事業である。  | 届出受付事務<br>苦情処理事務  | 0<br>0   | 158<br>234   | 0.02<br>0.03   |             |   |  |               |               |
|               |               |             | まほろば事業                | 環境課     | B        | 現状継続       | 3年限定の事業であるが一部4年目に事業延長された。温暖化防止対策の先進的プロジェクトとして全国からも注目を集めており、市内への事業投資効果も現れ始めていて、今後の事業運営管理が必要となっている。  | まほろば事業  | 0  | 3,279  | 0.41   |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 地球温暖化防止対策事業           | 環境課     | B        | 現状継続       | 今後は、他の事業や関係団体と連携し普及啓発の拡大を図り、温暖化防止に努めていく。   | 地球温暖化防止対策事業   | 0  | 1,532  | 0.18   |             |   |  |               |               |
|               |               |             | <b>02 環境美化</b>        |         |          |            |  |   | <b>5,674</b>   | <b>7,735</b>   | <b>1.04</b>  | <b>-</b>    |   |  |               |               |
|               |               |             | 放置自動車・自転車対策事業         | 環境課     | (空白)     | 現状継続       | 市民からのニーズが高く、今後とも継続していく必要がある事業である。迅速な対応により同一場所での発生を抑制するとともに、景観の保全に努める必要がある。コスト削減については困難であるが、事務処理等の効率化を図り、コスト削減を心がける。  | 放置自動車対策事業<br>放置自転車対策事業<br>使用済自動車等海上輸送費補助金   | 179<br>0<br>0  | 436<br>569<br>58   | 0.07<br>0.10<br>0.01   |             | 環境衛生指導委員と連携しながら、地域の実情を考慮しつつ、環境美化の推進を図ること。防疫事業は、薬剤の配付および機器の貸出し等について見直す必要がある。   | 快適環境への意識機運を促し、協働のまちづくりを推進していくこと。                     | 3 中立          | 平均的な配分        |
|               |               |             | 環境衛生事業                | 環境課     | B        | 現状継続       | 環境衛生指導委員の定数増により、更なる環境衛生思想の普及を図った。防疫用薬剤については、本来の使用目的以外で使用している人がいるため、使用方法の指導を行えば、配布数は減になりコスト削減につながる。防疫用機械については、使用後の効果は1ヶ月ほどしかなく、成虫は殺せても卵までは殺せない。また油剤を使用するため、危険な機械である。貸出数は、年々減ってきているが、貸出には十分注意を図る必要がある。 | 環境衛生指導委員会事業<br>環境衛生事業<br>不法投棄処分事業<br>個人墓地経営許可事業<br>諸島地区汲取り支援事業<br>諸島地区葬祭事業費補助金<br>県環境衛生協会東備支部負担金<br>日生地区清掃支援事業<br>東備食品衛生協会助成金<br>苦情処理事務 | 3,702<br>816<br>298<br>0<br>47<br>80<br>402<br>70<br>80<br>0 | 2,473<br>2,487<br>1,173<br>539<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0 | 0.31<br>0.31<br>0.16<br>0.08<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.00 |             |   |  |               |               |
|               |               |             | <b>03 省資源・省エネルギー</b>  |         |          |            |  |   | <b>614</b>   | <b>2,026</b>   | <b>0.27</b>  | <b>-</b>    |   |  |               |               |
|               |               |             | 環境保全対策事業              | 環境課     | B        | 拡充         | 今後も学校等の総合学習を利用させていただき、子供の頃から環境に対する知識を習得することで、地域での環境意識の拡大を図ることで、地域環境の保全に寄与するものと考えられることから、継続した事業の展開と拡大が必要である。  | 環境保全対策審議会運営事務<br>こどもエコクラブ推進事業<br>各種教室等実施事業  | 0<br>0<br>0  | 216<br>0<br>76   | 0.03<br>0.00<br>0.01   |             | 国・県の補助事業を利用した効率的な事業展開を図るとともに、市民に様々な情報提供を行い、省エネ化への関心を今以上に高めるための啓発活動を実施する必要がある。 | 省資源・省エネルギー対策については、全国的な課題でもあり広く市民に情報の提供や啓発活動を行う必要がある。 | 3 中立          | 平均を上回る配分      |
|               |               |             | 庁用物品調達管理事業            | 財政課     | C        | 見直し        | 複合機のプリント枚数が増加し、プリンターやファックス、印刷機の使用枚数が減少しているが、複合機の利便性の良さから総プリント枚数が増加していると予測される。今後は、総プリント枚数の削減により省資源、省エネルギーに貢献する必要がある。  | 庁用物品調達管理事業<br>燃料関係事務  | 614<br>0   | 349<br>1,385   | 0.06<br>0.17   |             |   |  |               |               |
|               |               |             | <b>04 環境ISO</b>       |         |          |            |  |   | -  | -  | -  |             |   |  |               |               |
|               |               |             | <b>03 災害に強いまちづくり</b>  |         |          |            |  |   | -  | -  | -  |             |   |  |               |               |
|               |               |             | <b>01 河川改修・砂防施設整備</b> |         |          |            |  |   | <b>70,736</b>  | <b>9,529</b>   | <b>1.50</b>  | <b>-</b>    |   |  |               |               |
|               |               |             | 県河川維持管理事業             | 都市整備課   | C        | (空白)       | 地域住民が安心して生活するために橋門の管理は必要であり、今後も引き続き管理していかなければならない。   | 橋門等管理委託事務<br>吉井川下流改修促進協力会負担金<br>ダム所在市町村全国協議会負担金<br>河川維持管理要望事務   | 435<br>29<br>5<br>8  | 108<br>0<br>17<br>227  | 0.01<br>0.00<br>0.00<br>0.02   |             | 財政状況を考慮し、費用対効果、緊急性を十分に考え事業を実施していただきたい   | 市民との協働により、適正な維持管理を進めて欲しい。                            | 4 やや高い        | 平均を上回る配分      |
|               |               |             | 河川改良事業                | 都市整備課   | B        | 見直し        | 大雨による災害に対応するためには欠かせない事業であるので、後背地の状況から投資効果を十分考慮して優先順位を決定し、年度計画の策定及び早期整備を行っていく必要がある。   | 河川改良事業  | 47,103   | 7,289  | 1.22   |             |   |  |               |               |

| 政 策           |               |             | 施 策                        |       |          |            |  |  |                       |                                |                              |             | 事務事業   |  |               |               | 施策評価     |  |  |  |  |
|---------------|---------------|-------------|----------------------------|-------|----------|------------|--|--|-----------------------|--------------------------------|------------------------------|-------------|--|--|---------------|---------------|----------|--|--|--|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名                      | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名  | 直接事業費                 | 人件費                            | 人工数                          | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |          |  |  |  |  |
|               |               |             | 河川維持管理事業                   | 都市整備課 | B        | 現状継続       | 維持管理予算は市財政の悪化により、削減を余儀なくされている中で、河川・水路の破損及び老朽化による維持修繕予定箇所は右肩上がりになっている状況である。現在、当該事業においては、破損箇所を十分精査し、安全・安心の観点から優先順位をつけて実施しているが、更なる事業費削減及び事務処理機能向上を図る必要がある。  | 河川維持管理事業   | 23,156                | 1,625                          | 0.23                         |             |  |  |               |               |          |  |  |  |  |
|               |               |             | 急傾斜地崩壊対策事業                 | 都市整備課 | C        | (空白)       | 危険区域指定地のほとんどが整備されているが、近年の異常気象により局地的な天候などによる土砂災害が発生しており、危険区域未指定地については新たに区域指定を受けて整備して域必要がある  | 急傾斜地崩壊対策事業県工事負担金<br>急傾斜地崩壊対策事業要望事務                 | 0<br>0                | 0<br>263                       | 0.00<br>0.02                 |             |  |  |               |               |          |  |  |  |  |
|               |               |             | <b>02 ため池・治山対策</b>         |       |          |            |  |  | <b>0</b>              | <b>1,875</b>                   | <b>0.23</b>                  | -           |  |  |               |               |          |  |  |  |  |
|               |               |             | ため池整備事業                    | 農林水産課 | B        | 現状継続       | 未改修のため池が多く残っており今後も本事業による改修を推進していく必要があるが、高齢化等による農業者の減少に伴いたため池も受益者が減少する一方、非農家が増えるなど情勢の変化により、本事業の目的もかんがい施設としてだけでなく防災面での比重が高くなりつつある。こうした状況の変化により、池の管理や分担金確保など地元の協力体制がとりにくくなってきていることや、盛土材料の確保が困難になりつつあり工事費が増大する恐れがあることなどから、地元の意見も反映しつつ、コスト削減が図られる全面改修以外の選択肢も検討していかなければならない。 | 県営ため池整備事業  | 0                     | 1,010                          | 0.12                         |             | 事業の緊急性、投資効果を考慮し、地元調整を十分に行い、計画的に事業採択、実施できるよう岡山県との協議をすすめる。 | 地元負担等多大な費用を要するため、なかなか整備が進まず長期化する傾向にあり、効果的に実施できるよう県に要望すること。 | 4             | やや高い          | 平均を上回る配分 |  |  |  |  |
|               |               |             | 治山事業                       | 農林水産課 | (空白)     | 現状継続       | 土砂災害防止のため、今後も事業を継続していく必要があり、保全対象の多寡や緊急性等により優先順位を検討する必要がある。また事業が円滑に進捗するよう地元調整に努めなければならない。   | 県営治山事業   | 0                     | 865                            | 0.11                         |             |  |  |               |               |          |  |  |  |  |
|               |               |             | <b>03 海岸整備</b>             |       |          |            |  |  | <b>2,264</b>          | <b>563</b>                     | <b>0.07</b>                  | -           |  |  |               |               |          |  |  |  |  |
|               |               |             | 農林海岸施設管理事業                 | 農林水産課 | B        | 現状継続       | 農林海岸背後地の保全のため必要な事業であり、経年により保全対象が変化してきているが、近年の高潮台風に対応できるよう緊急箇所を検討した上で、整備を進める必要がある。  | 県営農林海岸施設整備事業<br>海岸施設管理委託料                          | 2,094<br>170          | 563<br>0                       | 0.07<br>0.00                 |             | 経年劣化による施設の老朽化がみられる箇所もあり、早期に整備が必要となっていることから、県に予算の確保を要望する。 | 海岸背後の状況や既設状況を充分検討した上で、集中化・重点化した整備改修を県に要望すること。              | 3             | 中立            | 平均的な配分   |  |  |  |  |
|               |               |             | 海岸整備事業                     | 都市整備課 | C        | 現状継続       | 協議会協賛の海岸清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」は年1回の開催であり、各団体との情報交流も専用ホームページを通じたもので、会費に尾見合うだけの成果が見受けられない。今後は海岸清掃活動については継続していくが、備前・日生地区と調整して会場を決定する。  | 県への要望事務(備前)<br>県への要望事務(日生)<br>海岸安全施設整備事業           | 0<br>0<br>0           | 0<br>0<br>0                    | 0.00<br>0.00<br>0.00         |             |  |  |               |               |          |  |  |  |  |
|               |               |             | <b>04 安全で安心して暮らせるまちづくり</b> |       |          |            |  |  | <b>-</b>              | <b>-</b>                       | <b>-</b>                     | -           |  |  |               |               |          |  |  |  |  |
|               |               |             | <b>01 交通安全</b>             |       |          |            |  |  | <b>9,562</b>          | <b>11,608</b>                  | <b>2.01</b>                  | -           |  |  |               |               |          |  |  |  |  |
|               |               |             | 交通安全啓発事業                   | 市民課   | A        | 現状継続       | 交通事故の直接効果を求めることは困難であるが、市民の交通安全意識の高揚には不可欠であり、引き続き実施すべき事業である。  | 交通安全啓発事務<br>交通安全運動実施事業<br>交通安全教室開設事業<br>交通安全用品設置事業 | 601<br>59<br>87<br>56 | 4,506<br>2,486<br>1,043<br>304 | 0.84<br>0.41<br>0.34<br>0.03 |             | 官民一体となって、交通安全意識を高めるため施策を展開することが必要である。(特に幼児と高齢者を重点に)      | 高齢者の被害件数が増加していることから、さらに高齢者対策に重点を置いた取組が必要である。               | 3             | 中立            | 平均的な配分   |  |  |  |  |
|               |               |             | 交通安全団体支援事業                 | 市民課   | A        | 見直し        | 市からの補助金等の削減も限界に来ているが、活動が縮小しないよう継続して支援していく必要がある。  | 市交通安全対策協議会補助金<br>県交通安全母の会負担金<br>市交通安全母の会負担金        | 100<br>19<br>50       | 648<br>105<br>49               | 0.06<br>0.01<br>0.01         |             |  |  |               |               |          |  |  |  |  |
|               |               |             | 交通安全施設整備事務                 | 市民課   | A        | 現状継続       | 各地区からの要望については、必要性を十分協議・検討した上で、提出しよう努める。  | 警察要望書提出書類  | 0                     | 336                            | 0.03                         |             |  |  |               |               |          |  |  |  |  |
|               |               |             | 交通安全施設整備事業                 | 都市整備課 | B        | 拡充         | 必要とされている事業であり、事業により交通事故防止が図られていると思われる。今後も重点的に行う必要のある事業である。   | 交通安全施設整備事業   | 5,997                 | 890                            | 0.14                         |             |  |  |               |               |          |  |  |  |  |

| 政 策           |               | 施 策         |                 | 事 務 事 業 |          |            |  |  |  | 施策評価   |  |             |  |  |               |               |
|---------------|---------------|-------------|-----------------|---------|----------|------------|--|--|--|--|--|-------------|--|--|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名           | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名  | 直接事業費  | 人件費  | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               |             | 交通安全施設維持管理事業    | 都市整備課   | B        | 現状継続       | 施設は毎年増えており、施設の修繕も一挙には行えないので、毎年行っていく必要がある。NPO、ボランティア団体等の参画を考えていく必要がある。  | 交通安全施設維持管理事業   | 2,276  | 316  | 0.04   |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 市営駐輪場維持管理事業     | 市民課     | B        | 現状継続       | 市民の生活環境の保全を図るため必要な業務であり、撤去・処分を迅速に行い、放置されにくい環境づくりに努める。また、駐輪場付近の放置自転車は、不用になり廃棄していると考えられることから、関係部署と連携し、適正処理を促していく必要がある。 | 市営駐輪場維持管理事業  | 317  | 925  | 0.10   |             |  |  |               |               |
|               |               |             | <b>02 消防・防災</b> |         |          |            |  |  |  | <b>826,680</b>   | <b>18,415</b>  | <b>2.45</b> |  |  |               |               |
|               |               |             | 消防施設管理事業        | 総務課     | C        | 見直し        | 消火栓、防火水槽などの消防施設は、火災からの被害を減らす施設であることから、その整備及び維持管理は重要な業務である。また、消防車両、可搬ポンプなどの消防資機材の更新や配備は、今後も必要に応じて整備することが必要である。        | 消防施設管理<br>消防施設整備工事<br>消防施設備品<br>消火栓移動負担金<br>水道新設負担金  | 701<br>441<br>0<br>194<br>0                                    | 507<br>158<br>357<br>0<br>0                            | 0.08<br>0.02<br>0.04<br>0.00<br>0.00                         |             | 高潮・津波等の大規模災害に備え、自主防災組織の充実を目指し、要援護者の把握を行い、非常備消防においては団員確保のため協力事業所の働きかけを更に進めてほしい。 | 着実に数値は上がっており、市民満足度も高い。今後、今準備している消防団協力事業所の募集を行い、活動の中心である消防団がより充実するよう進めてほしい。 | 4 やや高い        | 平均的な配分        |
|               |               |             | 防災行政無線管理事業      | 総務課     | D        | 見直し        | 機器の老朽化による更新や、デジタル化の必要性があるが、安価で有効な方法を研究しながら、財政事情等により機会を見て移動系無線の全市の統一を図る。なお、同報系無線については、現状を維持しながら今後の課題とする。              | 防災行政無線管理<br>防災行政無線整備工事<br>防災行政無線備品<br>電波利用負担金<br>県防災行政無線管理運用経費負担金  | 2,438<br>0<br>0<br>137<br>21,081                               | 636<br>0<br>0<br>0<br>100                              | 0.09<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.01                         |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 水害対策事業          | 総務課     | C        | 見直し        | 台風、梅雨前線による集中豪雨、高潮、局地的なゲリラ豪雨など多様な水害に対処するため、水防資機材を準備し、自主防災組織など地域住民の協力を得て、減災に努めていかなければならない。                             | 水害対策資機材<br>水害対策整備工事  | 618<br>431   | 350<br>134   | 0.05<br>0.02   |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 津波非難誘導路設置事業     | 総務課     | B        | 廃止・完了      | 本市は、東南海・南海地震対策推進地域に指定されており、津波避難看板設置による津波に対する意識の喚起は重要である。この事業を通じて、沿岸市民のみならず、その地域を訪れる人々の防災意識向上が図られた。                   | 津波非難誘導路設置  | 514  | 299  | 0.03   |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 自主防災組織活動支援事業    | 総務課     | C        | 見直し        | 備前市自主防災組織活動事業助成金交付要綱に基づき、助成金を交付することによって、地域での自主防災組織の結成と防災意識の向上が図られることから、今後も防災対策を進めていかなければならない事業である。                   | 備蓄資機材等整備<br>自主防災組織活動事業助成金<br>コミュニティ助成事業自主防災組織活動事業助成金   | 0<br>1,068<br>1,500  | 0<br>2,209<br>100                                      | 0.00<br>0.23<br>0.01   |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 災害対応型自動販売機設置事業  | 総務課     | B        | 現状継続       | 災害対応型自動販売機に搭載しているメッセージボードを利用して、市民に防災情報を伝えることができるため、情報伝達の一つの方法として有効である。また、災害時には無料提供により飲料水の確保ができる。                     | 災害対応型自動販売機設置   | 0  | 257  | 0.03   |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 常備消防負担金事業       | 総務課     | C        | 見直し        | 市民の生命財産を守る必要があることから、設備、装備の充実が欠かせないが、費用縮減のための精査を要する。  | 東備消防組合負担金  | 716,128  | 0  | 0.00   |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 非常備消防分団活動支援事業   | 総務課     | C        | 見直し        | 近年、各分団とも、地域の若者が減少し、入団者が減少傾向にある。また、被雇用者である団員が多く、出動、訓練への参加など活動可能団員の実数が減少しつつあるなかで、非常時に備え、日頃から訓練、予防活動を行っている。             | 分団活動<br>防災訓練<br>県市町村総合事務組合組合負担金<br>団員福祉共済負担金<br>都市消防連絡協議会負担金<br>備前地区消防連絡協議会負担金<br>東備圏域消防連絡協議会負担金<br>県操法大会負担金<br>県消防協会負担金 | 44,901<br>40<br>25,319<br>3,462<br>19<br>53<br>0<br>180<br>100 | 8,378<br>3,492<br>0<br>0<br>0<br>0<br>268<br>251<br>76 | 1.21<br>0.42<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.04<br>0.03<br>0.01 |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 非常備消防施設管理事業     | 総務課     | C        | 現状継続       | 消防器庫が74箇所あり、団員数や活動実態に合わせて、統廃合を検討する必要があるが、地域での防災活動拠点としての機能もあり、最低限の維持管理は必要である。   | 消防器庫管理<br>分団消防備品   | 1,218<br>471   | 250<br>116   | 0.04<br>0.02   |             |  |  |               |               |

| 政 策           |               | 施 策         |                            | 事 務 事 業 |          |            |   |                 |                |                | 施 策 評 価      |             |   |  |               |               |
|---------------|---------------|-------------|----------------------------|---------|----------|------------|---|-----------------|----------------|----------------|--------------|-------------|---|--|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名                      | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細 事 業 名         | 直接事業費          | 人件費            | 人工数          | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               |             | 非常備消防車両管理事業                | 総務課     | C        | 見直し        | 消防車両の維持管理を行う上で、必要最低限の経費であるが、車体が年数を経過し、不具合が生じやすくなっている。財政上更新はなかなか難しいが、管理している消防団の協力により、不具合を生じないように努めている。   | 消防車両管理          | 5,666          | 308            | 0.05         |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 合併調整事業                     | 総務課     | (空白)     | 廃止<br>完了   | 新消防団としての整備が、19年度で完了   | 活動損失            | 0              | 0              | 0.00         |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 合併調整事業                     | 総務課     | (空白)     | 廃止<br>完了   | 新消防団としての整備が、19年度で完了   | 分団活動            | 0              | 169            | 0.02         |             |   |  |               |               |
|               |               |             | <b>03 地域防犯</b>             |         |          |            |   |                 | <b>4,416</b>   | <b>4,922</b>   | <b>0.51</b>  | -           |   |  |               |               |
|               |               |             | 防犯活動啓発事業                   | 市民課     | B        | 現状継続       | 地域の安全は、地域で守るとの意識の高揚が安全安心まちづくりには大切であり、市が率先して啓発活動・防犯パトロールを実施することにより、より一層の意識の高揚を図り、犯罪抑止に努める。   | 防犯啓発活動事業        | 23             | 2,139          | 0.21         |             | 犯罪防止は警察の業務であるが、犯罪抑止は警察・市・地域が連携して防犯体制を強化することが重要であり、防犯意識の高揚を図るとともに地域防犯活動団体への積極的な支援が必要である。 | 犯罪が複雑化、多様化している中で、警察等との情報交換により市民への確かな情報提供を行うことが必要。                    | 3 中立          | 平均的な配分        |
|               |               |             | 防犯活動啓発事業                   | 市民課     | B        | 現状継続       | 地域の安全は、地域で守るとの意識の高揚が安全安心まちづくりには大切であり、市が率先して啓発活動・防犯パトロールを実施することにより、より一層の意識の高揚を図り、犯罪抑止に努める。   | 防犯パトロール事業       | 20             | 260            | 0.03         |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 防犯施設整備事業                   | 市民課     | C        | 見直し        | 犯罪発生を未然に防ぐために、市の対策として防犯施設の整備は重要であるが、特に防犯灯については、市と地域の役割分担を構築し、地域の自主管理の推進による効率化を図る必要がある。  | 防犯灯管理事業         | 2,385          | 1,112          | 0.12         |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 防犯活動支援事業                   | 市民課     | A        | 現状継続       | 犯罪発生を未然に防ぐために、市の対策として防犯施設の整備は重要であるが、特に防犯灯については、市と地域の役割分担を構築し、地域の自主管理の推進による効率化を図る必要がある。  | 地区防犯活動団体支援事業    | 200            | 557            | 0.06         |             |   |  |               |               |
|               |               |             |                            |         |          |            |   | 防犯灯設置事業         | 331            | 531            | 0.06         |             |   |  |               |               |
|               |               |             |                            |         |          |            |   | 備前防犯連合会負担金      | 1,455          | 43             | 0.00         |             |   |  |               |               |
|               |               |             |                            |         |          |            |   | 市・和気郡国際化対策連絡会費  | 2              | 0              | 0.00         |             |   |  |               |               |
|               |               |             | <b>04 国民保護</b>             |         |          |            |   |                 | -              | -              | -            |             |   |  |               |               |
|               |               |             | <b>05 消費生活</b>             |         |          |            |   |                 | <b>140</b>     | <b>1,297</b>   | <b>0.15</b>  | -           |   |  |               |               |
|               |               |             | 消費生活推進事業                   | 市民課     | A        | 拡充         | 消費生活を取り巻く環境の変化は著しく、専門知識を有した専任の相談員配置が求められているところであるが、現体制で消費者教育及び消費者保護のための継続的な啓発活動等を実施するとともに、消費生活センターと連携して適切な相談が行えるよう相談担当職員の資質の向上に努める事が必要と考える。                       | 消費生活啓発事業        | 30             | 507            | 0.06         |             | 消費生活関係の研修会への参加者数及び協議会会員の増員に努めるとともに、積極的な広報啓発事業を推進する必要がある。                                | 県消費生活センターとの連携を強化し、啓発活動や相談体制の充実を図ること。                                 | 3 中立          | 平均的な配分        |
|               |               |             | 消費生活推進事業                   | 市民課     | A        | 拡充         | 消費生活を取り巻く環境の変化は著しく、専門知識を有した専任の相談員配置が求められているところであるが、現体制で消費者教育及び消費者保護のための継続的な啓発活動等を実施するとともに、消費生活センターと連携して適切な相談が行えるよう相談担当職員の資質の向上に努める事が必要と考える。                       | 消費生活相談事業        | 0              | 332            | 0.03         |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 消費生活団体支援事業                 | 市民課     | B        | 現状継続       | 消費生活団体には、消費生活に関する知識を地域住民へ広く普及させることを期待するものであり、今後も消費生活に関する講座情報などの提供等、積極的な支援が求められる。  | 消費生活問題研究協議会事業   | 110            | 458            | 0.06         |             |   |  |               |               |
|               |               |             |                            |         |          |            |   | 市消費生活問題研究協議会補助金 |                |                |              |             |   |  |               |               |
|               |               |             | <b>02 健康でやさしさあふれるまちづくり</b> |         |          |            |   |                 | -              | -              | -            |             |   |  |               |               |
|               |               |             | <b>01 やさしさあふれるまちづくり</b>    |         |          |            |   |                 | -              | -              | -            |             |   |  |               |               |
|               |               |             | <b>01 子育て支援</b>            |         |          |            |   |                 | <b>637,390</b> | <b>436,343</b> | <b>70.20</b> | -           |   |  |               |               |
|               |               |             | 特別保育事業                     | こども課    | B        | 拡充         | 小児化や地域社会の繋がり希薄化・就労形態の多様化に伴い今後ますます多様な特別保育の実施ニーズの高まりが予想される。身近で地域で安心して子育てできる環境づくりは、重要な課題であり、次世代行動計画に沿って地域のバランスや市民ニーズを把握しながら事業の拡充を検討する必要がある。                          | 一時保育事業          | 13,772         | 12,516         | 2.64         |             | 市民意識調査の結果を受け、平成21年度策定予定である、「次世代育成支援後期行動計画」等に盛り込むなど、事業見直しを行い重点的・効率的な事業展開に努める必要がある。       | 市民意識調査では、重要度は増加しているが、満足度は下がっている。これまでの事業の検証を行い市民ニーズにあった事業を進めていく必要がある。 | 4 やや高い        | 平均を上回る配分      |
|               |               |             | 特別保育事業                     | こども課    | B        | 拡充         | 小児化や地域社会の繋がり希薄化・就労形態の多様化に伴い今後ますます多様な特別保育の実施ニーズの高まりが予想される。身近で地域で安心して子育てできる環境づくりは、重要な課題であり、次世代行動計画に沿って地域のバランスや市民ニーズを把握しながら事業の拡充を検討する必要がある。                          | 休日保育事業          |                |                |              |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 公立保育園管理運営事業                | こども課    | C        | 見直し        | 関係法令で設置を義務づけられた施設であるが、保育に欠ける子どもを持つ家庭はもとより、未就園児の家庭も含め、地域における子育て支援を提供する施設として、今後において保育園の役割が重要になっている。運営については、保育料の見直しや幼保一体化も含めた統廃合などコスト削減の努力を行いながら、民間委託についても検討する必要がある。 | 保育園運営事業         | 178,138        | 376,508        | 61.99        |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 公立保育園管理運営事業                | こども課    | C        | 見直し        | 関係法令で設置を義務づけられた施設であるが、保育に欠ける子どもを持つ家庭はもとより、未就園児の家庭も含め、地域における子育て支援を提供する施設として、今後において保育園の役割が重要になっている。運営については、保育料の見直しや幼保一体化も含めた統廃合などコスト削減の努力を行いながら、民間委託についても検討する必要がある。 | へき地保育所運営事業      | 3,256          | 9,105          | 1.03         |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 私立保育園運営委託事業                | こども課    | C        | 現状継続       | 国県市負担金を財源とした委託事業のため、今後も適正に算定し、事業を継続して行う必要がある。   | 私立保育園運営委託事業     | 18,938         | 152            | 0.02         |             |   |  |               |               |

| 政 策           |               |             | 施 策             |      |          | 事 務 事 業    |  |                  |         |        |      | 施策評価        |        |        |               |               |
|---------------|---------------|-------------|-----------------|------|----------|------------|--|------------------|---------|--------|------|-------------|--------|--------|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名           | 所管   | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名          | 直接事業費   | 人件費    | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント | 部長コメント | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               |             | 幼保一体型施設整備事業     | こども課 | C        | 現状継続       | 伊里地区幼保一体事業は平成20・21年度の継続費で施設整備を予定。吉永地区は平成21年度に実施設計、平成22・23年度の施設整備予定としている。   | 幼保一体型施設整備事業      | 59,591  | 13,484 | 1.32 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 私立保育園運営費補助事業    | こども課 | C        | 現状継続       | 厳しい経営状態が続き市への依存度も高くなっているが、公私の格差を是正するため、事業は継続する必要がある。   | 私立保育園運営費補助事業     | 2,165   | 0      | 0.00 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 地域組織活動育成事業      | こども課 | C        | 現状継続       | 活動費助成を行うことで園児、家庭児童の保護者の活発な活動ができ、園児、家庭児童の健全な育成に寄与できている。   | 地域組織活動育成事業       | 1,520   | 152    | 0.02 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 児童遊園地管理事業       | こども課 | C        | 現状継続       | 児童遊園地の施設数は充足していると考えられる。施設が老朽化してくるから、緊急性や安全性を重視し事業を進める。ただし、利用者数や、地域要望を考慮しながら遊具等の撤廃も考える必要があると考える。  | 児童遊園地管理事業        | 2,543   | 641    | 0.08 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 家庭相談事業          | こども課 | C        | 現状継続       | 子育て環境や時代の情勢などの変化により、子育ての不安や問題も多様化しており、その解消に向けた相談を今後も継続して実施する必要がある。   | 家庭児童相談室運営事業      | 1,387   | 93     | 0.01 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 放課後児童クラブ事業      | こども課 | C        | 見直し        | 今後も地域のニーズに応じた開設が必要、開設場所の多くは、小学校であり(7クラブ)諸課題の解決に刃、教育委員会の協議が必要になる。また、利用者が小学校児童であるので教育委員会の積極的な関与が必要と考えられる。また教育委員会主導して実施する「放課後児童こどもプラン」の実施について検討する必要がある。   | 放課後児童クラブ運営委託事業   | 12,881  | 2,054  | 0.25 |             |        |        |               |               |
|               |               |             |                 |      |          |            |  | 放課後児童クラブ施設維持補修事業 | 891     | 215    | 0.02 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 子育て交流センター管理運営事業 | こども課 | C        | 現状継続       | 他部署との連携を図りながら、施設の有効活用を促進し、市民の子育て支援活動が広がるよう検討する必要がある。   | 子育て交流センター管理運営事業  | 1,098   | 518    | 0.09 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 子育てネットワーク活動支援事業 | こども課 | B        | 拡充         | 子育て関係グループが情報交換や協働することにより身近に子育てのニーズにあった子育て支援活動が期待できる。H20年度にネットワーク「あおぞら」を立ち上げ、今後、子育て支援の活動の連携や拡充が期待できる。   | 子育てネットワーク活動支援事業  | 0       | 549    | 0.06 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 地域子育て支援拠点事業     | こども課 | B        | 拡充         | 子育てへの負担感の緩和を図り、安心して子育てが出来る環境を整備することは、本市の重要施策の1つであり、次世代育成支援行動計画に沿って、今後も市民のニーズにあった子育て支援事業の充実、市内の実施箇所を増設していく必要がある。  | 地域子育て支援センター事業    | 2,796   | 554    | 0.06 |             |        |        |               |               |
|               |               |             |                 |      |          |            |  | つどいの広場運営事業       | 1,985   | 487    | 0.06 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 児童手当等給付事業       | こども課 | C        | 現状継続       | 国の制度に則して処理しており、対象者の把握にも努力している。   | 児童手当給付事業         | 276,015 | 5,173  | 0.68 |             |        |        |               |               |
|               |               |             |                 |      |          |            |  | 特別児童扶養手当事務事業     | 0       | 76     | 0.01 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 次世代育成支援対策事業     | こども課 | B        | 見直し        | 子どもたちが健やかに生まれ育つ健康づくりを行うことは、本市にとって重要な課題であり、次世代育成支援行動計画に基づき18年度から市民参加型・提案型の子育てイベントを実施「おぎやと21」については、山陽新聞社主催で実施したが、H20は、「こども応援フェスタ」については、市単独事業として実施した。地域の子育て関係団体や地域の協力団体と協働して行い今後も、地域で子育てを支援する必要がある。 | 次世代育成支援行動計画策定事業  | 881     | 1,743  | 0.18 |             |        |        |               |               |
|               |               |             |                 |      |          |            |  | こどもイベント事業        | 480     | 3,140  | 0.38 |             |        |        |               |               |
|               |               |             |                 |      |          |            |  | ファミリーサポート事業      | 523     | 1,983  | 0.23 |             |        |        |               |               |
|               |               |             |                 |      |          |            |  | 子育て応援隊事業         | 0       | 782    | 0.09 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 子育て家庭応援カード交付事業  | こども課 | B        | 現状継続       | 子どもを生み育てやすい環境づくりに繋がる事業であり、広くカードが行き渡るよう対象者に周知する必要がある。   | 子育て家庭応援カード交付事業   | 0       | 152    | 0.09 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 乳幼児医療費助成事業      | 保健課  | A        | 現状継続       | 本制度は、子育て支援の一環として岡山下全市町村が同様の事業を実施している。疾病にかかりやすい乳幼児の子育て期間中の保護者の経済的な負担を軽減し、安心して医療が受けられる体制整備ができており、乳幼児の健やかな成長に貢献している。  | 乳幼児医療費助成事業       | 49,093  | 2,398  | 0.36 |             |        |        |               |               |

| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業               |       |      |        |  |                           | 施策評価           |               |             |         |   |   |           |           |
|---------------|---------------|-------------|--------------------|-------|------|--------|--|---------------------------|----------------|---------------|-------------|---------|---|---|-----------|-----------|
|               |               |             | 事務事業名              | 所管    | 評価区分 | 今後の方向性 | 総合評価   | 細事業名                      | 直接事業費          | 人件費           | 人工数         | 施設への貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント  | 基本施策への貢献度 | 翌年度予算の方向性 |
|               |               |             | 児童生徒医療費助成事業        | こども課  | C    | 現状継続   | 制度は定着してきている傾向があり給付も年々増加してきているが、出生数は減少し転出者は増加している結果となっており、受給対象者は減少傾向である。保護者の経済的負担は軽減できているが少子化や定住化には効果が現れていない状況である。財政状況も非常に厳しいことから、現状での制度の安定に努める必要がある。 | 児童生徒医療費助成事業               | 9,137          | 2,282         | 0.34        |         |   |   |           |           |
|               |               |             | 弱視等治療用眼鏡等購入費助成事業   | こども課  | B    | 現状継続   | 備前市では19年度より実施しており児童福祉の向上を目指して、助成制度を対象者に広くHP・広報等で周知することが必要である。  | 弱視等治療用眼鏡等購入費助成事業          | 59             | 751           | 0.08        |         |   |   |           |           |
|               |               |             | 子育て応援特別手当給付事業      | こども課  | C    | 廃止完了   | 国の制度に則して、市民の不利益にならないよう適切に事務処理を行っている。   | 子育て応援特別手当給付事業             | 139            | 835           | 0.11        |         |   |   |           |           |
|               |               |             | <b>02 ひとり親家庭福祉</b> |       |      |        |  |                           | <b>125,366</b> | <b>4,602</b>  | <b>0.61</b> | -       |   |   |           |           |
|               |               |             | 児童扶養手当等給付事業        | こども課  | C    | 現状継続   | 国の制度に則して処理しており、対象者の把握にも努力している。   | 児童扶養手当給付事業                | 110,722        | 3,187         | 0.42        |         | ひとり親家庭などの医療費公費負担、県施策と連携した母子・寡婦福祉資金貸付などの経済的支援の更なる充実にも努める必要がある。併せてハローワーク等と協力して、就労支援を進めていく必要がある。 | 自立に向けた生活指導が重要であり、そのためには相談業務の充実を図る必要がある。         | 3中立       | 平均的な配分    |
|               |               |             |                    |       |      |        | 助産施設措置事業   | 300                       | 152            | 0.02          |             |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        | 遺児奨励費支給事業  | 20                        | 0              | 0.00          |             |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        | 交通遺児見舞費事業  | 100                       | 0              | 0.00          |             |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        | ひとり親家庭等医療費給付事業   | 11,172                    | 1,111          | 0.15          |             |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        | ひとり親家庭等は増加傾向にあり、家庭的・経済的にも不安定な家庭が多い。児童扶養手当に関しては就業意欲のない者などに対して一部支給停止措置がとられており、自立に向けた支援は今まで以上に必要なサービスである。   | 母子自立支援員相談事業               | 2,744          | 0             | 0.00        |         |   |   |           |           |
|               |               |             | ひとり親家庭等相談事業        | こども課  | C    | 現状継続   |  | 母子生活支援施設措置事業              | 308            | 76            | 0.01        |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        |  | 母子家庭等対策総合支援事業             | 0              | 76            | 0.01        |         |   |   |           |           |
|               |               |             | <b>03 障害者(児)福祉</b> |       |      |        |  |                           | <b>469,464</b> | <b>21,094</b> | <b>2.77</b> | -       |   |   |           |           |
|               |               |             | 戦没者追悼事業            | 社会福祉課 | C    | 見直し    | 戦没者追悼式については、毎年内容の見直しをしながら実施している。昨年まで備前・日生・吉永の3地区で行っていたが、平成20年度については1箇所(備前地区)で行うこととし、経費の削減を図ることはできたが、参加者数は大幅に減少した。                                    | 戦没者追悼式事業                  | 1,171          | 1,056         | 0.11        |         | 引き続き、障害者の自立と社会参加を支援していくことが必要である。特に、障害福祉計画に基づく数値目標の達成に向けて努力すること。                               | 第2期障害福祉計画に基づき、障害者の地域生活移行や就労促進等を積極的に推進していく必要がある。 | 4や高い      | 平均的な配分    |
|               |               |             |                    |       |      |        | 戦没者遺族連合会補助事業   | 624                       | 399            | 0.04          |             |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        | 原爆被爆者会補助事業   | 36                        | 0              | 0.00          |             |         |   |   |           |           |
|               |               |             | 身体障害者福祉協会補助事業      | 社会福祉課 | C    | 見直し    | 事業の見直しや会員数の増加を求める必要はあるが、この協会が市内の身体障害者が参加する最大の団体であることから、身体障害者の社会参加及び自立更生には必要な事業である。   | 身体障害者福祉協会補助事業             | 408            | 655           | 0.08        |         |   |   |           |           |
|               |               |             | 災害見舞金給付事業          | 社会福祉課 | B    | 現状継続   | 見舞金の金額は少額ではあるが、被害を受けた者の援護と奮起を促し、少しでも早く通常の生活にもどるために役立っている。  | 災害見舞金給付事業                 | 120            | 100           | 0.01        |         |   |   |           |           |
|               |               |             | 地域生活支援事業           | 社会福祉課 | B    | 現状継続   | 利用者に好評な事業であり、社会参加の上で必要な面もあるので今後も内容を検討しながら継続する。   | 要約筆記奉仕員派遣事業               | 190            | 0             | 0.00        |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        |  | 要約筆記奉仕員養成事業               | 220            | 100           | 0.01        |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        |  | 障害者生活訓練事業                 | 140            | 0             | 0.00        |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        |  | 障害者スポーツ教室開催事業             | 100            | 0             | 0.00        |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        |  | 身体障害者用自動車運転免許取得・自動車改造助成事業 | 0              | 0             | 0.00        |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        |  | 福祉機器リサイクル事業               | 150            | 0             | 0.00        |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        |  | 重度身体障害者等日常生活用具給付等事業       | 5,296          | 1,086         | 0.14        |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        |  | 相談支援事業                    | 4,932          | 1,565         | 0.20        |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        |  | 移動支援事業                    | 7,588          | 228           | 0.03        |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        |  | 手話奉仕員派遣事業                 | 10             | 100           | 0.01        |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        |  | 手話奉仕員養成事業                 | 230            | 0             | 0.00        |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        |  | 地域活動支援センター                | 71             | 0             | 0.00        |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        |  | 日中一時支援事業                  | 778            | 152           | 0.02        |         |   |   |           |           |
|               |               |             |                    |       |      |        |  | IT機器講師派遣事業                | 0              | 0             | 0.00        |         |   |   |           |           |
|               |               |             | 障害者福祉増進事業          | 社会福祉課 | B    | 現状継続   | 大会に参加する選手だけでなく、応援者の参加もあり、障害者同士の親睦が図られており、目的に沿った事業が実施されている。   | 身体障害者福祉増進事業               | 357            | 479           | 0.06        |         |   |   |           |           |



| 政 策           |               |             | 施 策               |       |          |                 |   |   |                           |                    |                      |             | 事務事業   |        |               |               | 施策評価 |  |  |  |
|---------------|---------------|-------------|-------------------|-------|----------|-----------------|---|---|---------------------------|--------------------|----------------------|-------------|--------|--------|---------------|---------------|------|--|--|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名             | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性      | 総合評価  | 細 事 業 名                                     | 直接事業費                     | 人件費                | 人工数                  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント | 部長コメント | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |      |  |  |  |
|               |               |             | 在宅心身障害者(児)自立促進事業  | 社会福祉課 | C        | 現状継続            | 吉永地域唯一の地域生活支援事業の地域活動支援センターとして、通所者及びその家族などにとってはなくてはならない施設である。ノーマライゼーションの観点からも現運営委員会が管理運営に名乗りをあげてくる限り、例え現状維持のままで開所していかなければならないと考える。運営的には、作業所発足の原点に立ち戻り、通所しやすい作業所づくりに努め、通所者の増加を図らなければならないと考える。 | ゆずりは作業所運営事業                                 | 3,301                     | 588                | 0.06                 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 就労等支援事業           | 社会福祉課 | B        | 現状継続            | 障害者サービスの重点課題のひとつであり、有用な事業である。   | 就労移行支援事業<br>就労継続支援事業<br>自立訓練事業              | 45,078<br>45,497<br>4,671 | 228<br>0<br>0      | 0.03<br>0.00<br>0.00 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 自立支援給付事業          | 社会福祉課 | B        | 現状継続            | 障害者サービスの基本となるものであり、ニーズも多く有用な事業である。  | 自立支援給付事業<br>高額障害福祉サービス費支給事業<br>サービス利用計画作成事業 | 254,922<br>0<br>146       | 1,669<br>0<br>0    | 0.22<br>0.00<br>0.00 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 訪問介護給付事業          | 社会福祉課 | B        | 廃止<br>完了<br>見直し | 該当者に適正な給付が行われた。<br>平成20年6月末で事業終了。   | 訪問介護給付事業                                    | 21                        | 76                 | 0.01                 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 障害程度区分認定事業        | 社会福祉課 | A        | 完了<br>見直し       | 障害福祉サービスの基礎となるものであり、有用な事業である。   | 障害認定調査事業<br>障害認定審査会事業                       | 443<br>336                | 1,138<br>555       | 0.15<br>0.07         |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 障害福祉計画策定事業        | 社会福祉課 | B        | 現状継続            | 障害福祉計画は、障害者の地域生活への移行、自立支援、就労支援、社会参加など総合的・具体的な施策が盛り込まれている重要な計画である。   | 障害福祉計画策定事業                                  | 314                       | 1,380              | 0.16                 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 障害者手帳交付事業         | 社会福祉課 | A        | 現状継続            | 障害者サービスの基礎となるものであり、そのニーズも多く、障害者福祉には欠かせない事業である。  | 身体障害者手帳交付事業<br>療育手帳交付事業<br>精神障害者保健福祉手帳交付事業  | 0<br>0<br>0               | 1,249<br>76<br>297 | 0.22<br>0.01<br>0.05 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 福祉電話貸与事業          | 社会福祉課 | C        | 休止              | 近年、携帯電話が普及しており、固定電話の需要が低くなってきている。<br>今年度の利用者がいなくなったことから、来年度以降も同様の状況が続けば、廃止を検討していく。  | 福祉電話貸与事業                                    | 22                        | 76                 | 0.01                 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 自立支援医療費給付事業       | 社会福祉課 | B        | 現状継続            | 障害者自立支援法施行後、医療機関での自己負担が原則1割となったことから、低所得の障害者にとって重要な事業である。  | 厚生医療給付事業<br>精神通院医療給付事業                      | 5,682<br>0                | 531<br>1,304       | 0.07<br>0.22         |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 心身障害者医療費給付事業      | 社会福祉課 | B        | 現状継続            | 年齢制限、所得制限はあるが対象者のニーズも高く、今後も必要な事業である。  | 心身障害者医療費給付事業                                | 66,009                    | 2,771              | 0.38                 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 特定疾患医療附帯療養交通費補助事業 | 社会福祉課 | B        | 現状継続            | 目的、対象、内容については妥当で、かつ他に代わる制度がないため、必要な制度である。   | 特定疾患医療附帯療養交通費補助事業                           | 1,673                     | 521                | 0.07                 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 補装具費給付事業          | 社会福祉課 | B        | 現状継続            | 障害者の生活を支えるうえで、有用な事業である。今後も障害者自立支援の一端として業務を継続させていく必要がある。   | 補装具費給付事業                                    | 6,715                     | 807                | 0.11                 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 児童福祉年金給付事業        | 社会福祉課 | B        | 現状継続            | 条例で定めた事業であり、目的、対象、内容については妥当で、かつ他に代わる制度がないため、必要な制度である。コストの改善もみられ、現状を継続する必要のある事業である。  | 児童福祉年金給付事業                                  | 1,076                     | 76                 | 0.01                 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 特別障害者手当等給付事業      | 社会福祉課 | B        | 現状継続            | 特に重度の障害者については、在宅で生活する上では経済的負担が必要以上にかかる場合が多く、負担軽減のためにも必要な事業である。  | 特別障害者手当等給付事業                                | 9,906                     | 379                | 0.05                 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 障害者相談員委託事業        | 社会福祉課 | B        | 現状継続            | 相談員は、障害者にとっての身近な相談者として今後も必要な存在である。相談員によって、相談取り扱い件数にばらつきがあるが、もっと積極的に障害者やその家族のために活動していただけるようお願いしていきたい。  | 身体障害者相談員委託業務<br>知的障害者相談員委託業務                | 337<br>153                | 100<br>100         | 0.01<br>0.01         |             |        |        |               |               |      |  |  |  |

| 政 策           |               | 施 策         |                 | 事 務 事 業   |          |            |   |  |  | 施策評価   |  |             |   |  |               |               |
|---------------|---------------|-------------|-----------------|-----------|----------|------------|---|--|--|--|--|-------------|---|--|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名           | 所管        | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細 事 業 名  | 直接事業費  | 人件費  | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               |             | 市民ふれあい福祉まつり事業   | 社会福祉課     | B        | 見直し        | 前年度程度の参加者があり、多くの団体等の協力により盛大なまつりになりつつある。今後さらに多くの人たちに参加してもらえるまつりとなるよう、事業内容を検討していきたい。  | 市民ふれあい福祉まつり事業  | 741  | 1,253  | 0.14   |             |   |  |               |               |
|               |               |             | <b>04 高齢者福祉</b> |           |          |            |   |  | <b>208,103</b>   | <b>17,859</b>  | <b>2.04</b>  | <b>-</b>    |   |  |               |               |
|               |               |             | 生きがい創造事業        | 介護福祉課     | C        | 現状継続       | 高齢者が創造的活動を通じて生きがいを<br>持って生活することは、介護予防の観点から<br>も重要である。教室については自主運営<br>を促しながらも、孤立しないよう支援が必要<br>である。                                  | 生きがいと創造の事業<br>シルバーカード交付事業  | 444<br>0   | 152<br>387   | 0.02<br>0.05   |             | 高齢化の進展により、取り<br>巻く問題は多く、行政サー<br>ビスの限界を感じる中、地<br>域包括支援センターを中心<br>に各種団体や関係機関等と<br>連携し、共助・互助の地域<br>力を確立し、行政のサポート<br>役を育成することが望ま<br>れる。 | 高齢者が積極的に社会参加<br>できるよう、行政、地域、<br>各種団体が一体となって事<br>業を進めていく必要があ<br>る。特に地域でリーダー的<br>な役割を担う人材の育成も<br>必要。 | 3 中立          | 平均的な配<br>分    |
|               |               |             | 日常生活用具給付事業      | 介護福祉課     | C        | 縮小         | 福祉電話貸与事業は携帯電話やあんしん電<br>話システムの利用により、事業の意義や役<br>割は縮小していると考えられる。日常生活<br>用具給付事業は積極的な情報提供を行う必<br>要がある。                                 | 日常生活用具給付事業(補助事業分)<br>日常生活用具給付事業(単市分)<br>福祉電話貸与事業   | 51<br>0<br>16  | 228<br>0<br>76   | 0.03<br>0.00<br>0.01   |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 高齢者住宅改造成事業      | 介護福祉課     | C        | 現状継続       | 介護保険に住宅改修の制度はあるが、工事<br>によっては、金額が十分でないこともあ<br>り、市が行う自立支援策としては重要であ<br>る。  | 高齢者住宅改造成事業<br>高齢者住宅整備資金貸付事業  | 2,406<br>0   | 531<br>76  | 0.07<br>0.01   |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 老人福祉施設管理運営事業    | 介護福祉課     | B        | 整理統合       | 施設運営を行う指定管理者と情報交換等を<br>緊密に行い、今後とも利用者の満足度ア<br>ップにつながるよう指導監督していかなけれ<br>ばならないと考える  | 老人福祉施設管理運営事業(備前)<br>老人福祉施設管理運営事業(和気老)<br>社会福祉事業団運営補助事業<br>老人福祉センター管理運営事業<br>福祉センター管理運営事業<br>養護老人ホーム番山荘用地借り上げ事業<br>養護老人ホーム番山荘管理運営事業<br>特別養護老人ホーム大ヶ池荘管理運営事業<br>デイサービスセンター番山荘管理運営事業<br>デイサービスセンター大ヶ池荘管理運営事業<br>デイサービスセンターこうら荘管理運営事業<br>デイサービスセンターしらうめ荘管理運営事業<br>老人憩いの家龍泉荘管理運営事業 | 177<br>12,833<br>399<br>1,060<br>3,901<br>942<br>994<br>1,035<br>0<br>2,846<br>1,048<br>15,971 | 299<br>0<br>399<br>100<br>100<br>0<br>100<br>100<br>100<br>100<br>199<br>550 | 0.03<br>0.00<br>0.04<br>0.01<br>0.01<br>0.00<br>0.01<br>0.01<br>0.01<br>0.01<br>0.02<br>0.06 |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 老人保護措置事業        | 介護福祉課     | B        | 現状継続       | 核家族化・高齢化が進む中、養護老人ホ<br>ームの需要は年々増加しており、事務事業も<br>増加が予想される。   | 老人保護措置事業<br>老人保護措置費事務事業  | 94,579<br>5  | 1,262<br>835   | 0.16<br>0.11   |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 諸島地区福祉船運航事業     | 市民窓口課(自主) | C        | 現状継続       | 平成19年度から利用者負担を導入したこと<br>により、この事業に対する妥当性、効率性<br>が向上したものと考えられることから、本<br>事業が当該目的に則り安定的に継続してい<br>くことができるものとする                         | 諸島地区福祉船運航事業  | 5,720  | 394  | 0.06   |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 諸島地区高齢者等渡航費補助事業 | 市民窓口課(自主) | C        | 現状継続       | 離島で暮らす高齢者等が福祉、介護サー<br>ビスなどを利用するとき、地理的不利益が生<br>じないようにするための助成事業であり、<br>この事業の継続はやむを得ない   | 諸島地区高齢者等渡航費補助事業  | 162  | 93   | 0.01   |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 寺山地区高齢者通院費事業    | 市民窓口課(自主) | C        | 現状継続       | この事業の対象地区人口は11人であり、そ<br>のほとんどが70歳以上という超高齢化地<br>区であることから、不便な当該地区でのこ<br>の事業継続はやむを得ないものとする   | 寺山地区高齢者通院費事業   | 65   | 0  | 0.00   |             |   |  |               |               |
|               |               |             | シルバー人材センター補助事業  | 介護福祉課     | B        | 現状継続       | 法人設立後、徐々にではあるが、会員数や<br>就業人員の増加に伴い、事業拡大も進<br>み、受注に対応できる体制も整備できつつ<br>ある。全地域住民からの事業に対するニ<br>ーズは増大しており、益々、高齢者の就業機<br>会の拡大を図っていく必要がある。 | シルバー人材センター補助事業   | 8,550  | 100  | 0.01   |             |   |  |               |               |

| 政 策           |               |             | 施 策            |       |          |             |  |                     |                  |                |              |             | 事務事業   |  |               |               | 施策評価 |  |  |  |
|---------------|---------------|-------------|----------------|-------|----------|-------------|--|---------------------|------------------|----------------|--------------|-------------|--|--|---------------|---------------|------|--|--|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名          | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性  | 総合評価   | 細 事 業 名             | 直接事業費            | 人件費            | 人工数          | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント   | 基本施策へ<br>の貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |      |  |  |  |
|               |               |             | 老人クラブ助成事業      | 介護福祉課 | C        | 見直し         | 老人クラブは、市内最大の組織であり、高齢者の健康づくり、社会奉仕活動を通じて、明るく活力ある高齢社会を形成するため、今後も事業を継続していく必要がある。しかし、会員数が減少している中で、老人クラブの活性化について検討するとともに、より効果的・効率的な事業展開を行う必要がある。 | 老人クラブ事業             | 5,053            | 2,027          | 0.25         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |             |  | 高齢者健康づくり補助事業        | 1,000            | 304            | 0.04         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 保健福祉実態調査事業     | 介護福祉課 | A        | 現状継続        | 高齢者保健福祉計画、第四期介護保険事業計画を策定するため、介護保険制度や一般高齢者福祉サービスについて、より一層の効果的な制度運営につながる実態調査は重要である。  | 保健福祉実態調査事業          | 855              | 0              | 0.00         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 老人医療給付事業       | 保健課   | C        | 現状継続        | 急速に進展する高齢化の影響を受けて医療制度改革が実施されており、この制度も全国的に順次廃止されてきている。岡山県においても平成23年度で廃止されることとなっている。制度期間中は受給対象者に対して適正に給付を行い、受給対象者の福祉増進に努める必要がある。             | 老人医療給付事業            | 4,846            | 308            | 0.05         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 民生委員児童委員活動助成事業 | 介護福祉課 | B        | 現状継続        | 民生委員児童委員活動については、市民からのニーズが多様化しており、今後とも活動の拡大や質の向上が求められる。しかしながら、補助単価は年々下がっている中、質の高い研修等の機会を増やし効果的な活動へ結びつけていくことが必要となる。                          | 民生委員児童委員活動助成事業      | 8,590            | 7,350          | 0.74         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 社会福祉推進事業       | 介護福祉課 | B        | 見直し         | 社会福祉協議会が行う事業は、地域福祉の推進に欠かせないものであり、今後も地域福祉の推進母体として事業を継続していかねばならない。合併してエリアも広くなり、手法も違っているが、地域間格差を是正しながら効果的な事業展開を目指していく必要がある。                   | 社会福祉協議会運営費補助事業      | 16,000           | 100            | 0.01         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |             |  | 地域福祉推進事業            | 5,442            | 0              | 0.00         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 長寿御祝事業         | 介護福祉課 | C        | 現状継続        | 敬老精神の向上を図り、高齢者の福祉の増進を図るため、最小限の範囲で、敬老・慰問を続ける必要がある。また高齢者ふれあい事業は町内会等の自主的な活動として定着しており、地域の一体感を高める意味でも継続が適当だと思われる。                               | 敬老祝金支給事業            | 600              | 835            | 0.11         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |             |  | 敬老事業補助事業            | 12,513           | 754            | 0.09         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | <b>05 介護保険</b> |       |          |             |  |                     | <b>2,750,577</b> | <b>106,913</b> | <b>21.18</b> | <b>-</b>    |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 介護保険制度運営事業     | 介護福祉課 | B        | 現状継続<br>見直し | 介護保険制度を健全に運営・維持するためのシステム保守管理に要する費用は、前年どおりで維持できたが、システム改修については、平成21年度からの報酬改定、認定調査等の変更に伴いコスト高となった。また、安定した介護給付が行えるための基金積立は、計画どおりの積立ができた。       | 介護保険総務管理事業費         | 25,059           | 1,762          | 0.19         |             | 介護給付費が増える中、すべてのニーズに対応するサービスを介護保険で給付することは限度があり、共助・互助の連携を行い、地域で支えられる体制を考える必要がある。 | 認知症高齢者などの介護を要する高齢者の増加が予想されるが、限られた財源の中で人材を有効に活用した効果的な運営をしていくことが重要である。 | 3 中立          | 平均的な配分        |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |             |  | 連合会負担金事務            | 650              | 0              | 0.00         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |             |  | 財政安定化基金拠出金事務        | 3,134            | 0              | 0.00         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |             |  | 基金積立金事務             | 0                | 0              | 0.00         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |             |  | 公債費事務               | 0                | 0              | 0.00         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |             |  | 償還金事務(国・県等)         | 85,670           | 0              | 0.00         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |             |  | 一般会計繰出事務            | 0                | 0              | 0.00         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |             |  | 合併調整事務              | 10,881           | 0              | 0.00         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |             |  | 介護保険サービス利用者負担軽減補助事業 | 0                | 0              | 0.00         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |             |  | 補償補填及び賠償金           | 12               | 0              | 0.00         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |             |  | 国保会計繰出事務            | 0                | 0              | 0.00         |             |  |  |               |               |      |  |  |  |

| 政 策           |               |             | 事 務 事 業        |       |          |            |  |                 |           | 施 策 評 価 |      |             |        |        |               |               |  |  |
|---------------|---------------|-------------|----------------|-------|----------|------------|--|-----------------|-----------|---------|------|-------------|--------|--------|---------------|---------------|--|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名          | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名         | 直接事業費     | 人件費     | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント | 部長コメント | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |  |
|               |               |             | 介護保険認定事業       | 介護福祉課 | B        | 現状継続       | 申請・審査・認定件数ともに平成19年度より増加したが、審査会開催回数は減少しており（年末年始の休業の影響）、1回あたりの審査件数が増加している。そのため、審査員への負担も大きくなったと思われる。また、認定遅延率が高くなったことについては、市民のみなさまにご迷惑をおかけした。  | 介護認定審査会事務       | 3,638     | 7,431   | 0.89 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 認定調査等事務         | 10,143    | 15,029  | 4.04 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  |                 | 0         | 626     | 0.04 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             | 介護保険計画策定趣旨普及事業 | 介護福祉課 | B        | 現状継続       | 平成20年度は第3期介護保険事業計画の最終年であるためその検証と第4期介護保険事業計画の策定を行なった。計画についてパブリックコメントを実施して市民の意見を募集した。制度の趣旨普及のために広報やHPによりPRを行なった。   | 趣旨普及事務          | 273       | 532     | 0.07 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 計画策定委員会事務       | 1,075     | 2,259   | 0.28 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             | 介護保険給付事業       | 介護福祉課 | B        | 現状継続       | サービス内容をチェックすることにより、額面は小さくてもサービス内容が適正に行われるよう、事業所への抑止力につながっている。<br>また、地域密着型サービス（高齢者が要介護状態となっても、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できる観点から、原則として日常生活圏域内でサービスの利用および提供が完結し、市町村が事業者の指定及び指導・監督を行うサービス）の創設のための事業者指定と指導実施にあわせて過誤請求・不正請求の発見・防止が必要となっている。                                    | 介護サービス等諸費事務     | 2,274,091 | 7,798   | 0.95 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 審査支払手数料事務       | 3,505     | 152     | 0.02 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 高額サービス費事務       | 35,836    | 1,214   | 0.16 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 特定入所者介護サービス等費事務 | 90,453    | 1,735   | 0.25 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 介護予防サービス等諸費事務   | 166,144   | 2,258   | 0.31 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             | 特定高齢者施策事業      | 介護福祉課 | C        | 現状継続       | 平成18年度の事業開始後、特定高齢者の選定基準緩和により平成19年度には対象者が大幅に増えたものの平成20年度は増加幅が縮小した。また、生活機能の実施機関変更（地域支援事業として包括支援センターで実施）により平成20年度には特定高齢者把握に係るコストが大幅に増加した。今後も高齢化が進む限り母数(高齢者)は増加していくが事業の浸透により特定高齢者の増加は縮小されられると思われる。事業の目的達成のためにもより多くの特定高齢者をいかに誘い出して介護予防事業を実施していくか、また、教室等の実施体制作りが課題である。 | 特定高齢者把握事業       | 9,193     | 7,946   | 1.56 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 通所型介護予防事業       | 910       | 5,170   | 1.13 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 訪問型介護予防事業       | 148       | 53      | 0.01 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 介護予防特定高齢者施策評価事業 | 0         | 212     | 0.04 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             | 介護予防一般高齢者施策事業  | 介護福祉課 | C        | 現状継続       | 平成18年度の事業開始以降、地域包括支援センターのPRに力を注ぎ、講演会、勉強会、レクリエーション、軽運動の実践により、介護予防の具体的なノウハウの紹介を重点的に行ってきた。平成19・20年度は認知症サポーターの養成にも力を入れボランティアの育成も行った。各指標は年度間で増減があるものの事業に携わる職員数の減員を考慮すると良い結果を得たと考察する。  | 介護予防普及啓発事業      | 576       | 4,392   | 0.94 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 地域介護予防活動支援事業    | 171       | 2,475   | 0.43 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 介護予防一般高齢者施策評価事業 | 0         | 0       | 0.00 |             |        |        |               |               |  |  |

| 政 策           |               |             | 事 務 事 業 |       |          |            |  |                   |       | 施策評価   |      |             |        |        |               |               |  |  |
|---------------|---------------|-------------|---------|-------|----------|------------|--|-------------------|-------|--------|------|-------------|--------|--------|---------------|---------------|--|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名   | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名           | 直接事業費 | 人件費    | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント | 部長コメント | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |  |
|               |               |             | 包括的支援事業 | 介護福祉課 | C        | 現状継続       | 介護支援専門員への支援に関しては定期的な会議の実施を含め、ノウハウの蓄積、スキルアップ等の支援を図った。今後、関係者間のネットワークの確立・活用等が課題となる。<br>総合相談、権利擁護については、件数増加、内容の複雑化がみられたが、高齢者虐待アドバイザー会議の設置等により、専門家との連携を含めた体制整備が図れた。また成年後見制度の取組など成果があった。今後、特殊な困難事例等の増加が予想されるため、専門家を含めた関係者、関係機関との連携をより充実させていく必要がある。   | 介護予防ケアマネジメント事業    | 0     | 400    | 0.07 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |         |       |          |            |  | 総合相談支援事業          | 7,200 | 13,996 | 2.75 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |         |       |          |            |  | 権利擁護事業            | 283   | 2,964  | 0.45 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |         |       |          |            |  | 包括的・継続的ケアマネジメント事業 | 479   | 4,163  | 0.53 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             | 任意事業    | 介護福祉課 | B        | 現状継続       | 地域の実情に応じた支援として、要介護高齢者の安否確認、孤独感の解消を狙いとして実施するて配食サービス等の事業は評価できる。あんしん電話設置、シルバーハウジング等の事業についても、緊急時の対応ができることで安心した暮らしの寄与しており有効である。<br>配食サービスについては利用数が19年度の減少から20年度は増加に変わった。配食はケアプランに基づいて実施するもので状態により配食数は増減するが地域により今後も利用増が見込まれる。安否確認により緊急対応したケースもあり重要な事業と評価できる。今後、配食サービスは、口腔機能向上や栄養改善等の別の観点からも実施していく。地域格差の是正やよりニーズに応じた対応等課題がある。 | 配食サービス事業          | 6,336 | 1,495  | 0.20 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |         |       |          |            |  | あんしん電話設置事業        | 4,836 | 1,768  | 0.23 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |         |       |          |            |  | 介護用品支給事業          | 564   | 152    | 0.02 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |         |       |          |            |  | 高齢者世話付住宅援助員派遣事業   | 2,578 | 175    | 0.02 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |         |       |          |            |  | 家族介護者教室事業         | 0     | 0      | 0.00 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |         |       |          |            |  | 介護者の会             | 0     | 53     | 0.01 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |         |       |          |            |  | 住宅改修支援事業          | 2     | 0      | 0.00 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |         |       |          |            |  | 認知症高齢者見守り事業       | 0     | 0      | 0.00 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             |         |       |          |            |  | 成年後見制度利用支援事業      | 13    | 379    | 0.05 |             |        |        |               |               |  |  |
|               |               |             | 地域支援事業  | 介護福祉課 | C        | 見直し        | 平成18年の地域包括支援センター設置以来、サブセンター等拠点3ヶ所で運営している（西サブセンターと本センターは場所を一緒にし名称はそのまま残している）。事業展開していく中でセンター全体の利用者は増加しており高齢者の介護予防に貢献している。<br>今後、増加していく高齢者のニーズに応えていくには人的体制の整備が必要だが、限られた人材で対応していくため効率的体制の整備が求められる。<br>センターの設置については、第4期介護保険事業計画の生活圏域に合わせサブセンターの統合を目指す。統合によるサービス低下を最小限に抑えるよう体制を整備しより効率的で有効的な事業実施を検討する必要がある。                  | 地域包括支援センター運営事業    | 2,590 | 1,877  | 0.23 |             |        |        |               |               |  |  |

| 政策            |               |             | 事務事業     |       |          |            |  |  |   | 施策評価  |  |             |  |  |               |               |  |
|---------------|---------------|-------------|----------|-------|----------|------------|--|--|---|---|--|-------------|--|--|---------------|---------------|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名    | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細事業名   | 直接事業費   | 人件費   | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |
|               |               |             | 予防サービス事業 | 介護福祉課 | C        | 現状継続       | 予防プラン作成業務は民間事業所へ委託可能だが受持制限があり、またシステムへの入力など包括が関わるプロセスも多く、極力直営実施に努めてきた。H20年度は前年度から直営作成率が低下したが、これは包括の専門職の確保・維持が十分に出来なかったことも影響している。このことが結果としてコスト低下につながった。この事業は介護度の重度化を抑えることを成果としてみるが、H19に前年度より成果が低下したもののH20は多少回復した。今後も要介護への移行率が低くなるよう適正なサービスを提供できるプラン作成に努める。また、安定した業務維持のため専門職配置など体制整備に努める。 | 介護予防相談・ケアプラン策定事業   | 4,134   | 18,447  | 5.31   |             |  |  |               |               |  |
| 06 年金         |               |             |          |       |          |            |  |  | 489   | 10,110  | 1.52   | -           |  |  |               |               |  |
|               |               |             | 国民年金事務事業 | 市民課   | B        | 現状継続       | 年金問題が深刻化、複雑化している中、市として市民に正しい情報の伝達、適切な対応ができる体制を作り、市民の年金受給権確保につながるよう努めていく必要がある。  | 国民年金被保険者資格管理事務<br>保険料免除関係事務<br>国民年金受給権裁定関係事務<br>老齢福祉年金支給関係事務   | 290<br>113<br>80<br>6   | 5,055<br>2,799<br>2,029<br>227  | 0.77<br>0.41<br>0.28<br>0.06   |             | 将来の年金受給に不安、不信感をもっている人が多いため、関係機関と連携し、年金に対する理解を高めるための啓発活動が必要である。                             | 年金に対する市民意識も変わってきていることから、関係機関と連携して事業を進めていくことが重要である。 | 3 中立          | 平均的な配分        |  |
| 07 保険給付(国保)   |               |             |          |       |          |            |  |  | 4,348,993   | 33,848  | 5.30   | -           |  |  |               |               |  |
|               |               |             | 国保運営事業   | 保健課   | C        | 現状継続       | 制度改正の影響が収納率にも及んでいる状況である。しかし、負担公平の観点から収納率の向上に努め、併せて適正な資格管理を行い国民健康保険制度の安定運営と国民健康保険財政の安定に努める必要がある。  | 国保運営費<br>連合会負担金<br>国保運営協議会<br>収納率向上対策事業<br>資格証・短期証交付事務<br>償還金返還金   | 17,423<br>2,794<br>131<br>8,390<br>0<br>7,596   | 13,659<br>0<br>866<br>152<br>782<br>0   | 2.25<br>0.00<br>0.11<br>0.02<br>0.13<br>0.00   |             | 後期高齢者資料制度の創設や制度改正に柔軟に対応していく必要がある。平成20年度からスタートした特定健診・特定保健指導の受診率・実施率の目標を達成するための対策を検討する必要がある。 | 特定検診・特定保健指導の目標値達成に向けて努力する必要がある。                    | 4 やや高い        | 平均的な配分        |  |
|               |               |             | 給付事業     | 保健課   | C        | 現状継続       | 適正な給付事務が実施できている。国民健康保険税の滞納者には給付制限と、給付額の保険税充当を実施し、税負担の公平性に努めている。継続して適正な給付事務が効率的に行うことができるように努めている。   | 一般被保険者医療給付事業<br>退職被保険者医療給付事業<br>診療報酬審査事業<br>一般高額療養費給付事業<br>退職高額療養費給付事業<br>出産育児一時金給付事業<br>葬祭費給付事業<br>老人保健医療費拠出事業<br>老人保健事務費拠出事業<br>介護納付金納付事業<br>共同事業拠出事業<br>前期高齢者交付金事業<br>前期高齢者納付金事業<br>後期高齢者支援金事業<br>後期高齢者関係事務費拠出事業<br>高額医療費共同事業 | 2,396,078<br>377,233<br>9,776<br>246,545<br>52,601<br>9,630<br>4,070<br>154,041<br>1,182<br>162,678<br>376,917<br>0<br>564<br>419,009<br>66<br>63,990 | 5,519<br>4,369<br>978<br>2,650<br>1,518<br>152<br>183<br>76<br>0<br>0<br>76<br>0<br>0<br>0<br>0<br>93 | 0.79<br>0.65<br>0.15<br>0.46<br>0.26<br>0.02<br>0.03<br>0.01<br>0.00<br>0.00<br>0.01<br>0.01<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.01 |             |  |  |               |               |  |
|               |               |             | 保健事業     | 保健課   | C        | 現状継続       | 特定健康診査・特定保健指導は平成20年度から各医療保険者に義務付けられたもので、国の設定する目標値に達しなかった場合にはペナルティとして後期高齢者支援金を増額させて被保険者が負担する国民健康保険税を増加させるような制度となっているため、実施率の向上に努める必要がある。   | 国保人間ドック事業<br>医療費通知事業<br>保健衛生普及啓発事業<br>貸付事業<br>特定健康診査等事業<br>総合保健施設運営事業  | 3,946<br>2,355<br>410<br>160<br>22,331<br>9,077   | 438<br>280<br>0<br>0<br>1,388<br>593  | 0.06<br>0.05<br>0.00<br>0.00<br>0.19<br>0.09   |             |  |  |               |               |  |

| 政 策                   |               |             | 施 策            |       |          |            |  |  |                               |                           |                                      |             | 事務事業   |   |               |               |  | 施策評価 |  |  |  |  |
|-----------------------|---------------|-------------|----------------|-------|----------|------------|--|--|-------------------------------|---------------------------|--------------------------------------|-------------|--|---|---------------|---------------|--|------|--|--|--|--|
| 大項目<br>(基本目標)         | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名          | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名  | 直接事業費                         | 人件費                       | 人工数                                  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |      |  |  |  |  |
|                       |               |             | 財政調整基金事業       | 保健課   | A        | 現状継続       | 被保険者は医療制度改革の影響と人口の減少に伴い減少しており、被保険者一人当たりの基金保有額は充足している。しかし、国民健康保険財政は医療費の増加により厳しい運営が予測されていることから今後も継続した積立を行ない、安定した財政運営を行なうことで被保険者からの国民健康保険制度に対する信頼を得る。 | 基金積立事業   | 0                             | 0                         | 0.00                                 |             |  |   |               |               |  |      |  |  |  |  |
| <b>08 老人保健(医療費給付)</b> |               |             |                |       |          |            |  |  | <b>1,304,510</b>              | <b>11,515</b>             | <b>1.64</b>                          | -           |  |   |               |               |  |      |  |  |  |  |
|                       |               |             | 老人保健制度維持事業     | 保健課   | C        | 現状継続       | 後期高齢者(長寿)医療制度が開始されたことにより、本制度は平成23年度で終了となる。制度期間中は請求遅れ等に適切に対応することで給付漏れのないように適切な給付に努める。   | 管理事業<br>利子支払事務<br>補助金・交付金・繰入金返還金<br>徴収金還付事業<br>繰出金 | 3,502<br>0<br>7,276<br>0<br>0 | 589<br>0<br>286<br>0<br>0 | 0.08<br>0.00<br>0.04<br>0.00<br>0.00 |             | 健康保険法等の改正により、後期高齢者医療制度が創設されたが、引き続き制度の周知を図るとともに健康部門との連携により保健事業を展開し、医療費の軽減に努める必要がある。 | 広域連合と連絡を密にし、加入者に不安を与えないよう、医療体制の充実に努めていく必要がある。         | 3中立           | 平均的な配分        |  |      |  |  |  |  |
|                       |               |             | 老人医療費給付事業      | 保健課   | C        | 現状継続       | 後期高齢者(長寿)医療制度が開始されたことにより、本制度は平成23年度で終了となる。制度期間中は請求遅れ等に適切に対応することで給付漏れのないように適切な給付に努める。   | 医療給付事業<br>医療費支給事業<br>審査支払事業                        | 437,479<br>15,373<br>1,277    | 192<br>523<br>0           | 0.03<br>0.09<br>0.00                 |             |  |   |               |               |  |      |  |  |  |  |
|                       |               |             | 後期高齢者医療事業      | 保健課   | B        | 現状継続       | 申請手続き等で窓口に来庁される方に、親切丁寧な対応に心がけ制度の浸透を図ることが重要となっている。また、保険料を滞納されている方には納付意識の高揚を図るための徴収努力が重要となっている。  | 後期高齢者医療事業<br>後期高齢者健診事業                             | 424,429<br>7,839              | 8,863<br>986              | 1.26<br>0.13                         |             |  |   |               |               |  |      |  |  |  |  |
|                       |               |             | 後期高齢者医療広域連合負担金 | 保健課   | B        | 現状継続       | 後期高齢者(長寿)医療制度は、対象者及び医療費ともに増加していることから、今後も負担額は増加する見込みである。しかし、制度運営を適切に行なうためには必要な事業であることから継続して実施する必要がある。   | 後期高齢者医療広域連合負担金事業                                   | 407,335                       | 76                        | 0.01                                 |             |  |   |               |               |  |      |  |  |  |  |
| <b>09 低所得者福祉</b>      |               |             |                |       |          |            |  |  | <b>287,621</b>                | <b>35,115</b>             | <b>3.75</b>                          | -           |  |   |               |               |  |      |  |  |  |  |
|                       |               |             | 生活保護相談・指導事業    | 社会福祉課 | B        | 現状継続       | 生活保護は国が生存権を保障した最後のセーフティネットであり、要支援者・要保護者に対して総合的で有効な施策の適用が求められている。景気が低迷する中で当事業の役割は大きく、事業の実施には多くの労力と時間が必要となる。   | 生活保護事業<br>生活保護適正化事業<br>中国残留邦人等支援相談事業               | 5,372<br>354<br>28            | 30,900<br>591<br>93       | 3.28<br>0.06<br>0.01                 |             | 母子加算の減額の見直し等、今後も生活保護施策が変わっていく中で、被保護者の状況や自立阻害要因を把握し、それぞれの状況に応じた生活指導を行うこと。           | 景気が低迷し自立が難しい状況下ではあるが、世帯の状況を的確に把握し、それぞれの世帯にあった指導を行うこと。 | 4やや高い         | 平均的な配分        |  |      |  |  |  |  |
|                       |               |             | 保護費等支給事業       | 社会福祉課 | B        | 現状継続       | 生活保護事業は、憲法(国)が生存権を保障した最後のセーフティネットであるとともに、被保護者の自立を助長するもので、事業の継続は必須である。景気が低迷する中で、事業の重要度は高く、その適用は、的確、適正でなければならない。                                     | 法外援護事業<br>行旅死亡人取扱費<br>生活保護費支給事務<br>支援給付支給事務        | 0<br>106<br>278,386<br>2,956  | 100<br>300<br>2,279<br>93 | 0.01<br>0.03<br>0.25<br>0.01         |             |  |   |               |               |  |      |  |  |  |  |
|                       |               |             | 定額給付金事業        | 総務課   | B        | 廃止<br>完了   | 国の政策的な事業として、全国の市区町村において実施されているもので、必要な事業である。  | 定額給付金支給事務  | 419                           | 759                       | 0.10                                 |             |  |   |               |               |  |      |  |  |  |  |

| 政 策           |                    |                  | 事 務 事 業    |     |          |            |   |  |   | 施策評価  |  |             |   |   |               |               |  |
|---------------|--------------------|------------------|------------|-----|----------|------------|---|--|---|---|--|-------------|---|---|---------------|---------------|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策)      | 小項目<br>(施策)      | 事務事業名      | 所管  | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細 事 業 名  | 直接事業費   | 人件費   | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント  | 基本施策へ<br>の貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |
|               | 02 健やかで生き生きしたまちづくり |                  |            |     |          |            |   |  | -   | -   | -  |             |   |   |               |               |  |
|               |                    | 01 母子保健(歯科保健を含む) |            |     |          |            |   |  | 62,855  | 20,649  | 4.30   | -           |   |   |               |               |  |
|               |                    |                  | 乳幼児等健康診査事業 | 保健課 | B        | 見直し        | 母子保健法に基づいた事業であり、市町村での実施が義務付けられている。厚生労働省から子育て支援の一環として、妊婦一般健康診査の公費負担拡大が求められており、平成21年度からもさらなる拡大を行う。妊婦が安心して出産を迎え、出産後も乳幼児の健康の保持増進のために継続が必要な事業である。  | 健康被害予防事業<br>1歳6ヶ月児健康診査事業<br>2歳児歯科健康診査事業<br>3歳児健康診査事業<br>妊婦乳児健康診査事業             | 1,158<br>636<br>375<br>1,006<br>11,818                    | 2,924<br>1,521<br>1,148<br>1,802<br>10,247              | 0.52<br>0.30<br>0.24<br>0.34<br>2.37                 |             | 安心して子育てができる環境は、多くの市民が望んでいる施策である。この施策を充実させ、家庭や地域の教育力推進を図り、住みよいまちづくりの実現を図る。         | 安心して子育てができる環境づくりは重要な課題であり、関係部署と連携を図りながら進めていく必要がある。  | 4 やや高い        | 平均的な配分        |  |
|               |                    |                  | マザースクール事業  | 保健課 | B        | 見直し        | 育児不安を解消するために継続した支援が必要であり、気になる親子の要フォロー教室として必要な事業である。親子のみで訓練する開放日は利用が少なく、月・木の訓練日に利用が偏っている。アンケート調査等を通して、教室内容を検討するとともに、参加者が継続的に参加できる教室を目指して、内容・開催日の設定について検討をしていく。   | マザースクール事業  | 2,657   | 1,431   | 0.22   |             |   |   |               |               |  |
|               |                    |                  | 予防接種事業     | 保健課 | B        | 見直し        | 予防接種法に基づいた事業であり、市町村での実施が義務付けられている。感染症予防、公衆衛生の向上及び増進のために、必要な事業である。年々、きめ細かい接種動員を実施することで、接種率が向上しており、有効性が高まっていると考える。  | 予防接種事業   | 45,205  | 1,576   | 0.31   |             |   |   |               |               |  |
|               |                    | 02 成人保健(歯科保健を含む) |            |     |          |            |   |  | 28,955  | 18,740  | 3.19   | -           |   |   |               |               |  |
|               |                    |                  | 各種検診事業     | 保健課 | B        | 見直し        | 健康増進法に基づき各種がん検診を実施。女性の検診の利便性を高めるため、女性が対象である検診の同時開催を実施する。また子宮がんセット検診受診者も年々増加していることから、婦人科がん検診の受け入れ医療機関を2箇所を増やすなどの体制を整備する。さらに20年度は40歳代のがん患者も数名発見されていることから、乳幼児健診の場や子育て委員活動を啓発の場として活用し、若い世代へも検診の意識付けを図っていききたい。 | 子宮がん検診事業<br>乳がん検診事業<br>胃がん検診事業<br>大腸がん検診事業<br>肺がん検診事業<br>前立腺がん検診事業<br>節目健康診査事業 | 4,247<br>5,120<br>6,059<br>3,914<br>3,251<br>1,722<br>485 | 1,010<br>1,501<br>1,514<br>1,364<br>1,345<br>451<br>320 | 0.22<br>0.29<br>0.23<br>0.27<br>0.27<br>0.10<br>0.08 |             | 受診率の向上を図り、個々の健康状態に応じた保健指導を実施していく必要がある。また、健康教育・健康相談事業を効果的に展開し、生活習慣病の予防に努めなければならない。 | 特定検診、特定保健指導において、国が示す目標値達成のため、関係機関と密接な連携をとりながら進めること。 | 4 やや高い        | 平均的な配分        |  |



| 政 策           |               |             | 事 務 事 業        |     |          |            |  | 施 策 評 価         |              |              |             |             |   |   |               |               |  |  |
|---------------|---------------|-------------|----------------|-----|----------|------------|--|-----------------|--------------|--------------|-------------|-------------|---|---|---------------|---------------|--|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名          | 所管  | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名         | 直接事業費        | 人件費          | 人工数         | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |  |
|               |               |             | 健康増進事業         | 保健課 | B        | 見直し        | 特定保健指導において、実施率や改善率の目標値があるため、個別対応の指導強化が求められているが、市民全体の健康度の底上げも重要である。<br>平成20年度に健康びぜん21・食育推進計画を策定し、市の健康課題と目標が明らかになった。中期の肥満率減少を重点におき、愛育・栄養委員をはじめ、関係機関と連携し、効率的かつ効果的に取り組む必要がある。<br>健康教育・健康相談の参加者が減少傾向にあるため、市民のニーズを把握し、参加しやすい日程や地区特性に沿った魅力ある内容を企画し、参加者増(特に40～50代や男性の参加の増加)を図る。<br>また、行動変容につながる事業となっているか評価するシステム構築が必要。 | 健康教育事業          | 322          | 3,692        | 0.57        |             |   |   |               |               |  |  |
|               |               |             |                |     |          |            |  | 健康相談事業          | 1,157        | 2,025        | 0.30        |             |   |   |               |               |  |  |
|               |               |             |                |     |          |            |  | 健康診査事業          | 2,678        | 1,224        | 0.17        |             |   |   |               |               |  |  |
|               |               |             | 特定保健指導事業       | 保健課 | B        | 見直し        | 生活習慣病は自覚症状が乏しく、長年の生活習慣に起因することから、健診受診を自己の生活習慣を振り返る機会とし、自身の体の変化に気づくことで改善すべき生活習慣を認識できる。その気づきが行動変容のきっかけとなり、行動変容を支援する保健指導は生活習慣病予防から健康な生活が維持されることにつながる重要な事業である。特定保健指導の対象者が参加しやすく効果のある保健指導プログラムを検討し、より多くの参加が得られるように特定健康診査と一体的な事業として市民に周知されるよう事業のPRを行っていく必要がある。  | 特定保健指導事業        | 0            | 4,294        | 0.69        |             |   |   |               |               |  |  |
|               |               |             | <b>03 精神保健</b> |     |          |            |  |                 | <b>4,558</b> | <b>5,825</b> | <b>0.94</b> | <b>-</b>    |   |   |               |               |  |  |
|               |               |             | 精神保健事業         | 保健課 | B        | 拡充         | 平成20年4月から備前地区に地域交流サロンを開催しており、備前、吉永地区の住民にとって利用しやすい環境になっている。精神障害者地域移行支援事業が推進されており、入院患者が退院する際に地域の中で気軽に出かけられ、仲間と集い話らうことができる場となっている。また精神疾患の治療は継続的な通院と服薬が必要であることから精神病患者通院医療費給付制度利用により治療が継続され、症状の重症化を防止することができ、障害者の自立した生活保持につなげていくことができている。新規対象者には本制度を利用してもらえるよう訪問説明を引き続き行っていく。                                       | 精神保健事業          | 1,227        | 4,967        | 0.74        |             | 精神障害者が地域で生活するためには、地域の理解とNPOや保健師等のマンパワーによる見守り、地域社会への参画機会の提供、通院治療継続の助成が必要である。地域交流サロンへの参加者を増加させる必要がある。 | 地域交流サロンの利用者も増加しており、自立に向けた取り組みの成果が上がってきている。今後も地域で支える仕組みづくりを中心に事業展開していく必要がある。 | 3中立           | 平均的な配分        |  |  |
|               |               |             |                |     |          |            |  | 精神疾病患者通院医療費給付事業 | 3,331        | 858          | 0.20        |             |   |   |               |               |  |  |
|               |               |             | <b>04 歯科保健</b> |     |          |            |  |                 | -            | -            | -           |             |   |   |               |               |  |  |
|               |               |             |                |     |          |            |  |                 | -            | -            | -           |             |   |   |               |               |  |  |

| 政 策           |               | 施 策              | 事 務 事 業    |     |          |            |  |            |               | 施 策 評 価       |             |             |  |  |               |               |  |
|---------------|---------------|------------------|------------|-----|----------|------------|--|------------|---------------|---------------|-------------|-------------|--|--|---------------|---------------|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)      | 事務事業名      | 所管  | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名    | 直接事業費         | 人件費           | 人工数         | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント   | 基本施策へ<br>の貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |
|               |               | <b>05 結核・じん肺</b> |            |     |          |            |  |            | <b>14,298</b> | <b>3,676</b>  | <b>0.55</b> | -           |  |  |               |               |  |
|               |               |                  | 結核予防事業     | 保健課 | B        | 見直し        | 備前市では毎年結核患者が数十人登録されており、結核の蔓延を防ぐためにも結核検診とBCG接種の必要性を広報や子どもの予防接種の説明時に普及啓発していくことが予防の観点からも重要である。よって結核予防事業においては、受診率の向上を目指しながら、コストの削減にも努力し実施を継続していく必要がある。   | 結核予防事業     | 3,887         | 299           | 0.05        |             | 結核の検診率向上に努めなければならない。<br>じん肺患者の健康教育を充実させるとともに、じん肺患者見舞金の見直しを検討する必要がある。             | 結核検診の受診率が目標値より低いことから、啓発活動を実施するなど受診率向上に向けた努力が必要。  | 3 中立          | 平均的な配分        |  |
|               |               |                  | じん肺患者見舞金事業 | 保健課 | C        | 見直し        | 市として実施すべき事業であるが、見舞金支給については事業開始当時の目的が変化しており、個人給付から相談事業等に対する体制整備に必要な経費への移行等を検討すべき時期に来ていると考える。(現在、申請等の諸手続きの支援を、各組織の役員が担っているが、高齢化に伴う後継者不足が見込まれる) 首長の政治的判断が必要である。   | じん肺患者見舞金事業 | 10,153        | 658           | 0.07        |             |  |  |               |               |  |
|               |               |                  | 感染症予防事業    | 保健課 | B        | 見直し        | 狂犬病予防事業に関しては、予防注射の接種率の向上に努めてはいるが、民間業者で受けた犬の注射済票の交付が少ないため予防注射の接種率の低下につながっている。今後は、民間業者で受けた犬の注射済票の交付向上を目指す。<br>感染症予防事業では、新型インフルエンザ国内発生を受けて危機管理上の課題が明確になったため、今後行動計画等を策定し対応していく必要がある。   | 感染症予防事業    | 10            | 1,244         | 0.17        |             |  |  |               |               |  |
|               |               |                  |            |     |          |            |  | 狂犬病予防事業    | 248           | 1,475         | 0.26        |             |  |  |               |               |  |
|               |               | <b>06 健康づくり</b>  |            |     |          |            |  |            | <b>12,694</b> | <b>23,603</b> | <b>3.54</b> | -           |  |  |               |               |  |
|               |               |                  | 愛育委員会事業    | 保健課 | B        | 見直し        | 愛育委員が地域住民に健康づくりの知識の普及啓発を行うことは有効な事業であるが、委嘱される者の就労の割合が年々増加しており、委員会の出席状況が低下している。出席しやすい委員会を企画しているが、現状では、目標値の達成はなかなかむつかしい。<br>委員が研修会で自分の健康意識を高めることで、地域での声かけ活動につながっており、今後も学習の場としての研修会が必要と考える。<br>人材育成は効率性で図れるものではないと思うため、やむなく欠席される委員には、委員自身が地域で活動できる人材となれるよう、研修内容を確実に伝達・復命することに重点を置き、有効な事業とする。 | 愛育委員会事業    | 3,504         | 8,298         | 1.23        |             | 健康づくりリーダーの愛育委員・栄養委員の研修機会を増やし、リーダーとしての知識をより高めるとともに、地域ボランティアとして活動できるよう個々の人材育成に努める。 | 地域住民と委員との信頼関係が重要である。気軽に相談できるようコミュニケーションづくりを図ること。 | 4 やや高い        | 平均的な配分        |  |
|               |               |                  | 栄養委員会事業    | 保健課 | B        | 見直し        | 栄養委員は地区での伝達講習が委員活動の主たるものであり、中央での委員研修に参加して伝達する知識や技術を研修後、地区での伝達講習会を実施している。(市民と同じ視点で栄養改善や健康づくりを体験している。)そして、まずは家庭の中に生かし、さらに地域へと健康づくりの輪を広げている。2年で多くの委員が交代するが、次期委員が同じ体験を繰り返すことで健康づくりが周知され、健康づくりの基盤となる。   | 栄養委員会事業    | 1,970         | 9,453         | 1.36        |             |  |  |               |               |  |

| 政 策           |               |             | 事 務 事 業      |     |          |            |   |                    | 施策評価  |       |      |             |        |        |               |               |
|---------------|---------------|-------------|--------------|-----|----------|------------|---|--------------------|-------|-------|------|-------------|--------|--------|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名        | 所管  | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細 事 業 名            | 直接事業費 | 人件費   | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント | 部長コメント | 基本施策へ<br>の貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               |             | 健康づくり推進協議会事業 | 保健課 | B        | 見直し        | 市民の健康保持増進のために、関係機関等の多分野の立場の意見を聞いたり、課題や目標を共有する中で、それぞれの責務と役割を明確にしながら、協働して健康づくりや食育を推進することができると考える。H20年度策定した「健康びぜん21」「備前市食育推進計画」の目標達成のために、広く市民に周知し、関係機関と連携した取り組みが必要である。   | 健康づくり推進協議会事業       | 2,132 | 5,015 | 0.71 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 献血事業         | 保健課 | B        | 見直し        | 今後は新規の事業所の開拓や市民の献血しやすい曜日設定や各種イベントとの協賛などで献血率を増加を図る必要があり、配車計画時に血液センターやスポーツ振興課等関連部門と連携を図っていく必要がある(連絡・調整)。備前市民の献血への意識づけを図るための啓発工夫する必要がある。   | 献血事業               | 0     | 579   | 0.21 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 救急医療事業       | 保健課 | B        | 現状継続       | 在宅当番医事業を委託している和気医師会において、従来内科・外科の2医療機関での当番体制をとっていたが、外科医院の減少に伴い、今年度より、内科・外科を問わない2医療機関での当番体制へと変更せざるを得ない状況となっている。少子高齢化に伴い、救急医療を必要とする市民は増加すると考えられることから、市民の救急医療に対するニーズを踏まえながら救急体制の整備を図っていくと同時に、適切な救急医療の受け方を広報していく必要があると考えられる。 | 救急医療事業             | 3,264 | 176   | 0.02 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 保健センター管理運営事業 | 保健課 | B        | 見直し        | 保健事業サービスを提供する拠点および市庁舎の一部(会議室等)としての役割を果たしている。予算措置を伴う維持管理については、平成19年度から財政課による本庁舎との一元管理とし、より効率化を図っている。ただ、本来の使用目的である保健事業での利用実績は減少傾向である。今後とも事業重複時の駐車場確保等、利用者の利便性を図っていく必要がある。   | 保健センター管理運営事業(庶務事務) | 1,824 | 82    | 0.01 |             |        |        |               |               |

| 政策            |               | 事務事業           |            |        |          |            | 施策評価   |             |                  |                  |               |             |   |  |               |               |  |
|---------------|---------------|----------------|------------|--------|----------|------------|--|-------------|------------------|------------------|---------------|-------------|---|--|---------------|---------------|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)    | 事務事業名      | 所管     | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細事業名        | 直接事業費            | 人件費              | 人工数           | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |
|               |               | <b>07 病院事業</b> |            |        |          |            |  |             | <b>2,314,466</b> | <b>2,225,331</b> | <b>336.77</b> | -           |   |  |               |               |  |
|               |               |                | 備前病院運営事業   | 備前病院   | B        | 見直し        | 20年度は機能評価受賞により、委員会開催件数が伸び、結果として認定病院となったことは大きな成果である。ここ数年、診療科目増設、内科土曜開院などを行い、20年度で一般病棟入院基本料の13対1から10対1への変更を行った。今後も院内保育など、可能な事業を積極的に着手する。20年度は外科医3名の引上げに伴う入院患者の大幅減やその風評被害による外来患者の大幅減が影響して著しい収益悪化となったが、21年1月以降は回復傾向にある。22年度以降は繰入金金の増額も見込まれるが、今後においても繰越欠損金の解消を目指し、更なる努力を行なう必要がある。懸案であった病院建替えについては、平成22年度着工、平成23年度中の開業を目指し、今年度で実施設計を行うこととなった。医療現場職員と患者目線で地域住民のニーズに沿った病院づくりを行い、経営の向上に繋げる。 | 病院経営(幹部会)   | 0                | 541              | 0.05          |             | 備前市立病院改革プランに沿い、経営効率化に取り組むとともに、患者の市外流出を防ぐため、診療科目や設備の増設、患者サービスの充実を図ること。 | 病院事業検討委員会の答申を待つのではなく、できることから、患者サービスの向上、丁寧な対応など、経費の掛からないことを実施してほしい。 | 2やや低い         | 平均を上回る配分      |  |
|               |               |                |            |        |          |            |  | 病院経営(各種委員会) | 1,900            | 16,299           | 0.93          |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                |            |        |          |            |  | 労務管理        | 326              | 1,172            | 0.15          |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                |            |        |          |            |  | 施設管理        | 11,967           | 3,905            | 1.17          |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                |            |        |          |            |  | 財務管理        | 1,705            | 5,338            | 0.63          |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                |            |        |          |            |  | その他庶務       | 4,112            | 16,194           | 1.96          |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                | 備前病院診療事業   | 備前病院   | C        | 見直し        | 病院建替えが23年度に完成すれば入院患者増が見込まれるが、今年度は前年度に続き厳しい経営となりそうである。しかし、赤字の削減をめざし職員の奮起を期待したい。将来にわたって安定経営を続け、市民のニーズに答えられる経営形態を目指して、市立3病院で早急な検討、協議が必要である。   | 収納事業/請求     | 292              | 1,075            | 0.14          |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                |            |        |          |            |  | 収納事業/未収金    | 417              | 1,574            | 0.21          |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                |            |        |          |            |  | 診療事業/入院     | 298,759          | 416,748          | 59.77         |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                |            |        |          |            |  | 診療事業/外来     | 178,806          | 274,958          | 33.81         |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                |            |        |          |            |  | 検診事業/検診     | 3,236            | 9,791            | 1.34          |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                |            |        |          |            |  | 地域連携事業      | 125              | 281              | 0.06          |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                |            |        |          |            |  | 相談事業        | 1,106            | 2,608            | 0.54          |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                |            |        |          |            |  | 栄養          | 63               | 142              | 0.03          |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                |            |        |          |            |  | 給食          | 1,190            | 5,822            | 0.58          |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                |            |        |          |            |  | その他医事       | 47,652           | 7,598            | 0.92          |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                | さつき苑入所運営事業 | 備前さつき苑 | B        | 現状継続       | 少子高齢化に伴い、老人介護の必要性は今後ますます増大していくと思われる。そうした中、利用者により一層安心して利用してもらえよう、サービスの充実を図ると共に、利用者の自立を促し、家族の負担を軽減できるよう、更なる努力をしていく必要がある。また、単位当たりコストが増加傾向にあり、経費の節減に努めなければならない。  | 入所運営事業      | 181,975          | 145,771          | 33.59         |             |   |  |               |               |  |
|               |               |                | 通所リハビリ運営事業 | 備前さつき苑 | B        | 見直し        | 少子高齢化に伴い、老人介護の必要性は今後ますます増大していくと思われる。そうした中、利用者により一層安心して利用してもらえよう、サービスの充実を図ると共に、利用者の自立を促し、家族の負担を軽減できるよう、更なる努力をしていく必要がある。また、単位当たりコストを下げるため、経費節減に努めなければならない。   | 通所リハビリ運営事業  | 9,280            | 26,216           | 8.19          |             |   |  |               |               |  |

| 政 策           |               |             | 事 務 事 業    |        |          |            |  |             |         | 施策評価    |       |             |        |        |               |               |  |
|---------------|---------------|-------------|------------|--------|----------|------------|--|-------------|---------|---------|-------|-------------|--------|--------|---------------|---------------|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名      | 所管     | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名     | 直接事業費   | 人件費     | 人工数   | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント | 部長コメント | 基本施策へ<br>の貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |
|               |               |             | 居宅介護支援運営事業 | 備前さつき苑 | C        | 現状継続       | 少子高齢化に伴い、老人介護の必要性は今後ますます増大していくと思われる。そうした中、利用者により一層安心して利用してもらえよう、サービスの充実を図ると共に、利用者の自立を促し、家族の負担を軽減できるよう、更なる努力をしていく必要がある。また、単位当たりコストが増加傾向にあり、経費節減にさらに努めなければならない。  | 居宅介護支援運営事業  | 420     | 4,551   | 1.01  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             | 訪問看護事業     | 備前さつき苑 | B        | 現状継続       | 事業の目的・対象・手段は、法律あるいは主治医の指示で定められており、評価対象としては実訪問看護時間が妥当と思われる。より効率的なサービスの提供を目指し、ステーション内で検討することにより、一層の成果をあげることが可能と思われる。また、単位当たりのコストが増加傾向にあり、経費の節減に努めなければならない。   | 訪問看護事業      | 3,577   | 14,065  | 4.01  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             | 日生病院運営事業   | 日生病院   | B        | 見直し        | 各種委員会で 医療事故・ヒヤリハット事例の検証と対策、 院内感染予防対策マニュアルの見直し、 患者からの要望・意見に対する対策とその内容の公表、 全職員を対象としたサービス向上のための目標設定とその検証、 職員の資質向上を目的とした院内研修などを実施したことにより、患者満足度の向上と職員の意識改革を促すことができた。また、成果指標である純利益の計上と留保資金の拡充を図ることができた。<br>しかしながら、現状維持のままでは患者数の増加を今以上に見込むことは困難であり、安定経営を維持するためには、公立病院改革プラン及び経営健全化計画に沿って事業内容の分析と見直しを引続き行い、経営の健全化に一層努めなければならない。 | 病院経営（幹部会）   | 0       | 2,362   | 0.16  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |            |        |          |            |  | 病院経営（各種委員会） | 0       | 5,561   | 0.56  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |            |        |          |            |  | 労務管理        | 8,626   | 8,825   | 1.04  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |            |        |          |            |  | 施設管理        | 26,081  | 3,647   | 0.47  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |            |        |          |            |  | 財務管理        | 0       | 4,605   | 0.44  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |            |        |          |            |  | その他庶務       | 2,608   | 12,580  | 1.53  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             | 日生病院診療事業   | 日生病院   | B        | 現状継続       | 成果指標は僅かに目標を下回ったが、経常収支比率103.5%、純利益37,390千円を確保することができた。しかしながら、経営の安定化を推進するためには引続き事業運営の見直しと検討及び地域住民の医療ニーズへの対応を考慮しながら経営健全化に努めていく必要がある。  | 収納事業/請求     | 696     | 7,090   | 1.99  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |            |        |          |            |  | 収納事業/未収金対策  | 0       | 810     | 0.20  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |            |        |          |            |  | 診療事業/入院     | 359,297 | 303,488 | 55.11 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |            |        |          |            |  | 診療事業/外来     | 215,442 | 151,448 | 23.00 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |            |        |          |            |  | 検診事業/検診     | 699     | 6,553   | 0.80  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |            |        |          |            |  | 地域連携事業      | 0       | 341     | 0.04  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |            |        |          |            |  | 相談事業        | 0       | 1,957   | 0.26  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |            |        |          |            |  | 栄養管理        | 0       | 350     | 0.05  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |            |        |          |            |  | 給食事業        | 29,626  | 4,204   | 0.60  |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |            |        |          |            |  | その他医事       | 18,529  | 11,096  | 1.53  |             |        |        |               |               |  |

| 政 策           |                     | 施 策             |          | 事 務 事 業 |          |  |  |              |         | 施 策 評 価 |       |  |  |        |               |               |  |
|---------------|---------------------|-----------------|----------|---------|----------|--|--|--------------|---------|---------|-------|--|--|--------|---------------|---------------|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策)       | 小項目<br>(施策)     | 事務事業名    | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性   | 総合評価   | 細 事 業 名      | 直接事業費   | 人件費     | 人工数   | 施設への<br>貢献度  | 課長コメント   | 部長コメント | 基本施策へ<br>の貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |
|               |                     |                 | 吉永病院運営事業 | 吉永病院    | B        | 見直し  | 今年度は、経常損益では23,533,548円の黒字となったが、旧病院の取り壊しが繰り越し事業となったため、収益的収支では2年連続の赤字決算となった。院内会議で経営改善に向けた検討 患者からのご意見に対する対策の検討 各部署の課題を検討 情報の共有 診療報酬の減点対策等を協議した。その他各種委員会で医療事故及びヒヤリハット事例の検証と対策また、院内感染予防対策等を協議した。職員の資質向上のため、積極的に研修会への参加を促すとともに、院内研修を毎月1回以上開催し、接遇向上、専門領域の知識習得に努めた。今後とも、職員の質向上と、モチベーションを高め、安定運営をめざす。 | 病院経営（幹部会）    | 0       | 232     | 0.02  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 病院経営（各種委員会）  | 0       | 7,572   | 0.54  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 労務管理         | 4,408   | 6,010   | 0.49  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 施設管理         | 4,188   | 5,710   | 0.63  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 財務管理         | 6,563   | 8,947   | 0.99  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | その他庶務        | 13,631  | 18,584  | 2.27  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 | 吉永病院診療事業 | 吉永病院    | B        | 現状継続   | 経常利益を23,533千円計上することができた。入院・外来とも昨年対比で若干ではあるが増となった。いずれも上限に近い数字であり、今後大幅な増は期待できないと考えられる。今後健診部門を充実し増収を図る必要がある。また、地域医療を推進するため各医療機関、介護福祉機関の職員を対象にした研修会を今後も継続充実させ地域連携を進める。   | 収納事業/請求      | 8,478   | 6,753   | 0.93  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 収納事業（未収金対策）  | 389     | 310     | 0.05  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 診療事業/入院      | 338,204 | 269,398 | 38.20 |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 診療事業/外来      | 489,147 | 389,633 | 51.61 |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 検診事業/検診      | 18,056  | 14,383  | 1.49  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 地域連携事業       | 1,254   | 999     | 0.12  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 相談事業         | 3,535   | 2,816   | 0.21  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 栄養管理         | 3,573   | 2,846   | 0.61  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 給食事業         | 2,284   | 1,819   | 0.39  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | その他医事        | 12,244  | 9,753   | 1.35  |  |  |        |               |               |  |
| 03            | 地域文化と人が輝くまちづくり      |                 |          |         |          |  |  |              | -       | -       | -     |  |  |        |               |               |  |
|               | 01 未来を支える人材を育むまちづくり |                 |          |         |          |  |  |              | -       | -       | -     |  |  |        |               |               |  |
|               |                     | 01 幼稚園（施設整備を含む） |          |         |          |  |  |              | 42,129  | 15,515  | 1.57  | -  |  |        |               |               |  |
|               |                     | 幼稚園管理運営事業       | 教育総務課    | B       | 現状継続     | コスト意識を常に持ち、日頃から安全点検を実施し園児が安心して幼児教育が受けられるよう施設環境の維持に努めている。経年使用による施設設備の老朽化もあり、早期発見、早期対処を今後も実践し、経費削減に努める。さらに、経費節減にも限界があり、経営の効率化という観点から、幼児教育施設のあり方を含め、施設全体の見直しが必要である。 | 幼稚園管理運営事業  | 11,715       | 2,275   | 0.27    |       | 幼保一体化に向けて、機能的な環境計画と職員の資質向上のための事業を展開していく必要がある。また、平成22年4月開園の伊里地区認定こども園について、保護者地域への具体的プログラムを早期に示す必要がある。 | 幼保一体化を、今後全市的に展開する必要がある。伊里地区の認定こども園は最初のケースとなり、今後の市の方針を決定する意味もある。保護者地域すなわち全市的に具体的プログラムを早期に示す必要がある。 | 4 やや高い | 平均的な配分        |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 三国地区園児送迎管理事業 | 1,051   | 100     | 0.01  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 幼稚園耐震化事業     | 0       | 0       | 0.00  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     | 幼稚園運営支援事業       | 学校教育課    | B       | 現状継続     | 教育支援員の配置については、幼稚園における教育活動が円滑に運営されるために必要である。近隣の小学校のプールが使用できない幼稚園については、プールを借り上げて教育効果を上げることは必要である。  | 幼稚園運営支援事業  | 2,565        | 10,539  | 1.02    |       |  |  |        |               |               |  |
|               |                     |                 |          |         |          |  |  | 幼稚園教育人材活用事業  | 17,148  | 501     | 0.05  |  |  |        |               |               |  |
|               |                     | 幼稚園教員研修事業       | 学校教育課    | B       | 現状継続     | 幼稚園教員には、幼児を理解し活動の場面に応じたかわりや家庭との連携を図りながら指導していく力が求められている。それらに対応するためにも研修をしていく必要がある。   | 幼稚園教育研究部支援事業   | 60           | 436     | 0.05    |       |  |  |        |               |               |  |

| 政策                       |               |             | 事務事業      |       |          |            |   |                  |                | 施策評価          |              |             |  |   |               |               |
|--------------------------|---------------|-------------|-----------|-------|----------|------------|---|------------------|----------------|---------------|--------------|-------------|--|---|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標)            | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名     | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細事業名             | 直接事業費          | 人件費           | 人工数          | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|                          |               |             | 就学前教育検討事業 | 学校教育課 | B        | 現状継続       | 当市の次世代育成支援対策を円滑に推進するため、幼保一体施設整備準備部会とともに具体的な幼保の運営等の在り方を決定していく上で必要な事業である。   | 就学前教育調査研究事業      | 0              | 794           | 0.08         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 幼稚園統廃合調査研究事業     | 0              | 94            | 0.01         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             | 子育て支援事業   | 学校教育課 | B        | 見直し        | 預かり保育については、保護者に目的を周知するとともに、幼保一体施設の建設にあわせて運営等を検討していく。  | 子育て広場支援事業        | 0              | 264           | 0.03         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 預かり保育運営事業        | 9,560          | 176           | 0.02         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             | 幼保連携事業    | 学校教育課 | B        | 現状継続       | 幼保一体化施設整備を課題としている現状から、連携活動を進め教育、保育内容について共通理解し、カリキュラムの作成や具体的な運用をしていくことが必要である。  | 幼保連携活動支援事業       | 30             | 336           | 0.03         |             |  |   |               |               |
| <b>02 小・中学校（施設整備を含む）</b> |               |             |           |       |          |            |   |                  | <b>395,451</b> | <b>78,323</b> | <b>13.13</b> | <b>-</b>    |  |   |               |               |
|                          |               |             | 小学校管理運営事業 | 教育総務課 | B        | 現状継続       | 経常経費について一定の節減効果が認められる年度もあるが、前年度を上回る年度もある。年度間によりばらつきがあるが、長期的には節減意識が浸透し、経常経費について一定の節減効果は上がっている。今後とも毎月の使用量の管理や内容分析など、より徹底した管理を続ける必要がある。    | ｽｰﾊﾟｰｽﾞ運行管理事業    | 8,382          | 261           | 0.03         |             | 学校教育環境整備に向けて今後の方向を見据えながら、教育環境の整備や人的配置を具体的に計画していく。その際、財政面から国、県などの事業の活用も視野に入れる必要がある。 | 施設耐震化は、国の補助もあり早期かつ効率的に実施する必要がある。学校環境整備については、平成22年度末を目途に答申をいただく。 | 4 やや高い        | 平均を上回る配分      |
|                          |               |             |           |       |          |            | 小学校管理運営事業   | 99,440           | 49,002         | 8.85          |              |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            | 小学校耐震化事業  | 6,598            | 0              | 0.00          |              |             |  |   |               |               |
|                          |               |             | 小学校振興事業   | 教育総務課 | B        | 現状継続       | 社会の変化に主体的に対応できる「生きる力」を持った児童の育成や、豊かな人間性を育む読書活動の推進、図書購入予算の確保、さらに教科学習の充実のため、新学習異動要領に対応した教材備品の充実を図る必要がある。                                   | 電算機等借上事業         | 43,723         | 0             | 0.00         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 教材備品整備事業         | 2,476          | 0             | 0.00         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 図書整備事業           | 3,908          | 0             | 0.00         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 就学奨励事業           | 23,050         | 2,420         | 0.34         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 全国大会出場補助事業       | 59             | 0             | 0.00         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             | 中学校管理運営事業 | 教育総務課 | B        | 現状継続       | 経常経費について一定の節減効果が認められる年度もあるが、前年度を上回る年度もある。年度間によりばらつきがあるが、長期的には節減意識が浸透し、経常経費について一定の節減効果は上がっている。今後とも毎月の使用量の管理や内容分析など、より徹底した管理を続ける必要がある。    | 中学校管理運営事業        | 64,509         | 14,193        | 2.44         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 中学校耐震化事業         | 11,812         | 0             | 0.00         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | ｽｰﾊﾟｰｽﾞ運行管理事業    | 8,382          | 261           | 0.03         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             | 中学校振興事業   | 教育総務課 | B        | 現状継続       | 社会の変化に主体的に対応できる「生きる力」を持った児童の育成や、豊かな人間性を育む読書活動の推進、図書購入予算の確保、さらに教科学習の充実のため、新学習異動要領に対応した教材備品の充実を図る必要がある。                                   | 電算機等借上事業         | 18,457         | 0             | 0.00         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 教材備品整備事業         | 2,030          | 0             | 0.00         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 図書整備事業           | 3,177          | 0             | 0.00         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 全国大会出場補助事業       | 149            | 0             | 0.00         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 就学奨励事業           | 16,100         | 1,790         | 0.25         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             | 小学校運営支援事業 | 学校教育課 | B        | 現状継続       | 小学校の運営にとっては必要な事業であり、コスト削減の観点のみから事業を縮小した場合、そのデメリットは大きいと考える。教育に関しては、事業効果がすぐに現れるものではないが、児童の成長にとってより効果的なものとなるよう今後も事業の見直しを行い、重点化を図っていく必要はある。 | へき地教育支援事業        | 222            | 30            | 0.00         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 音楽会・体育競技会等運営支援事業 | 1,550          | 135           | 0.02         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 小学校教育人材活用事業      | 16,801         | 192           | 0.02         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 小学校運営事業          | 3,551          | 1,046         | 0.12         |             |  |   |               |               |
|                          |               |             |           |       |          |            |   | 理科支援員等配置事業       | 494            | 162           | 0.02         |             |  |   |               |               |

| 政 策           |               |             | 事 務 事 業       |       |          |            |   |                    |        |       |      |             | 施策評価   |        |               |               |  |
|---------------|---------------|-------------|---------------|-------|----------|------------|---|--------------------|--------|-------|------|-------------|--------|--------|---------------|---------------|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名         | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細 事 業 名            | 直接事業費  | 人件費   | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント | 部長コメント | 基本施策へ<br>の貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |
|               |               |             | 中学校運営支援事業     | 学校教育課 | B        | 現状継続       | 学力検査・知能検査は有効に活用され、<br>個々の生徒に応じた指導に役立っている。<br>また、部活動やチャレンジワークの補助<br>金、教育活動の充実につながっている。今<br>後も学校教育の充実を支える取組として、<br>各学校の要望にできるだけ応えていく努力<br>が必要である。   | 中学校教育人材活用事業        | 3,776  | 15    | 0.00 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | 中学校運営事業            | 1,783  | 545   | 0.05 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | チャレンジワーク14支援事業     | 660    | 106   | 0.01 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | 部活動支援事業            | 451    | 76    | 0.01 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             | 教員研修事業        | 学校教育課 | C        | 拡充         | 全国学力調査の結果から、概ね全国と同様<br>の傾向ではあるが、下位層の出現率が高<br>く、上位層が低い傾向がある。授業改善の<br>ための研修の充実をこれまで図っている<br>が、今後、一層取組の充実を図る必要があ<br>る。   | 教育研究部支援事業          | 20     | 53    | 0.01 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | 教育研究所運営事業          | 674    | 449   | 0.06 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | 校内研修支援事業           | 0      | 695   | 0.08 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | 共に生きる子ども育成プロジェクト事業 | 828    | 215   | 0.02 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | 学力向上支援事業           | 200    | 1,723 | 0.19 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             | 生徒指導推進事業      | 学校教育課 | B        | 見直し        | 不登校やいじめ問題の課題が見られる現状<br>であり、継続して事業を展開していくこと<br>が必要である。   | 適応指導教室運営事業         | 4,013  | 290   | 0.03 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | スクールカウンセラー活用事業     | 705    | 210   | 0.02 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | スクールカウンセラー配置事業     | 1,446  | 168   | 0.02 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | 問題を抱える子ども等の自立支援事業  | 1,650  | 1,285 | 0.13 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             | 特別支援教育推進事業    | 学校教育課 | B        | 拡充         | 東備養護学校、福祉事務所、保健課、支援<br>施設等とのネットワークを活用して、課題<br>に対して協力的に支援していく体制は整っ<br>てきた。しかし、就学指導委員会での判定<br>や園児児童生徒の障害や困り感について、<br>保護者の理解を得ることについては大きな<br>課題がある。保、幼と小・中の連携を図る<br>ことで、就学前における就学指導の体制を<br>充実していく必要がある。  | 就学指導委員会運営事業        | 20     | 459   | 0.06 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | 特別支援教育支援事業         | 42     | 847   | 0.11 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             | 国際理解・情報教育推進事業 | 学校教育課 | C        | 見直し        | 学校において、児童生徒に国際感覚及び英<br>語力を身につけるための指導とともに、地<br>域住民を対象とした英会話教室等、地域の<br>国際化推進にも貢献しており、必要な事業<br>と考える。   | 情報教育支援事業           | 0      | 114   | 0.02 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | 小学校英語活動推進事業        | 5,810  | 563   | 0.07 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | 中学校英語教育推進事業        | 14,339 | 698   | 0.07 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             | 学校図書館運営事業     | 学校教育課 | B        | 現状継続       | 児童・生徒の読書習慣を培い、豊かな心を<br>醸成していくために大きな役割を果たして<br>いる事業であり、今後、更なる充実が求め<br>られている事業である。学校においても評<br>価は高く、図書室の環境が一変し、読書に<br>親しむ児童・生徒が増加したとの声が各校<br>からあがっている。事業費はほとんどが司<br>書の賃金であり、コストの縮減が雇用条件<br>の悪化となることから、効率性を追求する<br>ことが困難である。                    | 小学校図書館司書配置事業       | 8,128  | 50    | 0.01 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | 中学校図書館司書配置事業       | 11,043 | 50    | 0.01 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             | 特色ある学校づくり推進事業 | 学校教育課 | B        | 現状継続       | 新たな学習活動を計画するにはそのための<br>人的・物的資源が必要となってくる。しか<br>し、その学習活動が幼児、児童生徒にとっ<br>て有効であるかと予想されても、資源が確<br>保されなければ、実施することが難しい。<br>本事業は、十分とは言えないがそのために<br>補助を行う事業であり、学校園にとつての<br>意義は大きいと考える。本事業を活用する<br>ことで、各校園においては、それぞれの地<br>域性や地域の力を生かした活動が定着して<br>きている。 | 離島教育振興事業           | 623    | 0     | 0.00 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             |               |       |          |            |   | 特色ある学校づくり支援事業      | 4,370  | 220   | 0.03 |             |        |        |               |               |  |



| 政 策           |               | 施 策            |               | 事 務 事 業 |          |            |  |                       |                | 施策評価          |              |             |   |        |               |               |
|---------------|---------------|----------------|---------------|---------|----------|------------|--|-----------------------|----------------|---------------|--------------|-------------|---|--------|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)    | 事務事業名         | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名               | 直接事業費          | 人件費           | 人工数          | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               | <b>03 高等学校</b> |               |         |          |            |  |                       | <b>13,402</b>  | <b>6,229</b>  | <b>0.84</b>  | -           |   |        |               |               |
|               |               |                | 定時制高等学校管理運営事業 | 教育総務課   | B        | 現状継続       | 効率的な運営のためには、生徒の増加も必要な要因の一つであり、入学生徒の志望動機の変化も踏まえた学校づくりが引き続き必要である。  | 定時制高等学校管理運営事業         | 9,716          | 6,120         | 0.83         |             | 定時制高等学校に対するニーズは全体的に高まっており、東備地域において不可欠な事業である。施設面や人的な面での改善は困難であるが、指導面での充実を図り、在籍生徒にとって魅力ある学校経営を目指す。                    | 同左     | 3 中立          | 平均的な配分        |
|               |               |                | 定時制高等学校教育振興事業 | 教育総務課   | B        | 現状継続       | 多様な志望動機を持つ生徒が増えるまた、特色ある魅力的な学校づくりが必要であり、その教育課程に応じた教育教材や図書充実を図る必要があるが、厳しい財政状況の中で十分な予算措置が困難な状況にある。  | 電算機借上事業               | 3,018          | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 教材備品整備事業              | 76             | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 全国大会出場補助事業            | 14             | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 図書整備事業                | 54             | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 就学奨励事業                | 0              | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                | 定時制高等学校運営支援事業 | 学校教育課   | C        | 現状継続       | 定時制高等学校に対するニーズは高まっており、この事業は必要不可欠なものである。しかし、施設面や人的な面での改善が困難な状況から、指導面での充実を図っていく必要がある。在籍生徒にとって魅力のある学校としていくことを目的として、学習指導の内容を見直し、授業改善を図っていくための指導の充実を図りたい。 | 高等学校教育研究部支援事業         | 0              | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 県高等学校教育研究会負担金         | 18             | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 全国定通校長会費事務            | 9              | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 県高等学校定時制通信制教頭協会費事務    | 10             | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 全国教頭会費事務              | 5              | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 県教頭会費事務               | 2              | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 教科書給与補助事業             | 315            | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 県高等学校体育連盟負担金事務        | 0              | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 部活動支援事業               | 20             | 8             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 高等学校運営事業              | 145            | 70            | 0.01         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 県高等学校定時制通信制教育振興会負担金事務 | 0              | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 全国定時制通信制高等学校長会定通部会費事務 | 0              | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 全国高等学校給食協議会運営支援事業     | 0              | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 校内研修支援事業              | 0              | 31            | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               | <b>04 大学</b>   |               |         |          |            |  |                       | -              | -             | -            | -           |   |        |               |               |
|               |               | <b>05 学校給食</b> |               |         |          |            |  |                       | <b>105,668</b> | <b>69,845</b> | <b>11.42</b> | -           |   |        |               |               |
|               |               |                | 給食施設管理運営事業    | 教育総務課   | B        | 整理統合       | 厳しい財政状況の中で、統廃合による調理場整備計画に基づく整備が停滞しているが、調理場によっては施設の老朽化が著しく、早急な調理場整備事業の着手が必要である。   | 給食調理場管理運営事業           | 97,337         | 69,464        | 11.38        |             | 旧備前地区の学校給食施設は、伊里共同調理場を除き整備が遅れている。特に、備前中学校の給食調理室は老朽化が著しく、片上小の調理場は設備面で課題が多い。これら施設の一体的な改善策、併せて、配送計画を含めて現在の調理場の再編も検討する。 | 同左     | 4 やや高い        | 平均を上回る配分      |
|               |               |                | 学校給食運営事業      | 学校教育課   | B        | 現状継続       | 食の安心への関心が高まり、食育の推進が求められる中、学校における食育を推進する上で重要な役割を担う学校給食のあり方を考え、学校給食職員の資質の向上を図ることは必要である。  | 学校給食運営事業              | 2,356          | 178           | 0.02         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 研修会等参加負担金事務           | 0              | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 市学校給食会運営支援事業          | 40             | 11            | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                |               |         |          |            |  | 学校給食振興期成会負担金事務        | 0              | 0             | 0.00         |             |   |        |               |               |
|               |               |                | 給食施設整備事業      | 教育総務課   | B        | 現状継続       | 厳しい財政状況の中で、統廃合による調理場整備計画に基づく整備を予定しているが、老朽化が著しい施設もあり、計画に基づき早急に整備事業の実施が望まれる。   | 給食施設整備事業              | 5,935          | 192           | 0.02         |             |   |        |               |               |

| 政 策           |                        | 施 策             |                 | 事 務 事 業 |          |            |   |  |               | 施策評価         |             |             |  |  |               |               |       |      |
|---------------|------------------------|-----------------|-----------------|---------|----------|------------|---|--|---------------|--------------|-------------|-------------|--|--|---------------|---------------|-------|------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策)          | 小項目<br>(施策)     | 事務事業名           | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細 事 業 名  | 直接事業費         | 人件費          | 人工数         | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |       |      |
|               |                        | <b>06 人権教育</b>  |                 |         |          |            |   |  | <b>2,423</b>  | <b>2,989</b> | <b>0.99</b> | -           |  |  |               |               |       |      |
|               |                        |                 | 人権教育推進事業（生涯学習課） | 生涯学習課   | C        | 整理統合       | 様々な人権問題の解決に向けて、地域・家庭・学校・企業等における人権教育の推進は必要不可欠であり、啓発の在り方や講座の充実を図ることが重要である。  | 人権教育推進委員会等推進事業<br>教育集会所維持管理事業<br>人権教育交流活動・自立促進事業 | 248           | 1,059        | 0.34        |             | 様々な人権問題は身の回りにさまざまな形で存在している。市民一人ひとりが感覚を磨いて感性を高めなければならず、不断の努力が必要。講座内容など、時機を捉えたものにしていかなければならない。 | 講座等の開催にあたっては、受講者ニーズの把握、研修効果の検証に基づいて魅力のある研修内容にしていかなければならない。         | 3 中立          | 平均的な配分        |       |      |
|               |                        |                 | 人権教育推進事業（学校教育課） | 学校教育課   | B        | 現状継続       | 学校現場における他の研修の必要性もあることから、研修全体の整理を行う必要はある。しかし、市内の教職員が一堂に会して、人権教育についての研修を行い、人権感覚を磨くための取組は、備前市内の学校における人権教育の充実のためには有益な取組である。前年度の実践を踏まえ、工夫・改善を加えながら研修を進めていくことが出来た。  | 市人権教育研究会運営支援事業                                   | 100           | 33           | 0.00        |             |  |  |               |               |       |      |
|               |                        |                 | 人権教育指導者養成事業     | 生涯学習課   | C        | 整理統合       | 事業費を削減しているが、講座においては受講生のニーズを把握するため「ふりかえりシート」を実施し、内容の充実及び参加の受講率も目標値を達成できると考えられる。  | P T A 人権教育推進事業<br>人権教育指導者養成講座 開設事業               | 378           | 283          | 0.16        | 138         |  |  |               |               | 800   | 0.31 |
|               |                        | <b>07 施設整備</b>  |                 |         |          |            |   |  | -             | -            | -           |             |  |  |               |               |       |      |
|               | <b>02 生きがいのあるまちづくり</b> |                 |                 |         |          |            |   |  | -             | -            | -           |             |  |  |               |               |       |      |
|               |                        | <b>01 家庭教育</b>  |                 |         |          |            |   |  | <b>0</b>      | <b>1,549</b> | <b>0.20</b> | -           |  |  |               |               |       |      |
|               |                        |                 | 家庭教育支援事業        | 生涯学習課   | B        | 見直し        | 市内4つの子育て団体と3NPOが協働して事業を進めたことにより、今まで希薄だった地域の団体同士のネットワークが構築できた。親子で行ってみたいと思われるプログラムの開発が出来た。  | 親の学び支援推進事業                                       | 0             | 1,549        | 0.20        |             | 家庭の教育力を高めていく施策は重要だが、参加する親子の希望や参加しやすいものにしていく必要がある。子育て支援団体と行政の連携を密に、ニーズを把握すること。                | 20年度県の委託事業で終了。   | 3 中立          | -             |       |      |
|               |                        | <b>02 青少年教育</b> |                 |         |          |            |   |  | <b>11,681</b> | <b>6,738</b> | <b>0.91</b> | -           |  |  |               |               |       |      |
|               |                        |                 | 放課後子どもプラン事業     | 生涯学習課   | D        | 現状継続       | 国・県及び近隣市町村の動向を見ながら今後の方向性を検討する   | 放課後子ども教室推進事業                                     |               |              | 183         | 0.02        | 地域の教育力を高めるため、育成講演会や育成大会、各地区育成行事へ、多くの大人たちが参加できるように、青少年健全育成推進本部の運営に力点をおくこと。                    | 地域の教育力を高め、地域の子どもは地域で「守る・育てる・導く」努力が大切。健全育成推進本部等関係団体とのさらに密な連携が必要である。 | 3 中立          | 平均的な配分        |       |      |
|               |                        |                 | 青少年健全育成事業       | 生涯学習課   | B        | 見直し        | 青少年の健全育成を図るためには、様々な環境の整備が必要である。単なる非行補導に留まらず、非行発生の予防及び青少年を地域で見守っていただくよう、各地域における団体との連携が不可欠である。  | 青少年健全育成推進本部補助事業<br>青少年育成センター運営事業                 | 1,500         | 1,467        | 0.18        | 9,614       |  |  |               |               | 2,574 | 0.33 |
|               |                        |                 | 青少年活動支援事業       | 生涯学習課   | C        | 現状継続       | 県下に於いても特に青年団は減少・消滅する団（会）が多い中、備前市は活動を維持しているし、若者の代表としての価値は高い。平成22年国民文化祭へのボランティアにいち早く参加を表明したり、成人式協力など貢献度も高いが、市内の認知度も高める必要もある。その予備軍としてのF O S 少年団は、代表する組織への補助金支出とするなど、効率的な援助を行うようにしたいが、地域密着度が高い上、異なった組織形態での合併統合は難点がある。 | 備前市青年協議会補助事業<br>備前市F O S 少年団補助事業                 | 262           | 76           | 0.01        | 305         |  |  |               |               | 2,438 | 0.37 |

| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)    | 事務事業  |    |      |  |  | 施策評価                                 |   |  |     |                                       |  |        |           |           |  |
|---------------|---------------|----------------|-------|----|------|--|--|--------------------------------------|---|--|-----|---------------------------------------|--|--------|-----------|-----------|--|
|               |               |                | 事務事業名 | 所管 | 評価区分 | 今後の方向性   | 総合評価   | 細事業名                                 | 直接事業費                                       | 人件費  | 人工数 | 施設への貢献度                               | 課長コメント   | 部長コメント | 基本施策への貢献度 | 翌年度予算の方向性 |  |
|               |               | <b>03 成人教育</b> |       |    |      |  |  |                                      |   |  |     |                                       |  |        |           |           |  |
|               |               | 生涯学習推進事業       | 生涯学習課 | B  | 現状継続 | 市民、各種団体、企業、行政の連携関係は今後実施する社会教育及び生涯学習の推進においても大きな宝となり、これから本県・本市において開催される国民文化祭でも大きな活力になるものと考えている。  | 生涯学習推進委員会運営事業<br>県民フェスティバル開催事業<br>子ども情報センター運営事業<br>公用車管理事業(生涯学習課)<br>生涯学習課管理運営事業 | 8,100<br>0<br>0<br>652<br>256<br>127 | 9,488<br>304<br>2,014<br>1,214<br>76<br>531 | 1.16<br>0.04<br>0.23<br>0.16<br>0.01<br>0.07 | -   | 団塊世代の社会教育講座など、時代に即応した講座開設を図っていく必要がある。 | 最近はスポーツ活動、公民館活動、文化協会活動等が高年齢化している。青年団活動も低迷しており、全体的に事業の見直しを必要とする必要がある。 | 2やや低い  | 平均的な配分    |           |  |
|               |               | 奨学金貸付事業        | 生涯学習課 | C  | 見直し  | 奨学金貸付事業は、合併前備前市、日生町、吉永町において実施しており、それぞれに条例、規則で目的等が定められている。合併前に貸付決定している日生町、吉永町の奨学生についても、奨学金返還は継続している。また、合併後からは新しい備前市奨学金貸付規則の施行により、第一種奨学金(無利子)と第二種奨学金(有利子)を実施しているために、奨学金貸付事業に係る事務量が増え、平成17年度からは人件費コストが増大している。成果指標に取り上げた返還金の収納率については、滞納者が固定化されており、新たな滞納者は生じていないことから目標値を95%とした。 | 奨学金貸付金給付事業   | 4,560                                | 2,125                                       | 0.28   |     |                                       |  |        |           |           |  |
|               |               | P T A 連合会支援事業  | 生涯学習課 | B  | 現状継続 | P T A 会員とは、任期が児童生徒の在籍期間のみであり継続的でないことから、貴重な会員期間に於いて、より多くの参加が望める行事や研修を行っていただいて、20年度は研修が増加した。但し今年度は県の研修が年2回の予定となり、学習機会が減少しているのが残念である。   | 備前市 P T A 連合会補助事業  | 84                                   | 76  | 0.01   |     |                                       |  |        |           |           |  |
|               |               | 人材養成講座事業       | 生涯学習課 | C  | 拡充   | 「国民文化祭・おかやま2010」開催に向けてのボランティア研修を受けられた多くの方が、市内の団体やグループの学習活動の指導者になっていただくのが目標であり、大会終了後も引き続き文化振興の啓発を図る必要がある。21年度は年度当初より国民文化祭実行委員会と連携を図る。   | 人材養成講座事業   | 0                                    | 0   | 0.00   |     |                                       |  |        |           |           |  |
|               |               | 社会教育事業         | 生涯学習課 | C  | 見直し  | 大半の新成人にとっては同窓会程度の意識しかもたれていないため、市民参画の感動をもたらす新しい形の成人式を検討する。  | 社会教育委員活動事業<br>社会教育指導員活動事業<br>教育の日関連事業<br>成人式運営事業                                 | 171<br>1,388<br>288<br>358           | 720<br>0<br>768<br>1,508                    | 0.07<br>0.00<br>0.08<br>0.19                 |     |                                       |  |        |           |           |  |
|               |               | 婦人協議会支援事業      | 生涯学習課 | C  | 見直し  | 平成18年度に日生町婦人協議会と備前エプロンの会(県には「備前市支部」として加盟)が統一組織「備前市婦人協議会」として発足。県民フェスティバル・人材養成講座にはボランティアとして30名前後の協力を得て、官民協働のイベントとしての実施に大いに貢献していただいた。また市の各種行事・委員会への協力も惜みないものがあり、自主運営にも期待が持てる。但し、総会や市民婦人講座などの事務処理については協力が必要と考える。   | 備前市婦人協議会補助事業   | 216                                  | 152   | 0.02   |     |                                       |  |        |           |           |  |

| 政 策           |               | 事 務 事 業       |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 施策評価          |   |   |               |               |     |     |      |  |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------|----------|-----------------------|--|--------------|---------------|---------------|-------------|---------------|---|---|---------------|---------------|-----|-----|------|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)   | 事務事業名         | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性            | 総合評価   | 細 事 業 名      | 直接事業費         | 人件費           | 人工数         | 施設への<br>貢献度   | 課長コメント  | 部長コメント  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |     |     |      |  |
|               |               | <b>04 公民館</b> |               |         |          |                       |  |              | <b>99,759</b> | <b>50,786</b> | <b>6.84</b> | -             |   |   |               |               |     |     |      |  |
|               |               |               | 市民センター管理運営事業  | 中央公民館   | C        | 現状継続<br>見直し           | 市民センターは昭和56年に建設し30年近く経ち老朽化が進んでいて、今後、計画的な改修を行う必要がある。また、ホールについては、日生市民会館と密に連絡調整を図り、使用を市民センターに集中させて、運営の効率化を図る。     | 市民センター管理運営事業 | 26,340        | 9,498         | 1.54        |               | 公民館関係について、平成20年度から、中央公民館が全体を統括することになり、関係団体との関わりについて見直しの検討を行っているが、今後3館で協議し、22年度から実施できるよう努めること。 | 公民館関係について、中央公民館が全体を統括し、関係団体との関わりについて見直しの検討を行うこと。また、公民館使用料についても3館で見直しすること。 | 3 中立          | 平均的な配分        |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       | 県冷凍設備保安協会費   | 19           |               |               |             |               |   |   |               |               |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       | 公立文化施設協議会会費  | 35           |               |               |             |               |   |   |               |               |     |     |      |  |
|               |               |               | 市民会館運営事業      | 日生市民会館  | D        | 見直し<br>縮小<br>整理<br>統合 | 事業効率が悪くなっている対策として、将来的にはホール使用は市民センターへ移行させることで類似施設の統廃合を図り、使用料の見直しを行い、認定団体も有料として、減免を別途考慮することを検討する時期になっているのかも知れない。 | 市民会館管理運営事業   | 8,901         | 9,341         | 0.94        |               |   |   |               |               |     |     |      |  |
|               |               |               | 中央公民館運営事業     | 中央公民館   | C        | 見直し                   | 日生地域公民館が主管する文化事業観賞会を、20年度は市民センターに場所を移して開催し好評を博した。今後も社会のニーズを把握し多数の市民が参加できる催しを企画していく。                            | 中央公民館運営事業    | 381           | 3,111         | 0.55        |               |   |   |               |               |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 文化協会活動補助金     |   |   |               |               | 256 | 971 | 0.20 |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 県公民館振興会市町村負担金 |   |   |               |               | 34  |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 県文化連盟会費       |   |   |               |               | 30  |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 中央公民館運営審議会事業  |   |   |               |               | 104 | 49  | 0.01 |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 市民講座          |   |   |               |               | 152 | 190 | 0.03 |  |
|               |               |               | 日生地域公民館運営事業   | 日生地域公民館 | C        | 現状継続                  | 利用者の要望を取り入れながら、教育及び文化等に関する事業を行い、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、及び社会福祉の増進に寄与する。また、市民の学習のニーズ、時代に即した学習の機会や場所を提供したい。          | 地域公民館運営審議会事業 | 98            | 107           | 0.01        |               |   |   |               |               |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 地域公民館運営事業     | 1,347   | 7,790   | 1.01          |               |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 市民講座          | 715   | 3,053   | 0.39          |               |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 文化祭           | 60  | 1,155   | 0.12          |               |     |     |      |  |
|               |               |               | 吉永地域公民館管理運営事業 | 吉永地域公民館 | B        | 見直し                   | 中央公民館、日生地域公民館と協議しながら、地域の人々(幼児から高齢者まで)が参加できる事業を開催していく必要がある。また、受益者負担についても、3館それぞれ地域の実情を勘案しながら、統一していく必要がある。        | 地域公民館運営審議会事業 | 78            | 6,387         | 0.01        |               |   |   |               |               |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 地域公民館運営事業     | 8,480   | 107   | 0.79          |               |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 市民講座          | 325   | 2,859   | 0.40          |               |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 文化祭           | 42  | 1,429   | 0.19          |               |     |     |      |  |
|               |               |               | 自治公民館等整備事業    | 中央公民館   | B        | 現状継続                  | 平成20年度は、要望の14件に対し、取り止めた1件を除いた13件に対応することができた。   | 自治公民館等整備事業   | 7,797         | 515           | 0.09        |               |   |   |               |               |     |     |      |  |
|               |               |               | 地区公民館運営事業     | 中央公民館   | C        | 見直し                   | 少子高齢化に伴い、高齢者の利用者が増加している一方で、若年、団塊世代の活動グループが少ないこともあり利用者に偏りがある。年齢に関係なく住民が身近な生涯学習施設と思えるな各種事業を企画する。                 | 地区公民館運営事業    | 42,627        | 3,126         | 0.39        |               |   |   |               |               |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 地区公民館管理事業     |   |   |               |               |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 地区公民館運営審議会事業  | 477   |   |               |               |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 地区文化祭運営事業     | 156   |   |               |               |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 地区体育祭運営事業     |   | 282   | 0.04          |               |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       |  |              |               |               |             | 地区社会体育事業      | 256   | 335   | 0.04          |               |     |     |      |  |
|               |               |               |               |         |          |                       | 頭島総合センター管理運営事業   | 911          |               |               |             |               |   |   |               |               |     |     |      |  |

| 政 策           |               | 施 策                     |               | 事 務 事 業 |          |            |  |   |  | 施 策 評 価                                   |  |             |   |   |               |               |  |
|---------------|---------------|-------------------------|---------------|---------|----------|------------|--|---|--|---|--|-------------|---|---|---------------|---------------|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)             | 事務事業名         | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名   | 直接事業費                                    | 人件費                                       | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |
|               |               | <b>05 図書館・視聴覚ライブラリー</b> |               |         |          |            |  |   | <b>14,839</b>                            | <b>10,942</b>                             | <b>1.50</b>                                  | -           |   |   |               |               |  |
|               |               |                         | 図書館運営事業       | 中央公民館   | C        | 現状継続       | 県立図書館利用の窓口として入館者が増え、本市の貸出冊数及び予約(リクエスト)件数も増加している。引き続き現状維持のため、司書の研修・連絡会を随時行い、職員の仕事の質とサービスの向上に努める。また、定期的な読み聞かせ行事等はボランティアに協力により活性化を図り参加者の増加へつなごう。更なる利用者を増やすために図書館のPRにも一層力を入れる。 | 図書館運営事業<br>県図書館協会負担金  | 14,713<br>12                             | 10,430                                    | 1.41   |             | 図書館事業では、更なる貸し出し冊数や利用者増を図るため、親切丁寧な対応に心掛けること。また、横断システム、移動図書館車のPRなどを行い利用者の増加を図ること。ライブラリー事業については、機材の維持管理に重点を置くこと。                           | 図書館事業で、21年度に県の補助事業「子ども読書活動推進地域フォーラム開催事業」において、子どもの読書活動関係者のネットワークの拡大や充実に努めている。今後も、引き続きネットワークの拡大を図れるよう努めること。ライブラリー事業については、同様である。 | 3中立           | 平均的な配分        |  |
|               |               |                         | 視聴覚ライブラリー運営事業 | 中央公民館   | D        | 縮小         | 事業の縮小は財政面及び人員削減の推進からも止むを得ない方針ではあるが、現況において可能な限りの成果をあげていきたい。   | 視聴覚ライブラリー運営事業<br>県AVL連絡協議会負担金   | 107<br>7                                 | 512                                       | 0.09   |             |   |   |               |               |  |
|               |               | <b>06 スポーツ・レクリエーション</b> |               |         |          |            |  |   | <b>136,117</b>                           | <b>31,444</b>                             | <b>4.19</b>                                  | -           |   |   |               |               |  |
|               |               |                         | 海洋スポーツ普及事業    | スポーツ振興室 | B        | 見直し        | B & G 海洋センター事業としての実施が必要であること、海洋スポーツをとおして青少年の健全育成に努めることを目的とするが、実施方法については、指定管理者制度導入に併せて今年度は見直しが必要がある。  | 海洋スポーツ普及事業<br>スポーツ教室等開催事業   | 149<br>0                                 | 209                                       | 0.03   |             | H21年度から一管理者による体育施設指定管理者制度が施行され、市民サービスに応えるため民間活力をどのように活かすことができるか常に管理者と協議しサービスの向上を心がけること。今後も市民がスポーツへの関心を高め、スポーツ人口の増加に向けて新しい企画を考えていく必要がある。 | スポーツ教室の参加者数の急激な減少の分析と魅力ある教室の開催が望まれる。厳しい予算ではあるが、外部講師によらないスポーツ教室の開催も検討すること。   | 3中立           | 平均的な配分        |  |
|               |               |                         | スポーツ推進事業      | スポーツ振興室 | B        | 見直し        | 市民が健康で明るい生活をおくるためには、気軽にスポーツに参加できるスポーツ環境を整える必要があるため、スポーツ教室や各種大会を開催する。また、研修会を開催することにより、スポーツに対する質の向上することを期待するが、市民のニーズにあった企画をし多くの参加者を募る必要がある。                                  | 社会体育団体育成事業<br>総合型地域スポーツクラブ 啓発・育成支援事業<br>各種研修会事業<br>スポーツ教室等開催事業<br>スポーツ大会等開催事業<br>スポーツ拠点づくり推進事業  | 0<br>100<br>80<br>356<br>701<br>0        | 2,439<br>200<br>58<br>441<br>2,228<br>410 | 0.50<br>0.03<br>0.01<br>0.08<br>0.34<br>0.07 |             |   |   |               |               |  |
|               |               |                         | 保健体育総務管理事業    | スポーツ振興室 | B        | 現状継続       | スポーツ振興には激励金交付は継続する必要がある。また、体育協会・スポーツ少年団の活動補助金交付については、削減してきたが、団活動を活発にしていきたいにはこれ以上の減額は困難であるが、各種団体の支援をし、市の開催事業には協力を得るなど、市民との協働ということで効率的で有効な事業の展開であると考えられる。                    | 保健体育総務管理事業<br>各種委員会<br>体育功労者・全国大会等出場選手激励金<br>公用車管理  | 7,073<br>3,124<br>1,005<br>259           | 6,838<br>627<br>142<br>0                  | 0.94<br>0.09<br>0.02<br>0.00                 |             |   |   |               |               |  |
|               |               |                         | 体育施設管理運営事業    | スポーツ振興室 | B        | 見直し        | 吉永 B & G 海洋センター以外の施設は、指定管理者制度を導入し施設の管理・運営を民間活力を活用することでサービスの向上と経費削減に努めた。吉永 B & G 海洋センターにおいても市職員による管理・運営で他の業務を実施しながらサービスを低下させないように努めた。                                       | 総合運動公園管理運営事業<br>伊部運動公園管理運営事業<br>三石運動公園管理運営事業<br>浜山運動公園管理運営事業<br>日生運動公園管理運営事業<br>日生武道場管理運営事業<br>ヘルスバ日生管理運営事業<br>吉永 B & G 海洋センター管理運営事業<br>吉永テニスコート管理運営事業<br>神根農村広場等体育施設 | 77,136<br>21,493<br>16,004<br>6,969<br>0 | 1,460<br>578<br>2,621<br>12,005<br>50     | 0.17<br>0.07<br>0.30<br>1.32<br>0.01         |             |   |   |               |               |  |
|               |               |                         | 学校体育施設開放事業    | スポーツ振興室 | B        | 見直し        | 地域のスポーツ振興を図るために、地域の学校の体育施設を学校運営に支障のない範囲で有効に活用できるよう環境を整える必要がある。   | 学校体育施設管理運営事業  | 1,668                                    | 1,021                                     | 0.19   |             |   |   |               |               |  |

| 政策            |               | 事務事業          |                |       |          | 施策評価       |   |                |        |       |      |             |   |        |               |               |
|---------------|---------------|---------------|----------------|-------|----------|------------|---|----------------|--------|-------|------|-------------|---|--------|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)   | 事務事業名          | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細事業名           | 直接事業費  | 人件費   | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               | 03            | 歴史と文化の輝くまちづくり |                |       |          |            |   |                | -      | -     | -    |             |   |        |               |               |
|               |               | 01            | 文化芸術の振興        |       |          |            |   |                | 14,383 | 8,919 | 1.40 |             |   |        |               |               |
|               |               |               | 文化活動推進事業       | 生涯学習課 | B        | 拡充         | H19「全国生涯学習フェスティバル」との相違は、特に美術展は全国公募による大会であることと、各賞の受賞者が全国から備前市を訪れることである。発送先だけで300～400箇所であり、作品も200点程度予想される。<br>国民文化祭は社会教育関係団体の活性化やボランティアの人材養成、児童生徒の文化体験活動に有益な事業でもあるので、生涯学習の推進に大いに活用できる。市予算対応（実行委員会補助金）は「まなびピア」と同額（約350万）とする方向で財政と協議。他8割近い県実行委員会の補助を21年度から積極的に交渉し、21年度は秋までに22年度実施予算の確定と前年度準備（ポスター・パンフ・要項発送）対応、本番に向けての体制づくり及び市民への広報啓発活動を行い、全行事を確定させる重要な年である。 | 備前吹奏楽フェスティバル事業 | 109    | 473   | 0.06 |             | 文化振興の基本視点は、住んでいる町の誇りを持つこと。先人の優れた業績・文化を顕彰し、今活躍されている人の活動を地域の輪として広めること。本市に住むことを誇れるよう、他地域との違いを認識させることが肝要。 | 同左     | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |               | 歴史民俗資料館管理運営事業  | 生涯学習課 | B        | 見直し        | 資料館事業の企画展開催については、平成19年から助成事業の申請を行うなど、コスト面について見直しを行っている。また、館運営に関しても清掃業務や光熱水費の見直しを行っており、効率性についてはわずかではあるが、成果が出ている。<br>展示内容については、市資料調査員や来観者の意見をききながら、何度も来館したくなるような魅力ある展示をしていく必要がある。<br>また、小学生なども多く訪れるので、わかりやすい展示をめざす。   | 歴史民俗資料館管理運営事業  | 9,049  | 496   | 0.07 |             |   |        |               |               |
|               |               |               | 加子浦歴史文化館管理運営事業 | 生涯学習課 | B        | 現状継続       | 平成20年度は、文化施設を様々な不利な条件がとりまいた。日生町を訪れる観光客は激減し、休館日となった月曜日は、当館にとって結構入館者数の多い曜日であったから、当館の入館者数も激減した。このような状況のなかで休館日が元に戻したのは、文化施設の実存意義が一般に認識されたのであろうと考えられる。文化の振興について再興する事柄であった。   | 加子浦歴史文化館管理運営事業 | 4,216  | 5,820 | 0.98 |             |   |        |               |               |
|               |               |               | 吉永美術館管理運営事業    | 生涯学習課 | D        | 現状継続       | 美術館としての機能は利用客数の現状を考慮すると閉鎖もやむを得ない状況である。だが、郷土歴史資料の適切な保管を行うところが他になく、市が責任をもって管理運営し郷土の財産として後世に伝えていく必要がある。  | 吉永美術館管理運営事業    | 808    | 567   | 0.07 |             |   |        |               |               |

| 政 策           |                             | 施 策                     |                 | 事 務 事 業  |          |            |  |   |  | 施 策 評 価   |  |             |  |  |               |               |
|---------------|-----------------------------|-------------------------|-----------------|----------|----------|------------|--|---|--|---|--|-------------|--|--|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策)               | 小項目<br>(施策)             | 事務事業名           | 所管       | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名   | 直接事業費  | 人件費   | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |                             | <b>02 文化財の保存と活用</b>     |                 |          |          |            |  |   | <b>9,308</b>   | <b>9,820</b>  | <b>1.36</b>  | -           |  |  |               |               |
|               |                             |                         | 文化財保護事業         | 生涯学習課    | B        | 見直し        | 文化財については、数値で評価することが難しい事業であるので、この評価シートのみで判断することはできない。しかし、事業内容や現状を把握し、よりよい文化財の保護・保存・活用ができるように努めていかなければならない。<br>市内文化財については、広報びぜんで紹介したり、フォーラムを開催するなど周知を行っているが、すべてを適切に管理する組織・体制となっていない。効率よく管理していくためにも、資料等をデジタルデータ化することが必要である。 | 文化財保護管理運営事業   | 1,403  | 3,949   | 0.60   |             | 追加拡大された「国史跡備前陶器窯跡」の調査研究を進めるにあたって、地元住民の理解を得ること。岡谷学校世界遺産登録推進については、岡山県との事務分擔を明確にすること。                     | 同左   | 4 やや高い        | 平均を上回る配分      |
|               |                             |                         | 旧岡谷学校世界遺産登録推進事業 | 生涯学習課    | B        | 拡充         | 文化庁より「近世の教育資産」という主題のもとに、詳細な調査・研究等を行い、他の同種資産と組み合わせることにより、将来的に世界遺産暫定一覧表に記載される可能性が示された。これを受けて、岡山県・水戸市・足利市と連携を深め世界遺産登録へ向け事業を展開していかねばならない。そのためコストの増加は避けられないが、より充実した事業になるように努めなければならない。  | 備前統総合調査史跡整備事業   | 7,805  | 2,844   | 0.38   |             |  |  |               |               |
|               |                             |                         |                 |          |          |            | 岡谷学校世界遺産登録推進委員会事務事業  | 100   | 3,027  | 0.38  |  |             |  |  |               |               |
| <b>04</b>     | <b>もてなしの心とたくましさのあるまちづくり</b> |                         |                 |          |          |            |  |   | -  | -   | -  |             |  |  |               |               |
|               |                             | <b>01 豊かな食を支えるまちづくり</b> |                 |          |          |            |  |   | -  | -   | -  |             |  |  |               |               |
|               |                             | <b>01 農業</b>            |                 |          |          |            |  |   | <b>228,628</b>   | <b>60,533</b>   | <b>8.63</b>  | -           |  |  |               |               |
|               |                             |                         | 農業委員会運営事業       | 農研委員会事務局 | C        | 現状継続       | 農地法等に係る許可事務や調整事務については随時行われているが、農地パトロールや農地の実態調査などの監視活動により、よりいっそうの違反転用の未然防止に努める必要がある。また、耕作放棄地については、増加傾向にあるため、関係機関と連携を取りながら、解消に努める必要がある。  | 農業委員会運営事業<br>農業委員公務災害共済制度保険<br>県農業会議拠出金<br>県都市農業委員会事務研究会負担金<br>備前地区農業委員会協議会負担金<br>県農業委員会職員協議会備前支部負担金<br>農地法許可事業<br>農業者年金業務委託事業  | 9,347<br>26<br>238<br>0<br>35<br>18<br>0<br>0                                      | 10,182<br>0<br>0<br>107<br>0<br>107<br>478<br>93  | 1.22<br>0.00<br>0.00<br>0.01<br>0.00<br>0.01<br>0.05<br>0.01   |             | 農業者の高齢化や後継者不足、有害鳥獣被害により、耕作放棄地が増加傾向にあり、今後、担い手の育成、確保する必要がある。また、施設管理に苦悩しているため、補助事業の採択条件の緩和を国、県に要望する必要がある。 | 緊急雇用対策としてのJ A岡山県による研修生受け入れ事業などにより、担い手の確保に努める必要がある。 | 3 中立          | 平均的な配分        |
|               |                             |                         | 農業用施設整備事業       | 農林水産課    | B        | 現状継続       | 受益者は減少、荒廃農地は増加傾向にあるが、農業振興地域においては、補助事業を利用し、その他の地域については、改良よりも、維持管理的な工事で、農業用施設を改良（維持）することで、農作業の効率を上げ、農業振興を図る。   | 単独事業<br>非補助融資事業<br>小規模土地改良事業<br>中山間地域等生活・交流基盤整備事業<br>新農業水利システム保全対策事業<br>土地改良施設適正化事業<br>広域営農団地農道整備事業   | 11,576<br>95,961<br>12,636<br>1,943<br>0<br>817<br>8,441                           | 4,904<br>1,456<br>3,901<br>366<br>354<br>258<br>184   | 0.73<br>0.19<br>0.56<br>0.06<br>0.04<br>0.03<br>0.02   |             |  |  |               |               |
|               |                             |                         | 農業用施設維持管理事業     | 農林水産課    | B        | 現状継続       | 負担金の削減は事業が無くなれば可能だが、維持管理経費等も今後あるので、地域の防災施設としての位置付けも出来るので、今後とも継続していく必要がある。  | 水路管理事業<br>農道水路占用許可事務<br>官民境界事務<br>法定外公共財産の用途廃止事務<br>農道管理事業（備前）<br>農道管理事業（日生）<br>農道管理事業（吉永）<br>ため池管理事業（備前）<br>ため池管理事業（日生）<br>ため池管理事業（吉永）<br>かんがい排水管理事業（備前）<br>かんがい排水管理事業（日生）<br>かんがい排水管理事業（吉永） | 0<br>0<br>0<br>0<br>177<br>199<br>107<br>582<br>199<br>376<br>14,719<br>199<br>183 | 1,270<br>1,214<br>2,816<br>2,777<br>1,388<br>199<br>107<br>1,050<br>199<br>376<br>1,311<br>199<br>183 | 0.14<br>0.16<br>0.30<br>0.30<br>0.15<br>0.02<br>0.01<br>0.13<br>0.02<br>0.04<br>0.13<br>0.02<br>0.02 |             |  |  |               |               |

| 政 策           |               |             | 施 策          |       |          |            |  |                       |        |       |      |             | 事務事業   |        |               |               | 施策評価 |  |  |  |
|---------------|---------------|-------------|--------------|-------|----------|------------|--|-----------------------|--------|-------|------|-------------|--------|--------|---------------|---------------|------|--|--|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名        | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名               | 直接事業費  | 人件費   | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント | 部長コメント | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |      |  |  |  |
|               |               |             | 災害復旧事業       | 農林水産課 | B        | 現状継続       | 本事業は工事完了の進捗状況によって農業生産に多大な影響を与えるため、早期完了を目標に行なう事業である。  | 農業用施設災害復旧事業（補助）       | 12,456 | 3,394 | 0.46 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 農業用施設災害復旧事業（単独）       | 441    | 58    | 0.01 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 農業関連負担金事務    | 農林水産課 | C        | 現状継続       | 負担金の削減もさらに可能と思うが、他市と協議の上農業施設等や環境保全も考慮にいれて見直ししていかなければならない。削減しすぎること市民サービスの低下を招かないよう努力する。   | 県穀物改良協議会負担金           | 11     | 0     | 0.00 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 市農業技術者連絡協議会負担金        | 20     | 156   | 0.02 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 吉井川広域交流協議会負担金         | 0      | 107   | 0.01 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 備前地区農業農村振興協議会負担金      | 180    | 0     | 0.00 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 全国中山間地域振興対策協議会会費      | 20     | 0     | 0.00 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 東備農業共済事務組合負担金         | 12,416 | 76    | 0.01 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 県山村振興連盟負担金            | 35     | 0     | 0.00 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 県土地改良事業団体連合会負担金       | 54     | 0     | 0.00 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 米の需給調整事業     | 農林水産課 | B        | 現状継続       | この事業の中で、生産調整については全く問題ないが、作付をされないことにより耕作放棄地が増加し、農地の維持管理が今後の目標とされる。  | 米の需給調整事業              | 2,343  | 1,785 | 0.30 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 農業生産基盤維持事業   | 農林水産課 | C        | 縮小         | この事業に市が関与することで農業生産量がUPし、災害に強いまちづくりをつくる上では重要な事業であり縮小しても継続していく必要がある。しかし、ため池等を整備すると1箇所のため池で18年の長期債務負担を強いるため、21年度に旧一市二町の受益者負担の見直しや統一をし、防犯的に危険な箇所、農業生産者数の多い場所から優先順位をつけ有効的に成果を出していく。 | 農業近代化資金利子補給金          | 0      | 100   | 0.01 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 農業経営基盤強化資金利子補給金       | 29     | 168   | 0.02 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 農業基盤整備（団体営）資金借入金元利補給金 | 14,838 | 0     | 0.00 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 東鶴山土地改良区借入金元利補給金      | 1,634  | 0     | 0.00 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 地域農政推進対策事業   | 農林水産課 | B        | 現状継続       | 市民からの要望による軽微な農業振興地域整備計画の見直しについては、それなりの成果は出ている。今後は、農業振興地域の整備に関する法律の改正が進められている現状を踏まえ、適正な対処をしていく必要がある。  | 地域農政推進対策事業            | 1,163  | 2,648 | 0.42 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 畜産振興事業       | 農林水産課 | C        | 見直し        | 環境に配慮した畜産経営に向けての指導は畜産振興を図る上で必要であり、今後も関係機関との連携を密にして実施していく。指導にかかる事務作業については見直しを実施し、効率の向上に努める。   | 畜産推進事業                | 0      | 488   | 0.09 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 東備農業共済事務組合事業 | 農林水産課 | C        | 現状継続       | この事業については、市が直接推進を行うものではなく、各地区の推進員の活動による成果であるため、今後とも農業共済の必要性を推進員一人一人に徹底するため、説明会を開催する。   | 東備農業共済事務組合一般事務（備前）    | 0      | 863   | 0.14 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 東備農業共済事務組合一般事務（日生）    | 0      | 702   | 0.08 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 東備農業共済事務組合一般事務（吉永）    | 0      | 134   | 0.02 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 東備農業共済事務組合協議会事務（備前）   | 0      | 1,178 | 0.18 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 東備農業共済事務組合協議会事務（日生）   | 0      | 403   | 0.05 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |              |       |          |            |  | 東備農業共済事務組合協議会事務（吉永）   | 0      | 425   | 0.07 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 中山間地域等振興事業   | 農林水産課 | B        | (空白)       | 全体的に14集落とも事業の趣旨に沿って順調に取り組み、集落活動により農地の管理は徹底されている。   | 中山間地域等振興事業            | 13,035 | 892   | 0.16 |             |        |        |               |               |      |  |  |  |



| 政 策           |               |             | 事 務 事 業         |         |          |            |  |   |                              | 施策評価                              |                                      |             |        |        |               |               |
|---------------|---------------|-------------|-----------------|---------|----------|------------|--|---|------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|-------------|--------|--------|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名           | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名   | 直接事業費                        | 人件費                               | 人工数                                  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント | 部長コメント | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               |             | 山村地域等振興事業       | 管理課(吉永) | C        | 現状継続       | 地域活性化のために必要な行事であり、引続き交流まつりを開催するが、予算削減により現状維持が難しい。  | ふるさと交流まつり開催事業   | 700                          | 882                               | 0.11                                 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 山村地域活性化施設管理事業   | 管理課(吉永) | C        | 現状継続       | 休止中の施設については、再開の用途は立っている。ニーズに合った質の高いサービスにより観光客の増加を図る。他の施設についても、市と管理者が相互に協力し、経費削減、営業努力により今まで以上に快適・安全な施設の運営管理に努める。茅葺等施設の老朽化も進んでいる、今後計画的な修繕の必要がある。         | 南方約堀公園管理運営事業<br>八搭寺ふるさと農園管理事業<br>八搭寺ふるさと館管理運営事業<br>紅葉会館管理運営事業       | 656<br>5,042<br>831<br>1,285 | 598<br>790<br>849<br>2,916        | 0.07<br>0.09<br>0.10<br>1.04         |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 農地・水・環境保全向上対策事業 | 農林水産課   | B        | 現状継続       | 現在取り組んでいる地区については、積極的に活動に取り組み、順調に活動が行われている。また、19年度から5年間の事業であるが、中途参加も可能であるため、他の地域からの要望があれば積極的に勧める。   | 農地・水・環境保全向上対策事業   | 1,267                        | 630                               | 0.11                                 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 農作物獣害防止施設設置事業   | 農林水産課   | B        | 見直し        | 有害獣による農作物被害は増加傾向にあり、農業者からの要望も増えている。こうした状況の中で本事業の実施により被害防止を図ることは、農業者の生産意欲の向上を促進し、農業振興につながるものと考えられる。   | 農作物獣害防止施設設置補助金  | 1,442                        | 708                               | 0.13                                 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 猟政事業            | 農林水産課   | C        | 現状継続       | 年度により有害鳥獣の捕獲率にはばつきがあるが、野生動物が対象になるのでやむを得ない部分もある。農作物・人的・物的被害が少しでも減少し、駆除依頼件数が減少すればよいと判断する。また、駆除班の高齢化が進んでおり後継者の育成も今後必要になっていくと思われる。                         | 有害鳥獣捕獲柵設置補助金<br>有害鳥獣駆除事業補助金<br>有害鳥獣駆除事業<br>猟政事務事業(備前)<br>猟政事務事業(日生) | 66<br>1,839<br>0<br>0<br>0   | 245<br>248<br>882<br>1,381<br>152 | 0.04<br>0.03<br>0.11<br>0.14<br>0.02 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 地域農産物振興事業       | 農林水産課   | C        | 見直し        | 国の施策が認定農業者に対して重点的に実施されることから、認定農業者の育成・確保という面からは本事業の実施は妥当であるが、平成19年度から対象者を果樹生産農家に限定せず、規模拡大に向けて活発な営農活動を展開する全ての農業者に拡げている。                                  | 地域農産物振興事業   | 0                            | 496                               | 0.09                                 |             |        |        |               |               |
|               |               |             | 担い手等後継者育成事業     | 農林水産課   | B        | 現状継続       | 農業者の高齢化による担い手不足が深刻化する中で、遊休農地の増加等、様々な問題が懸念されている。こうした状況の下、本事業の実施により、担い手を育成・確保することは、農業振興を図る上でも有効であると考えられる。また、その中で、補助金交付にかかる事務作業等において、最適な手段を検討し、コスト削減に努める。 | 就業奨励金支給事業補助金<br>結婚推進協議会助成金<br>生活改善クラブ助成金                            | 0<br>250<br>59               | 146<br>496<br>58                  | 0.03<br>0.09<br>0.01                 |             |        |        |               |               |

| 政 策           |               | 施 策           |           | 事 務 事 業 |          |            |  |  |   | 施 策 評 価   |  |             |  |   |               |               |
|---------------|---------------|---------------|-----------|---------|----------|------------|--|--|---|---|--|-------------|--|---|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)   | 事務事業名     | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名  | 直接事業費   | 人件費   | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               | <b>02 林業</b>  |           |         |          |            |  |  | <b>31,133</b>   | <b>9,436</b>  | <b>1.20</b>  | -           |  |   |               |               |
|               |               |               | 林道整備事業    | 農林水産課   | C        | 見直し        | 台帳整理及び林道利用者の調査を行い、現状をきちんと把握した上で優先順位を付けていき、維持管理をして行く中で林道利用者・地域住民等の協力も得ながら、林道の保全及び災害の防止に努めていきたい。 | 小規模林道整備事業<br>林道維持管理事業（備前）<br>林道維持管理事業（日生）<br>林道維持管理事業（吉永）  | 9,604<br>5,888<br>0<br>0  | 2,769<br>1,637<br>176<br>200  | 0.44<br>0.19<br>0.02<br>0.02   |             | 林業生産活動をめぐる状況は、木材価格の下落などにより、採算性が悪化し、森林整備が十分に行われない状況にあるが、森林保全のため、地域の要望、緊急度を考慮して事業を推進していく必要がある。 | 林道整備事業は、今後、維持管理が主になるよう計画すること。   | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |               | 治山事業      | 農林水産課   | C        | 現状継続       | 当該年度については、該当が無かったが、今後も、単独事業及び林地災害復旧事業については、台風等により災害が発生した場合には、迅速に実施していく必要がある。                   | 単独事業<br>林地災害復旧事業<br>治山施設維持管理事業（日生）<br>治山施設維持管理事業（吉永）   | 0<br>0<br>0<br>0  | 703<br>93<br>0<br>107   | 0.10<br>0.01<br>0.00<br>0.01   |             |  |   |               |               |
|               |               |               | 森林普及振興事業  | 農林水産課   | C        | 現状継続       | 松くい虫被害は一時沈静化していたが、拡大の傾向が見られるため、継続していく必要がある。  | 生活環境保全林管理事業（備前）<br>生活環境保全林管理事業（吉永）<br>水源林整備事業<br>森林整備計画等事務<br>林政事業<br>松くい虫駆除事業（備前）<br>松くい虫駆除事業（吉永）<br>松くい虫予防事業（日生・備前）<br>松くい虫被害対策地区推進連絡事業（日生・備前）<br>森林監視巡視事業（備前）<br>森林管理巡視事業（吉永）<br>森林総合利用施設管理運営事業（吉永）<br>保健保安林管理事業（吉永）<br>森林等環境整備事業 | 1,891<br>893<br>399<br>0<br>0<br>0<br>530<br>453<br>38<br>0<br>567<br>0<br>50<br>0<br>0 | 343<br>337<br>200<br>158<br>1,189<br>0<br>192<br>228<br>76<br>93<br>168<br>93<br>93<br>0<br>0 | 0.04<br>0.04<br>0.02<br>0.02<br>0.12<br>0.00<br>0.02<br>0.03<br>0.01<br>0.01<br>0.02<br>0.01<br>0.01<br>0.00 |             |  |   |               |               |
|               |               |               | 造林事業      | 農林水産課   | D        | 現状継続       | 今年度も補助対象者がいなかったが、今後とも森林組合等と連携し、事業を増やす必要がある。また、引き続き緑化樹の苗木を交付する。                                 | 記念造林保育事業<br>造林事業補助事務<br>募金及び植樹事業   | 0<br>0<br>214   | 0<br>0<br>199   | 0.00<br>0.00<br>0.02   |             |  |   |               |               |
|               |               |               | 林業関連負担金事務 | 農林水産課   | C        | 現状継続       | 本事業は他市町と構成している会が多いため、負担金の額を変えることは出来ないが、関与が薄ものは退会するなどとともに、会計報告を確認しながら改善点があれば要求していく。             | 森林組合助成金<br>森林整備地域活動支援交付金<br>三国地区財産区管理事業特別会計繰出金<br>おかやまの森整備公社出資金<br>緑の少年隊活動奨励金<br>（社）県緑化推進協会会費<br>県治山林道協会負担金<br>備前（東備）地区治山林道協会負担金<br>県林業改良普及協会東備支部負担金   | 405<br>5,177<br>149<br>4,400<br>15<br>120<br>124<br>210<br>6                            | 100<br>100<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>182<br>0   | 0.01<br>0.01<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.00<br>0.02<br>0.00   |             |  |   |               |               |
|               |               | <b>03 水産業</b> |           |         |          |            |  |  | <b>22,727</b>   | <b>10,788</b>   | <b>1.21</b>  | -           |  |   |               |               |
|               |               |               | 水産基盤整備事業  | 管理課（日生） | B        | 現状継続       | 漁業施設についてはほぼ年次的に整備されているが、日生町鹿久居島周辺海域で藻場の再生・拡大による浅海域の修復等を目的に実施している県事業「東備地区広域漁場整備事業」の早期完成を目指す。    | 東備地区広域漁場整備事業負担金<br>漁業振興特別対策事業<br>県等への要望事務<br>東部地区小型船舶安全協会負担金<br>東備水産振興協議会負担金<br>全国漁港漁場協会負担金<br>港勢調査事務<br>漁場環境保全事業支援事務  | 15,000<br>2,580<br>27<br>50<br>100<br>24<br>0<br>0                                      | 649<br>2,226<br>371<br>0<br>93<br>0<br>261<br>261   | 0.07<br>0.24<br>0.04<br>0.00<br>0.01<br>0.00<br>0.03<br>0.03   |             | 東備地区広域漁場整備事業の早期完成を目指し、東備地区海洋牧場へと展開していく。また、カキ養殖等における流通システムと食の安全・安心を確立し、消費の拡大を進める。             | 東備地区広域魚場整備事業の早期完成に向け、国、県に強く要望すると共に、東備地区海洋牧場計画の事業展開を早急に関係団体と協議、県事業として取り上げられるよう強く働きかける。 | 4やや高い         | 平均を上回る配分      |

| 政策                |               |             | 事務事業            |         |          |            |   |                    |        | 施策評価   |      |             |  |   |               |               |
|-------------------|---------------|-------------|-----------------|---------|----------|------------|---|--------------------|--------|--------|------|-------------|--|---|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標)     | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名           | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細事業名               | 直接事業費  | 人件費    | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|                   |               |             | 栽培養殖漁業資源回復等対策事業 | 管理課(日生) | C        | 現状継続       | 県の財政危機宣言をうけて種苗放流尾数が大幅減となるが、栽培漁業は「つくり育てる漁業」の中核をなす施策であり、これまでの放流によって、漁獲量の安定、増大のみならず天然魚を含めた資源管理意識も漁業関係者に浸透している。特に、サワラは岡山県を代表する出世漁であるとともに観光振興の面でもPRし、備前市でも市魚に選定している。こうしたことから、特に、サワラの種苗生産に取り組み資源の増大及び回復をはかる必要がある。 | 水産資源の維持管理支援事務      | 30     | 464    | 0.05 |             |  |   |               |               |
|                   |               |             |                 |         |          |            |   | 県栽培漁業負担金           | 968    | 92     | 0.01 |             |  |   |               |               |
|                   |               |             |                 |         |          |            |   | 栽培漁業・養殖漁業の支援事務     | 0      | 464    | 0.05 |             |  |   |               |               |
|                   |               |             | 漁業経営担い手対策事業     | 管理課(日生) | C        | 現状継続       | 漁船は漁業者にとって生計の主たる手段であるとともに、大切な財産のひとつである。漁船保険料や漁船等の購入資金の利子の一部を助成することで、漁業経営の安定化を図る。  | 漁船保険補助金            | 1,362  | 185    | 0.02 |             |  |   |               |               |
|                   |               |             |                 |         |          |            |   | 漁業災害対策資金利子補給補助金    | 164    | 93     | 0.01 |             |  |   |               |               |
|                   |               |             |                 |         |          |            |   | 漁業近代化資金利子補給金       | 122    | 93     | 0.01 |             |  |   |               |               |
|                   |               |             | 漁村地域活性化事業       | 管理課(日生) | C        | 整理統合       | 従来からの同規模のイベント内容を維持しようとした場合、これ以上の市費の減額となれば開催自体が困難な状況であるため、本市で開催されているすべてのイベントについて、統廃合を含め、実行委員会の一本化等大幅な見直しが必要である。  | サンパースフェスティバル       | 2,300  | 3,958  | 0.47 |             |  |   |               |               |
|                   |               |             |                 |         |          |            |   | 都市漁村交流支援事務         | 0      | 1,300  | 0.14 |             |  |   |               |               |
|                   |               |             | 水産業振興施設管理運営事業   | 管理課(日生) | C        | 見直し        | 魅力と活力ある漁村環境づくりの研修等の場として活用されており、今後も都市と漁村との交流を深め、漁業の歴史や漁業体験等を通して、水産業の重要性や役割について理解を深めてもらう。   | 日生うおじま会館管理運営事業     | 0      | 93     | 0.01 |             |  |   |               |               |
|                   |               |             |                 |         |          |            |   | 頭島かた舟会館管理運営事業      | 0      | 185    | 0.02 |             |  |   |               |               |
| 02 起業と創造が支えるまちづくり |               |             |                 |         |          |            |   |                    | -      | -      | -    |             |  |   |               |               |
| 01 企業誘致           |               |             |                 |         |          |            |   |                    | 99,731 | 15,339 | 1.74 | -           |  |   |               |               |
|                   |               |             | 企業誘致事業          | 商工観光課   | B        | 現状継続       | 市の財源確保、市民の雇用の安定、定住化のため、企業を誘致することは重要な事業である。また、既に立地している企業が撤退しないようフォローすることや、進出を検討している企業の把握に努めることが重要であることから、計画的、継続的な企業訪問を行う必要がある。さらに、用地情報を提供することで、民間の遊休地が利用された例もあることから、用地情報の拡充と、ホームページでの情報提供を継続的に行う必要がある。       | 企業立地用地情報提供事業       | 0      | 4,347  | 0.45 |             | 企業用地情報の拡充と、情報提供を継続すること。進出を検討している企業の把握が重要であることから、計画的、継続的な企業訪問を行うこと。 | 情報の収集と提供が全てと考えるので、今後も大小にこだわらず積極的に取り組んでほしい。また、トップセールスを積極的に進めること。 | 4やや高い         | 平均を上回る配分      |
|                   |               |             |                 |         |          |            |   | 活性化対策事業            | 534    | 6,970  | 0.88 |             |  |   |               |               |
|                   |               |             |                 |         |          |            |   | 旧アルファビゼン整備基金積み立て事業 | 172    | 207    | 0.02 |             |  |   |               |               |
|                   |               |             | 農村地域工業導入促進事業    | 商工観光課   | B        | 現状継続       | 経済・景気の流動によっては、雇用数の減少も考えられるが、農工法の目的の一つでもある、地元雇用を行うことで、周辺農業の発展も同時に行うことについては、雇用の場の確保を行い、継続的に事業活動が行われており、一定の効果があつた。   | 農工法導入地域実施計画書作成業務   | 0      | 0      | 0.00 |             |  |   |               |               |
|                   |               |             | 企業立地促進事業        | 商工観光課   | C        | 見直し        | 企業が進出を決定する一つの要因ではあるが、どれほどの有効性があるのか不明である。企業を訪問し、誘致に対しての企業のニーズを把握して、奨励金額や対象となる職種などの根本を見直すことが有効である。  | 企業立地促進奨励事業         | 99,005 | 3,815  | 0.39 |             |  |   |               |               |
|                   |               |             |                 |         |          |            |   | 企業立地協議会会費          | 20     | 0      | 0.00 |             |  |   |               |               |

| 政 策           |               | 施 策          |           |       |          |            | 事 務 事 業   |  |   |                               |  | 施 策 評 価     |  |   |               |               |  |  |     |        |
|---------------|---------------|--------------|-----------|-------|----------|------------|---|--|---|-------------------------------|--|-------------|--|---|---------------|---------------|--|--|-----|--------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)  | 事務事業名     | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細 事 業 名  | 直接事業費                                     | 人件費                           | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント  | 基本施策へ<br>の貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |  |     |        |
|               |               | <b>02 商業</b> |           |       |          |            |   |  | <b>29,004</b>                             | <b>8,613</b>                  | <b>1.16</b>                                  | -           |  |   |               |               |  |  |     |        |
|               |               |              | 商業振興事業    | 商工観光課 | C        | 現状継続       | 市の商業振興につながる有効な事業を関係団体と協力し、企画する必要がある。  | 岡山県経済交流協会会費<br>商業振興対策補助事業<br>全国菓子博覧会補助金  | 50<br>192<br>30                           | 0<br>399<br>0                 | 0.00<br>0.04<br>0.00                         |             | イベントのあり方(市の関与)について検討すること。<br>商工会議所、商工会との連携を密に行うこと。<br>各種補助事業を研究し可能な限り前向きに検討すること。 | イベントのあり方については、各実行委員会で十分協議すること。<br>緊急雇用対策事業の取り組みを検討すること。 | 3中立           | 平均的な配分        |  |  |     |        |
|               |               |              | 地域振興活性化事業 | 商工観光課 | D        | 縮小         | 備前まつり等地域活性化につながるイベントの実施、支援することにより、市外観光客の増員を図っているが、今後は、コスト削減を徹底し、費用対効果を勘案し、市主催のイベントの統廃合を実施し、効率のよい事業実施をめざす。                                 | 備前まつり事業<br>ひなせ港祭り事業<br>まほろばウォーク事業<br>サマーフェスティバル補助事業<br>地域まつり補助事業<br>シーファンタジーイルミネーション業務<br>ぼんぼり取付業務 | 2,100<br>2,100<br>700<br>700<br>967<br>55 | 3,357<br>2,621<br>1,184<br>58 | 0.41<br>0.37<br>0.18<br>0.01<br>0.02<br>0.04 |             |  |   |               |               |  |  |     |        |
|               |               |              | 商業団体支援事業  | 商工観光課 | C        | 見直し        | 商業団体の活動により、市の振興につながっており、今後も継続的かつ効率的に支援していく必要がある。補助金の削減も3年間で1千万円近く削減しているが、商工団体が実施する事業内容のさらなる見直しも必要がある。                                     | 備前商工会議所補助事業<br>備前商工会館管理運営事業<br>備前東商工会補助事業<br>地域産業資源活用事業<br>商工会議所法関係事務<br>備前焼陶友会補助金                 | 9,300<br>10<br>12,800<br>0<br>0           | 307<br>0<br>107               | 0.03<br>0.00<br>0.01<br>0.00<br>0.00         |             |  |   |               |               |  |  |     |        |
|               |               |              | 資金・就労支援事業 | 商工観光課 | C        | 現状継続       | 近年の経済状況の減退により、雇用情勢が悪化していることから、市の体制維持は重要な事項となっている。今後も、社会情勢の趨勢を勘案しながら適切な対応を行うことが必要である。  | 資金支援事業<br>就労支援・緊急雇用対策事業  | 0<br>0                                    | 0<br>464                      | 0.00<br>0.05                                 |             |  |   |               |               |  |  |     |        |
|               |               | <b>03 工業</b> |           |       |          |            |   |  | <b>9,074</b>                              | <b>1,735</b>                  | <b>0.24</b>                                  | -           |  |   |               |               |  |  |     |        |
|               |               |              | 適応業種支援事業  | 商工観光課 | C        | 見直し        | 耐火物の研究施設である岡山セラミックスセンターに対する補助金は、地場産業の育成、開発のため、必要であるが、セラミックスセンターが実施している検査、分析等の収入の増に努めるなど、安定した収入源の確保を行うことが重要である。                            | 岡山セラミックスセンター補助事業   | 4,754                                     | 107                           | 0.01   |             |  |   |               |               | 融資制度の申請に対して、早急な対応をすること。<br>商工会議所、商工会との連携を密にすること。 | 世界的経済不況による影響が、備前市の企業ではどの程度あるのか引き続き商工会議所、商工会と連絡を密にし、情報の収集を行うこと。 | 3中立 | 平均的な配分 |
|               |               |              | 中小企業融資事業  | 商工観光課 | B        | 現状継続       | 中小企業の振興は重要な業務であり、特に今の経済情勢においては、なくてはならない。今後も続けていく必要があるが、国の制度(セーフティネット)の利用を図ることにより、市制度の利用の減少化を進め、利子補給や保証料補助、倒産した場合における損失補償金の軽減に努めることも重要である。 | 商工振興融資幹旋事業<br>中小企業信用保険法関係事務<br>中小企業災害融資利子補給事業  | 3,844<br>0<br>476                         | 814<br>756<br>58              | 0.09<br>0.13<br>0.01                         |             |  |   |               |               |  |  |     |        |

| 政 策           |               |                 | 事 務 事 業     |           |          |            |  |                  |               | 施策評価         |             |             |  |   |               |               |
|---------------|---------------|-----------------|-------------|-----------|----------|------------|--|------------------|---------------|--------------|-------------|-------------|--|---|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)     | 事務事業名       | 所管        | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名          | 直接事業費         | 人件費          | 人工数         | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               | <b>04 海運業</b>   |             |           |          |            |  |                  | <b>1,638</b>  | <b>1,042</b> | <b>0.16</b> | -           |  |   |               |               |
|               |               |                 | 海運団体支援事業    | 管理課(日生)   | C        | 現状継続       | 海運組合があることにより、市の海運事業の発展に繋がっていると考えている。今後とも継続的に、効率的に支援していく必要がある。  | 日生地区海運組合補助事業     | 1,600         | 100          | 0.01        |             | 国の構造改善施策に基づき経営の近代化、合理化を促進し、経営基盤の強化を図る。また、県とも連携をとりながら、海運組合を中心に講習会や研修会を開催し、資格取得や船員確保が出来るよう引き続き支援を行う。 | 内航海運業を取り巻く環境は依然と厳しく経営の近代化、合理化等の強化支援を国、県に強く要望すると共に海運組合を中心に各種研修、講習会等を実施会員の資質向上や後継者育成に引き続き支援を行う。 | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |                 |             |           |          |            | 中国海事広報協会会費   | 20               | 0             | 0.00         |             |             |  |   |               |               |
|               |               |                 | 船員事務事業      | 市民窓口課(日生) | D        | 現状継続       | 合併前の旧日生町時代より、国から船員法事務取扱市町村に指定されているため、法令に基づいて事業を実施しているが、必ずしも本市が関与しなければならない事業ではない。しかも、平成20年度取扱件数663件のうち、435件が赤穂市内の海運業者からの申請であることが1年間の調査で判明した。つまり、全体の65.6%は、本来赤穂市が行うべき事務を本市が人件費を負担して行っていることになる。手数料を徴収できる手続きならまだしも、赤穂市から来るのは98.6%が無料の手続きである。ただ、市内の海運業者および船員にとっては、本市がこの事務を行わないと、玉野市内にある運輸支局まで手続きに行かなければならず、著しい市民サービス低下になりかねないので、事業を廃止するという方向は考えにくい。 | 船員手帳交付等事業        | 18            | 942          | 0.15        |             |  |   |               |               |
|               |               | <b>05 勤労者福祉</b> |             |           |          |            |  |                  | <b>78,258</b> | <b>1,902</b> | <b>0.22</b> | -           |  |   |               |               |
|               |               |                 | 勤労者施設管理運営事業 | 商工観光課     | B        | 現状継続       | 平成18年度から導入した指定管理制度により、コスト削減を図ることができたが、リフレセンターびぜん、勤労者センター、勤労青少年ホームの3施設は類似施設であり、利用効率が悪かった。このため、平成20年度において、最も利用者が少ない勤労青少年ホームを平成21年度から廃止し、今後、よりよい施設運営を目指していくことにした。   | リフレセンターびぜん管理運営事業 | 13,979        | 0            | 0.00        |             | ハローワーク及び高齢者職業相談所との連携を密にすること。<br>労働組合協議会の統合について検討すること(備前と日生)  | 同左  | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |                 |             |           |          |            | 勤労者センター管理運営事業  | 5,865            | 0             | 0.00         |             |             |  |   |               |               |
|               |               |                 |             |           |          |            | 勤労青少年ホーム管理運営事業   | 7,253            | 1,153         | 0.14         |             |             |  |   |               |               |
|               |               |                 | 勤労者融資事業     | 商工観光課     | D        | 見直し        | 勤労者貸付制度は、勤労者の安定した生活を促すために必要な事業であるが、利用者が減少傾向にあるため、中国労働金庫と協力して制度のPR等に努める。  | 勤労者融資原資預託事業      | 50,000        | 0            | 0.00        |             |  |   |               |               |
|               |               |                 | 産業功労者表彰事業   | 商工観光課     | C        | 現状継続       | 産業功労者表彰は、労働者の勤労意欲の向上を促し、産業発展に有効な事業ではあるが、コスト削減が限界にきていることから、これ以上の見直しは困難である。  | 産業功労者表彰事業        | 192           | 365          | 0.04        |             |  |   |               |               |
|               |               |                 | 労働団体支援事業    | 商工観光課     | C        | 見直し        | 労働団体の活動の活性化により、労働者の権利保護を維持するため、継続的に支援することは大切と思われるが、活動の低い労働団体への補助金の廃止、県労働協会からの脱会等実施しており、今後もより効率的に労働団体への支援を行う必要がある。  | 岡山県労働協会会費        | 12            | 0            | 0.00        |             |  |   |               |               |
|               |               |                 |             |           |          |            |  | 岡山県労働保険事務組合連合会会費 | 10            | 0            | 0.00        |             |  |   |               |               |
|               |               |                 |             |           |          |            |  | 建設労働組合補助金        | 200           | 0            | 0.00        |             |  |   |               |               |
|               |               |                 |             |           |          |            |  | 労働組合協議会補助金       | 550           | 199          | 0.02        |             |  |   |               |               |

| 政 策               |               |             | 事 務 事 業      |       |          |            |   |              |        | 施 策 評 価 |      |             |   |  |               |               |
|-------------------|---------------|-------------|--------------|-------|----------|------------|---|--------------|--------|---------|------|-------------|---|--|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標)     | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名        | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細 事 業 名      | 直接事業費  | 人件費     | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|                   |               |             | 働く婦人の家管理運営事業 | 中央公民館 | C        | 縮小         | 講座は、21世紀財団による再就職セミナーを開催した。参加募集定員20人に対し、18人の参加となったが、定員に達せずPRの方法準備など改善の余地があった。                              | 働く婦人の家管理運営事業 | 39     | 185     | 0.02 |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            |   | 働く婦人の家維持管理事業 | 46     |         | 0.00 |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            |   | 各種講座開設事業     | 32     |         | 0.00 |             |   |  |               |               |
|                   |               |             | 高齢者職業相談事業    | 商工観光課 | C        | 現状継続       | 広報等により、高齢者職業相談所の存在を広く周知していく必要がある。高齢者の雇用促進を図るため、相談、紹介業務をさらに充実させていく。  | 高齢者職業相談事業    | 0      | 0       | 0.00 |             |   |  |               |               |
|                   |               |             | 職場環境整備事業     | 商工観光課 | D        | 見直し        | 各団体(21世紀職業財団、県雇用開発協会)とも、障害者や女性働きやすい環境の整備促進を図るための重要な事業を実施しているが、本市に対する事業実施を積極的に図るとともに、費用対効果を十分検証することが重要である。 | 県雇用開発協会負担金   | 30     | 0       | 0.00 |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            |   | 21世紀職業財団会費   | 50     | 0       | 0.00 |             |   |  |               |               |
| 03 個性あふれる観光のまちづくり |               |             |              |       |          |            |   |              | -      | -       | -    |             |   |  |               |               |
| 01 観光             |               |             |              |       |          |            |   |              | 71,223 | 24,916  | 3.00 | -           |   |  |               |               |
|                   |               |             | 観光推進事業       | 商工観光課 | C        | 拡充         | 観光産業は市の基幹産業であり、市の活性化のためにも今後とも力を入れていく必要がある。  | 観光動態調査事業     | 312    | 97      | 0.02 |             | 近隣の市町村と連携を密にし、広域観光を推進すること。<br>現在ある広域観光組織においてパンフレットを検討すること。<br>備前焼陶友会と連携し、公的なイベント等に積極的参加を促すこと。 | 広域観光を進めるためには、各市町の観光資源をお互いに理解し、情報収集、情報提供するなど連携すること。<br>観光ボランティアガイドの育成を引き続き推進すること。 | 4やや高い         | 平均的な配分        |
|                   |               |             |              |       |          |            | 観光宣伝事業  | 471          | 2,640  | 0.41    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | フィルムコミッション事業  | 0            | 1,459  | 0.15    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 観光パンフレット等作成事業   | 0            | 0      | 0.00    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 観光写真掲出事業  | 145          | 0      | 0.00    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 観光看板等整備事業   | 0            | 100    | 0.01    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             | 観光団体等支援事業    | 商工観光課 | C        | 見直し        | 観光協会の統合の必要性は十分認識しているが、地域性と独自性を活かすつつ一つのものにまとめることの困難さがある。今後、時間をかけながら慎重に検討すべきである。                            | 備前市観光協会補助事業  | 1,408  | 207     | 0.02 |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 日生町観光協会補助事業   | 2,000        | 207    | 0.02    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 吉永観光協会補助事業  | 200          | 0      | 0.00    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 和意谷史跡保存会助成事業  | 80           | 0      | 0.00    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 八塔寺ふるさと村運営協議会助成事業   | 551          | 0      | 0.00    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 県ふるさと村運営協議会会費   | 120          | 0      | 0.00    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             | 国立公園等管理事業    | 商工観光課 | C        | 現状継続       | 国立公園は重要な国民の財産であり、その管理は適正に行われなければならない。施設をきれいに維持管理することにて誘客を図るとともに、今後観光資源としていかに活用していくかを検討していく必要がある。          | 夕立受山管理事業     | 618    | 197     | 0.03 |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 日生諸島管理業務  | 1,329        | 299    | 0.03    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 中国自然歩道管理事業  | 147          | 169    | 0.02    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             | 観光施設維持管理事業   | 商工観光課 | C        | 現状継続       | 観光施設の適正な維持管理は、観光推進の上で重要なことである。観光客の満足度も考慮しながら、費用対効果による効率的管理を行う必要がある。                                       | 関谷学校駐車場等管理事業 | 2,899  | 0       | 0.00 |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 伊部駅南ふるさと交流センター管理運営事業  | 700          | 506    | 0.05    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 大滝山上水道管理組合負担金事業   | 33           | 0      | 0.00    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 餃防護網設置業務  | 2,200        | 100    | 0.01    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 古代体験の郷まほろば管理運営事業  | 5,735        | 996    | 0.10    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 日生観光情報センター管理運営事業  | 1,081        | 498    | 0.05    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | ふれあいの館かぜまち管理運営事業  | 335          | 299    | 0.03    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | ふれあいの交流館しおまち管理運営事業  | 587          | 299    | 0.03    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 楯越山管理業務   | 780          | 76     | 0.01    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 観光トイレ等管理業務  | 1,183        | 0      | 0.00    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 郷土料理館もやい茶屋管理運営事業  | 30,946       | 1,876  | 0.23    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 八塔寺山荘管理運営事業   | 920          | 790    | 0.09    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 大池緑地公園管理運営事業  | 1,897        | 697    | 0.08    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 和意谷管理事業   | 246          | 268    | 0.03    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | 八塔寺ふるさと村等管理事業   | 1,690        | 671    | 0.08    |      |             |   |  |               |               |
|                   |               |             |              |       |          |            | ダム公園等管理事業   | 5,820        | 489    | 0.06    |      |             |   |  |               |               |

| 政 策              |               |             | 事 務 事 業  |       |          |            |  | 施策評価  |                                 |                                   |  |  |  |        |               |               |
|------------------|---------------|-------------|----------|-------|----------|------------|--|---|---------------------------------|-----------------------------------|--|--|--|--------|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標)    | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名    | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名   | 直接事業費                           | 人件費                               | 人工数  | 施設への<br>貢献度  | 課長コメント                                 | 部長コメント | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|                  |               |             | 観光施設整備事業 | 商工観光課 | C        | 拡充         | 全国的に誇れる優れた観光資源を有効に活かすため、施設整備を図り誘客に結びつけることが重要である。また、費用対効果を検証するとともに、施設整備を年次的に計画性を持って行う必要がある。   | 夕立受山等整備事業<br>国立公園協会負担金事業<br>古代体験の郷整備事業<br>海水浴場整備事業<br>民族資料館整備事業<br>観光施設整備 | 0<br>10<br>0<br>546<br>0<br>0   | 100<br>0<br>100<br>275<br>0<br>0  | 0.01<br>0.00<br>0.01<br>0.03<br>0.00<br>0.00 |  |  |        |               |               |
|                  |               |             | 備前焼振興事業  | 商工観光課 | C        | 拡充         | わが国を代表する伝統工芸品である備前焼を、伝承・普及するための施設管理運営及びイベントによるアピールの事業効果は高いと思われる。今後は、顧客の満足度を研究し、ニーズにあった方向性を的確に捉える必要がある。   | 備前焼伝統産業会館管理運営事業<br>備前焼陶友会補助事業<br>備前焼まつり補助事業<br>備前焼振興対策事業<br>六古窯サミット事業     | 810<br>324<br>2,000<br>982<br>0 | 347<br>406<br>1,869<br>1,703<br>0 | 0.04<br>0.04<br>0.25<br>0.18<br>0.00         |  |  |        |               |               |
|                  |               |             | 広域連携事業   | 商工観光課 | C        | 見直し        | 観光振興施策を実施する上で、効率的な情報収集や宣伝活動を行うためには、広域連携は必須である。今後も積極的参加が望ましいが、その一方で、加盟団体の有効性を検証し、効果の薄いものについては脱会することも考える必要がある。   | JR赤穂線沿線地域活性化負担金<br>東備広域観光推進協議会運営事業<br>岡山・東備観光推進会議負担金<br>岡山県観光連盟会員事業       | 500<br>199<br>0<br>809          | 100<br>4,483<br>347<br>345        | 0.01<br>0.50<br>0.04<br>0.05                 |  |  |        |               |               |
|                  |               |             | かき海道浸透事業 | 商工観光課 | C        | 拡充         | 日生の力キは知名度が高く、特にカキオコ人気により誘客につながった。この知名度を有効活用しながら、経費をかけないPRを積極的に展開して、冬期限定の産地ブランドとして推進していきたい。   | ひなせかき祭補助事業<br>かき海道浸透事業<br>JR赤穂線沿線地域活性化事業                                  | 560<br>0<br>0                   | 353<br>1,349<br>199               | 0.05<br>0.21<br>0.02                         |  |  |        |               |               |
| 05 住民主体の協働のまちづくり |               |             |          |       |          |            |  |   | -                               | -                                 | -  |  |  |        |               |               |
| 01 住民主体で進めるまちづくり |               |             |          |       |          |            |  |   | -                               | -                                 | -  |  |  |        |               |               |
| 01 広聴広報          |               |             |          |       |          |            |  |   | 12,986                          | 9,524                             | 1.03   | -  |  |        |               |               |
|                  |               |             | 広聴事業     | 総務課   | B        | 拡充         | 市民からの意見は、要望、苦情が大半を占めている。18年度から行っている「市民意見調査」による自由意見は日頃直接声を発しない市民からの意見が寄せられており、広聴事業として寄せられる意見はほんの一部であると感じる。今後は、協働のまちづくりの実現を目指すためにも、庁内はもとより、市民との公共の分野に関する情報を共有できるようにしていく。<br>【パブリックコメント】20年度は「高齢者保健福祉計画・第四期介護保険事業計画」(案)、「健康びぜん21・備前市食育推進計画」(案)、「第2期備前市障害福祉計画」(案)の3件について意見を求めた。意見は「高齢者保健福祉計画・第四期介護保険事業計画」(案)に対し4件であった。今年度は「都市計画マスタープラン」「財政再生プラン」「次世代育成支援行動計画」など重要案件のパブリックコメント募集が予定されているので引き続き周知に努める。 | あなたからのご意見箱対応事務<br>公共施設のご意見直行便対応事務<br>メールでのご意見対応事務<br>パブリックコメント制度推進事務      | 0<br>18<br>0<br>0               | 93<br>93<br>185<br>93             | 0.01<br>0.01<br>0.02<br>0.01                 | 行政にとって公表したくない情報も進んで開示していく必要がある。(21年度情報公開の公開度は県内都市4位) | 認知度の高い広報びぜんが有効に使われるよう各課の担当者の啓発を進めてほしい。 | 3中立    | 平均的な配分        |               |

| 政 策           |               |             | 事 務 事 業    |     |          |            |  |   |       | 施策評価  |      |             |        |        |               |               |  |
|---------------|---------------|-------------|------------|-----|----------|------------|--|---|-------|-------|------|-------------|--------|--------|---------------|---------------|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名      | 所管  | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名   | 直接事業費 | 人件費   | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント | 部長コメント | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |
|               |               |             | 相談事業       | 総務課 | C        | 現状継続       | 昨年度から、相談件数などを勘案して相談の回数や全体の時間を調節したが、全体の平均相談件数は2回未満なので、相談窓口としては余裕がある。広く市民の要望に応えるため、相談窓口の確保はできている。ただし、振り込み詐欺やサラ金など早急に相談をしたいという要望が増加しているため、市で開催している相談以外の無料相談などの情報提供にも努めていく。  | 合同相談事業（備前）<br>合同相談事業（日生）<br>法律相談事業（備前）<br>法律相談事業（日生）<br>東備法律相談センター運営負担金事業 | 0     | 185   | 0.02 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             | 施設見学会事業    | 総務課 | C        | 見直し        | 市内公共施設等を市のバスで案内し、直接施設の業務内容や利用方法などを理解してもらっており有効性は高く、参加者からは好評である。しかしながら、旧備前市で平成9年度から行っているためか、利用が旧備前市の団体等に偏る傾向があり、18年度吉永地域1団体、19年度日生地域1団体となっている。<br>なお、制度の趣旨を理解せず申し込みに来る場合があるので、利用の促進とともに制度の趣旨や見学会内容をホームページ（クローズアップびぜん）などで公表している。<br>今後は、市政に理解を深めてもらうとともに、市内各地域の現状を見ていただくことで地域間の融和に役立てる意味を加味していく。 | マイタウンマイクロバス運営事業   |       | 93    | 0.01 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             | 広報びぜん発行事業  | 総務課 | B        | 現状継続       | 市民意識調査の自由意見から、広報に直接ではないが、市政の状況を伝えてほしいという意見が多いと感じた。財政的な面からページ数など削減したが、地域の活性化に繋がる記事などに取り組み情報の質を充実し、また読みやすさを研究し、市民にとってなくてはならない情報源として活用されるようにする。<br>定住自立圏構想等の新規事業にページが必要になっているため、さらに掲載内容をコンパクトにする必要ができた。   | 広報びぜん発行事業（備前）<br>広報びぜん発行事業（日生）<br>広報びぜん発行事業（吉永）<br>広報配布事業（自治連絡費・配布手数料）    | 9,156 | 6,649 | 0.88 |             |        |        |               |               |  |
|               |               |             | ホームページ作成事業 | 総務課 | B        | 見直し        | アクセス件数の推移から見ても、その重要性は高まる一方である。可能な限り良好な情報と見やすくわかりやすいHPの作成により、アクセス件数を増やすことが望ましい。さらなる見直しを行い、HP利用者にわかりやすくする。   | ホームページコンテンツ作成事務   |       | 649   | 0.07 |             |        |        |               |               |  |



| 政 策           |               | 事 務 事 業              |                     |           |          |            |   |  |                         |                           |                              | 施策評価        |   |  |               |               |
|---------------|---------------|----------------------|---------------------|-----------|----------|------------|---|--|-------------------------|---------------------------|------------------------------|-------------|---|--|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)          | 事務事業名               | 所管        | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細 事 業 名  | 直接事業費                   | 人件費                       | 人工数                          | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント   | 基本施策へ<br>の貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               | <b>02 コミュニティ</b>     |                     |           |          |            |   |  | <b>107,114</b>          | <b>15,419</b>             | <b>1.73</b>                  | -           |   |  |               |               |
|               |               |                      | 協働推進事業              | 企画課       | C        | 現状継続       | 19年度と同様に実施したが、参加者は微増であった。より多くの声をいただくには、区長等の声かけなどPRに努める必要がある。  | 実務担当者研修事業<br>まちづくり条例策定関係事務<br>地域づくりアドバイザー支援事業<br>意見交換会開催事業   | 0<br>0<br>133<br>0      | 58<br>2,604<br>0<br>3,019 | 0.01<br>0.26<br>0.00<br>0.28 |             | 各地区において、区長等を中心に活発にコミュニティ活動が進められているが、さらに市民委員会による「まちづくり条例」策定を踏まえて、更なる市民と市との協働のまちづくりの推進を図る必要がある。 | 「まちづくり条例」の策定を通じて市民の意識の醸成を図ってほしい。   | 3 中立          | 平均を下回る配分      |
|               |               |                      | コミュニティ推進事業          | 企画課       | C        | 現状継続       | コミュニティ組織の充実、各地域の活性化につながるほか、安全・安心のまちづくりも期待できます。また、コスト面に注意しながら住民と行政の協働のまちづくりを進めていく必要があります。  | コミュニティ啓発事業<br>コミュニティ助成事業助成金<br>コミュニティ推進事業補助金                 | 0<br>8,600<br>26        | 107<br>729<br>58          | 0.01<br>0.10<br>0.01         |             |   |  |               |               |
|               |               |                      | 有線放送施設設置事業          | 企画課       | C        | 現状継続       | 合併により整備方式の違いがある中、3地域とも本放送設備を災害時等の緊急連絡の手段としても使用しており、現時点では有用・有効な制度で必要不可欠なものといえる。  | 有線放送施設設置事業補助金交付事務  | 2,818                   | 496                       | 0.06                         |             |   |  |               |               |
|               |               |                      | コミュニティ施設整備事業        | 市民窓口課(日保) | A        | 廃止・完了      | 過疎計画、新市まちづくり計画に基づき、町内会等との調整を行いながら計画の実施に努めており、平成21年度実施分で本事業は終了する。  | 大西会館建設事業   | 31,568                  | 2,254                     | 0.29                         |             |   |  |               |               |
|               |               |                      | 自治会運営支援事業           | 企画課       | C        | 現状継続       | 各区会、町内会で様々な活動を実施し、事業内容も充実してきている。また、自治会連絡協議会も区会、町内会と市とのパイプ役として充分機能しており行政側から見ても事務効率がよい。しかし、区会等運営費補助金の算出方法が異なるため、年次段階的な統一を図っていくことが必要である。 | 町内会長等永年勤続表彰<br>区会等連絡協議会補助金事業<br>区会等運営費補助金交付事業<br>自治連絡協議会事務事業 | 5<br>110<br>14,142<br>0 | 0<br>58<br>116<br>3,941   | 0.00<br>0.01<br>0.02<br>0.45 |             |   |  |               |               |
|               |               |                      | ふるさとづくり基金活用事業       | 企画課       | C        | 廃止・完了      | 町内会、区会へのPRにより、7地区から事業申請が行なわれ、21年度に完了予定である。  | ふるさとづくり基金活用事業補助金交付事業   | 49,712                  | 1,979                     | 0.23                         |             |   |  |               |               |
|               |               | <b>03 ボランティア・NPO</b> |                     |           |          |            |   |  | <b>2,772</b>            | <b>661</b>                | <b>0.08</b>                  | -           |   |  |               |               |
|               |               |                      | ボランティア支援センター等管理運営事業 | 企画課       | C        | 現状継続       | 前年度より利用者数は増加しているが、依然として施設の認知度が低く、幅広く有効活用できていない。各種関係団体と連携を図りながら、この施設をボランティア活動の拠点としてもっと活用していく必要があります。                                   | ボランティア支援センター管理運営事業<br>サイクリングターミナル管理運営事業                      | 2,764                   | 603                       | 0.07                         |             | 市社協、県社協、県ボランティア・NPO活動支援センター等関係機関との連携により、各種講座等ソフト事業の充実を図り、協働のまちづくりが推進できるようにする必要がある。            | 成果指標でボランティアに参加した人の数が伸び悩んでいます。その一方でNPO法人の数は順調に増えています。特定の人が熱心に活動しているという傾向があるので、裾野を広げる施策を考えてください。 | 2 やや低い        | 平均的な配分        |
|               |               |                      | ボランティア活動支援事業        | 企画課       | D        | 見直し        | 関係機関と連携することでボランティア活動を活性化させる必要がある。   | 人材育成事業   | 8                       | 58                        | 0.01                         |             |   |  |               |               |

| 政策            |               |              | 事務事業        |       |          |             |  |  |  | 施策評価   |  |             |   |   |               |               |
|---------------|---------------|--------------|-------------|-------|----------|-------------|--|--|--|--|--|-------------|---|---|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)  | 事務事業名       | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性  | 総合評価   | 細事業名   | 直接事業費  | 人件費  | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント                                  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               | 02            | ふれあい豊かなまちづくり |             |       |          |             |  |  | -  | -  | -  |             |   |   |               |               |
|               |               | 01           | 地域間・国際交流    |       |          |             |  |  | 4,934  | 4,602  | 0.66   |             |   |   |               |               |
|               |               |              | 国際交流事業      | 企画課   | C        | 見直し         | 姉妹都市等との交流については、本市の関与が必要であるが、相手先はいずれも民間団体が主体となって事業実施を行なっているため、備前市国際交流協会へ実施主体をシフトすることで、市民レベルでの交流を進めることが、国際交流事業に広がりを持たせる意味でも有効である。                                    | 韓国文化交流事業<br>オーストラリア姉妹都市交流事業<br>国際交流支援業務<br>県南オーストラリア州友好協会会費<br>県国際交流協会会費<br>市国際交流協会助成金<br>中国雑技団招聘事業<br>県日中懇話会会費<br>多文化共生事業   | 614<br>380<br>311<br>10<br>10<br>58<br>300<br>10<br>0                              | 1,348<br>889<br>244<br>0<br>0<br>291<br>889<br>0<br>0                        | 0.19<br>0.12<br>0.03<br>0.00<br>0.00<br>0.05<br>0.12<br>0.00<br>0.02                         |             | 今後も国際協力関係の重要性はますます増大すると思われるので、国際交流事業の必要性を市民にもっとアピールし、推進していく必要がある。また、八塔寺国際交流ヴィラについては、積極的にPRして、利用の向上を図り、収益を上げ、将来の維持管理に備える必要がある。 | 国際交流協会の個人会員が減少していることの意味を検証してください。       | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |              | 国際交流ヴィラ管理事業 | 企画課   | C        | 現状継続        | 海外での評価が非常に高く、地域での国際交流や備前市の魅力を伝えるうえで重要な施設であると同時に吉永地区における貴重な観光資源である。しかしながら、維持管理面において、将来的な大規模改修に係る支出に備えておく必要がある。  | 国際交流ヴィラ管理事業<br>国際交流ヴィラ運営協議会負担金   | 2,885<br>356   | 732<br>93  | 0.12<br>0.01   |             |   |   |               |               |
|               |               | 02           | 男女共同参画社会の形成 |       |          |             |  |  | 1,341  | 13,299   | 1.34   |             |   |   |               |               |
|               |               |              | 男女共同参画啓発事業  | 人権啓発課 | B        | 現状継続        | 広く市民各層を対象に、継続的に啓発事業を実施し意識啓発を図ることにより、男女共同参画のまちづくりを実施する。   | 男女共同参画啓発事業<br>啓発標語募集事業<br>きらめきフェスタ事業<br>ウィズびぜん運営事業<br>日本女性会議参加負担金  | 310<br>0<br>744<br>31<br>45  | 2,919<br>299<br>1,882<br>2,176<br>199  | 0.29<br>0.03<br>0.20<br>0.22<br>0.02   |             | 23年目標に進めている各事業をそれぞれに見直し、問題点の再チェックを行うこと各講座等への参加者の傾向等を分析し、増に努めること   | 男女共同参画基本計画に基づき、市民、事業者と協働で推進していく必要がある。   | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |              | 男女共同参画推進事業  | 人権啓発課 | B        | 現状継続        | 平成23年度を目標年度とする5カ年計画「男女共同参画基本計画」に沿って、数値目標達成に向け、具体的施策の促進をした。   | 男女共同参画推進事業<br>男女共同参画基本計画策定事業<br>市男女共同参画推進委員会<br>市男女共同参画推進審議会<br>市男女共同参画推進連絡会<br>県都市男女共同参画推進会議負担金<br>積極的改善措置  | 13<br>0<br>40<br>158<br>0<br>0<br>0  | 2,751<br>399<br>1,478<br>598<br>199<br>0<br>399                              | 0.27<br>0.04<br>0.15<br>0.06<br>0.02<br>0.00<br>0.04   |             |   |   |               |               |
|               |               | 03           | 人権問題        |       |          |             |  |  | 7,819  | 15,230   | 1.62   |             |   |   |               |               |
|               |               |              | 人権啓発地域活動事業  | 人権啓発課 | B        | 見直し         | コスト意識を持って、限られた予算の中で最大限の効果を発揮できるよう、工夫して事業を推進していく。   | 人権啓発地域活動事業<br>人権啓発講演会開催事業<br>人権問題研修会(企業啓発研修会)開催事業<br>啓発標語募集事業<br>啓発備品購入事業<br>小集会所・共同作業場管理事業  | 589<br>452<br>32<br>616<br>80<br>14  | 0<br>1,184<br>897<br>1,694<br>99<br>897                                      | 0.00<br>0.13<br>0.09<br>0.17<br>0.01<br>0.09   |             | 岡山県人権施策推進指針及び人権教育推進プランに沿って、普遍的な立場で人権の尊重を重視し、すべての年齢層に対し人権問題の取り組みを総合的かつ効果的に推進することが必要である   | 多種多様化している人権問題について、研修会や啓発活動の更なる充実が必要である。 | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |              | 人権啓発事業      | 人権啓発課 | A        | 現状継続<br>見直し | 目標であった運動団体助成金の廃止が実施できたことから、今後は見直しを行いながら啓発活動に重点をおき実施していく。   | 人権啓発事業<br>都市人権推進事業連絡協議会<br>都市人権推進協議会啓発活動負担金<br>人権擁護委員協議会助成金<br>研修会等参加負担金   | 0<br>10<br>245<br>455<br>14  | 107<br>107<br>100<br>705<br>76   | 0.01<br>0.01<br>0.01<br>0.07<br>0.01   |             |   |   |               |               |
|               |               |              | 隣保館管理運営事業   | 人権啓発課 | B        | 現状継続        | 隣保館は、社会福祉法による隣保事業を実施する施設(隣保館等の施設を設け、無料又は低額な料金で利用させることその他近隣地域における住民生活の改善及び向上を図るための各種事業を行うもの)であり、住民交流の拠点となる開かれたコミュニケーションの役割を果たすにも重要であり、参加者数・コストだけでなくも短期間で成果を出すのは難しい。 | 隣保館管理運営事業<br>隣保館運営委員会<br>人権講演会開催事業<br>ふれあいサロン講座事業<br>ライフサポート講座事業<br>人権講座事業<br>文化祭開催事業<br>ゲートボール大会開催事業<br>いんべ館だより作成事業<br>研修会等参加負担金<br>県隣保館連絡協議会負担金<br>備前地区隣保館連絡協議会負担金 | 1,134<br>348<br>405<br>384<br>376<br>349<br>470<br>387<br>513<br>145<br>215<br>142 | 0<br>3,172<br>199<br>406<br>299<br>0<br>980<br>100<br>299<br>100<br>375<br>0 | 0.00<br>0.30<br>0.02<br>0.04<br>0.03<br>0.00<br>0.10<br>0.01<br>0.03<br>0.01<br>0.04<br>0.00 |             |   |   |               |               |

| 政策              |               |             | 事務事業                |       |          |            |   |  |                             | 施策評価                                       |  |             |  |   |               |               |
|-----------------|---------------|-------------|---------------------|-------|----------|------------|---|--|-----------------------------|--|--|-------------|--|---|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標)   | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名               | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細事業名   | 直接事業費                       | 人件費  | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|                 |               |             | 住宅新築資金等・生業資金貸付金償還事務 | 人権啓発課 | C        | 現状継続       | 長引く不況による社会情勢の変化や高齢化などにより、償還能力の乏しい借受人が増えてきている。さらに、償還能力のある借受人の償還期間が満了してきており、年度あたりの収納額は減少しているなど、償還事務を取り巻く状況は厳しいが、文書・電話・臨戸訪問等の督促業務をきめ細かく行うことで償還率の向上を図る。   | ふれあい給食事業<br>住宅新築資金等・生業資金貸付金償還事務  | 413<br>31                   | 0<br>3,434                                 | 0.00<br>0.44                                 |             |  |   |               |               |
| 06 健全で自立したまちづくり |               |             |                     |       |          |            |   |  | -                           | -  | -  |             |  |   |               |               |
| 01 簡素で効率的な行政運営  |               |             |                     |       |          |            |   |  | -                           | -  | -  |             |  |   |               |               |
| 01 行政運営改革       |               |             |                     |       |          |            |   |  | 1,885                       | 14,237                                     | 1.69   | -           |  |   |               |               |
|                 |               |             | 行政改革推進事業            | 財政課   | D        | 現状継続       | 集中改革プランを引き継ぐ新たな計画（行政改革プラン）は、平成20年度中に大枠の策定予定であったが、岡山県の財政危機宣言による岡山県財政構造改革プランの対応等で、策定方針までにとどまった。実質公債費比率が21.4%と早期健全化団体が目前であること、さらに普通交付税の「合併算定替え」終了という非常に厳しい状況が目前に迫っている中で、今後、架橋事業、備前病院建替え、広域ゴミ処理施設建設等予定された事業を行うとするならば、大幅な既存事業の廃止・縮小、施設の統廃合等をプランに盛り込まなければならぬ。 | 集中改革プラン進捗管理事務<br>行政改革プラン策定事業<br>権限移譲事務<br>第三セクター調査事務<br>業務改善事業<br>県財政構造改革プラン対応事務<br>機構改革事務 | 0<br>0<br>0<br>0<br>0<br>0  | 379<br>1,762<br>244<br>582<br>919<br>1,029 | 0.05<br>0.21<br>0.03<br>0.07<br>0.11<br>0.12 |             | 行政評価の必要性は、かなりの職員が認識しているが、職員の意識改革による事務事業の見直し、財政の健全化等へのさらなる取り組みを進めてください。 | 行政評価の必要性は理解できているが、活用方法が十分理解されていない、今後啓発を進めてください。 | 5 高い          | 平均的な配分        |
|                 |               |             | 行政評価システム導入事業        | 財政課   | D        | 拡充         | 施策評価シートを決算資料として議会に配付することとした結果、膨大な数値訂正があり、この部分についての精度は向上したが、構成事業の施策への貢献度（優先順位）判定はお手盛り評価となっている感がある。全体として、職員は行政評価について「やらされ感」を持っており、その意義について、一般職員＞幹部職員＞経営層（＞議会）と上に行くほどその認識が薄い。今後、地道に啓発を続けていくしかないが、残された時間は少ない。   | システム導入支援委託<br>行政評価システム研究会運営事務<br>事務事業評価事務<br>市民意識調査事務<br>施策評価事務                            | 1,575<br>0<br>0<br>310<br>0 | 93<br>885<br>2,234<br>1,104<br>3,134       | 0.01<br>0.11<br>0.27<br>0.13<br>0.36         |             |  |   |               |               |
|                 |               |             | 公共施設管理運営見直し事業       | 財政課   | C        | 現状継続       | 合併のスケールメリットが殆どみられないまま、施設の維持管理経費は年々増え続け、財政悪化の要因の一つとなっているため、的確な対応が求められるが、施設の設置目的、類似施設の整備状況、社会経済情勢の変化、施設の利用状況等を踏まえ、目下の厳しい財政状況の中で、市が引き続き関与していく必要があるのかどうかの検証が不十分。また、方針決定事項が合理的な理由がなく議論なされないまま覆る（成果の撤退）ような職員の志気を低下させることがあってはならない。                             | 指定管理者制度導入支援事務<br>公共施設管理運営見直し事務   | 0                           | 1,872                                      | 0.22   |             |  |   |               |               |

| 政 策           |               | 施 策            |                | 事 務 事 業 |          |            |  |                         |               | 施 策 評 価       |             |             |   |   |               |               |
|---------------|---------------|----------------|----------------|---------|----------|------------|--|-------------------------|---------------|---------------|-------------|-------------|---|---|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策)    | 事務事業名          | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名                 | 直接事業費         | 人件費           | 人工数         | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               | <b>02 情報公開</b> |                |         |          |            |  |                         | <b>0</b>      | <b>413</b>    | <b>0.05</b> | <b>-</b>    |   |   |               |               |
|               |               |                | 情報公開及び個人情報保護事務 | 総務課     | C        | 現状継続       | 市が保有する情報を公開することにより行政運営の透明性の向上を図り、市が保有する自己に関する個人情報の開示、訂正等を求める権利を明らかにすることにより、より公正で信頼される市政運営を進めるため、廃止することのできない事業である。条例による公開は、市民等の請求に応じて公開するものであるが、公表できる情報は、請求を待たずして積極的に公開していく必要がある。   | 情報公開及び個人情報保護審査会事務       | 0             | 0             | 0.00        |             | 情報の開示は、求められて提供するのではなく、積極的に公表することが重要で、他の部門と協力しながら開示情報を充実させる  | マイナスの情報も含めて積極的な情報公開を進めることが必要。各課の担当者への啓発を検討してください。                                       | 2 やや低い        | 平均的な配分        |
|               |               |                |                |         |          |            |  | 上場公開及び個人情報保護運営審査会事務     | 0             | 0             | 0.00        |             |   |   |               |               |
|               |               |                |                |         |          |            |  | 受付・開示事務                 | 0             | 413           | 0.05        |             |   |   |               |               |
|               |               | <b>03 広域行政</b> |                |         |          |            |  |                         | <b>42,631</b> | <b>1,633</b>  | <b>0.17</b> | <b>-</b>    |   |   |               |               |
|               |               |                | 広域振興協議会等運営事業   | 企画課     | B        | 拡充         | 定住自立圏構想の推進により、新たな広域行政圏の形成に主体的に取り組むことで、有効性を高めていく必要がある。  | 兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会負担金 | 20            | 58            | 0.01        |             | 定住自立圏構想の先行実施団体である（備前市、赤穂市、上郡町）の行政圏域のスケールメリットを利用した定住関係諸施策についての協定締結、それを具体的に推進していくための共生ビジョン策定を早急に推進してください。 | 定住自立圏推進協議会をメインにして、施策を進めてください。   | 4 やや高い        | 平均を上回る配分      |
|               |               |                |                |         |          |            |  | 岡山県南広域市町村圏振興協議会負担金      | 20            | 93            | 0.01        |             |   |   |               |               |
|               |               |                |                |         |          |            |  | 空路利用促進会負担金              | 5             | 0             | 0.00        |             |   |   |               |               |
|               |               |                |                |         |          |            |  | 苫田ダム水源地域振興事業負担金         | 799           | 0             | 0.00        |             |   |   |               |               |
|               |               |                |                |         |          |            |  | 定住自立圏推進事務               | 41,787        | 1,482         | 0.15        |             |   |   |               |               |
|               |               | <b>04 人事管理</b> |                |         |          |            |  |                         | <b>6,727</b>  | <b>25,013</b> | <b>4.05</b> | <b>-</b>    |   |   |               |               |
|               |               |                | 定員管理事務事業       | 総務課     | B        | 拡充         | 平成18年3月策定の定員適正化計画により、平成17年度から9年間で77人（10.1%）を削減するよう取り組み、現在の進捗率は141.4%である。行政職の新規採用を凍結している中、普通退職・勲奨退職者の不補充で対応するためにも、総合支所を含めた体制のあり方などを行政改革部門と連携を取りながら、平成21年4月1日定数条例の一部改正を受け、平成21年度中に見直しを行っていかねばならない。<br>しかしながら、急激な職員数の減少に事務量の削減・改善のスピードが追いついていないことが、特に本庁業務に適正人員を配置できず、業務に支障をもたらしている可能性がある。<br>その一面、職員の業務改善、意識改革の進行性を高めていく必要性も急務である。<br>今後、改定後の新適正化計画に基づく平成26年4月1日現在での目標数値に向け、事務に支障が出ないよう、事業の廃止・アウトソースを含めた人員配置が急務である。<br>その結果、限られた職員数に基づく適正配置と事務の効率化を進めていくうえで有効な事業として評価できる。 | 定員管理事務事業                | 2,518         | 4,022         | 0.53        |             | 目標管理とリンクさせた人事評価精度の導入を進めている。少人数でこれまでに以上の結果を出すためには事業の目的を職員に理解してもらったことが大切である。それによりモチベーションの維持に繋げる           | 定員管理、機構改革の両面から効率化を進めていく必要がある。職員のスキルアップに努め、また、人員削減の必要性を啓発し、職員のモチベーションを維持しながら効率化を進めてください。 | 4 やや高い        | 平均的な配分        |
|               |               |                |                |         |          |            |  | 人事労務管理事務事業              | 1,275         | 6,988         | 0.84        |             |   |   |               |               |
|               |               |                |                |         |          |            |  | 給与支払い事務事業               | 25            | 5,818         | 1.43        |             |   |   |               |               |
|               |               |                |                |         |          |            |  | 共済・総合事務組合事務事業           | 11            | 2,878         | 0.48        |             |   |   |               |               |
|               |               |                |                |         |          |            |  | 臨時職員雇用事務事業              | 2             | 1,154         | 0.22        |             |   |   |               |               |
|               |               |                |                |         |          |            |  | 公務災害補償事務事業              |               | 304           | 0.04        |             |   |   |               |               |
|               |               |                |                |         |          |            |  | 職員団体交渉事務事業              |               | 339           | 0.04        |             |   |   |               |               |

| 政 策                |               |             | 事 務 事 業     |     |          |             |  |              |               | 施策評価           |              |             |   |   |               |               |  |
|--------------------|---------------|-------------|-------------|-----|----------|-------------|--|--------------|---------------|----------------|--------------|-------------|---|---|---------------|---------------|--|
| 大項目<br>(基本目標)      | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名       | 所管  | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性  | 総合評価   | 細 事 業 名      | 直接事業費         | 人件費            | 人工数          | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント  | 基本施策へ<br>の貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |
|                    |               |             | 人事評価事務事業    | 総務課 | B        | 拡充          | 人事評価事務自体の評価は妥当性、有効性は評価できるが、効率性での改善余地と指標の工夫が必要である。<br>評価者の理解度向上と均一的な評価の実行と、その検証（効果測定）が求められる。そのためにも、評価者のみならず被評価者を含めた検証を拡大していく必要がある。また、制度導入の目的は仕事を通じた人材育成であり、質の高い成果を市民に提供することにあることを浸透させること、本事業の市民への積極的情報提供と意見反映についても長期的な課題としたい。 | 人事評価事務事業     | 430           | 642            | 0.08         |             |   |   |               |               |  |
|                    |               |             |             |     |          |             |  | 目標管理事務事業     | 356           | 718            | 0.09         |             |   |   |               |               |  |
|                    |               |             | 公平委員会事務委託事業 | 総務課 | B        | 現状継続        | 公平委員会事務委託は、効率化の観点から岡山県人事委員会へ委託しており、その委託料は、委託市町村一律定額である。現状のままで継続する。   | 公務災害補償事務事業   | 30            | 0              | 0.00         |             |   |   |               |               |  |
|                    |               |             | 職員研修事務事業    | 総務課 | B        | 拡充          | 時代のニーズに応えられる職員育成のため、階層別研修や特別研修の充実が求められる。また、職員の研修に対する意識の向上と、職員の代表で受講していると意識を定着させる必要がある。<br>また、今後は内部講師による自前研修が可能となるよう、養成研修実施と受講を計画し、自組織内での活性化を行っていく。   | 職員研修事務事業     | 1,904         | 1,601          | 0.23         |             |   |   |               |               |  |
|                    |               |             | 職員採用事務事業    | 総務課 | B        | 見直し         | 法の規定に従い、職員の任用は、採用試験の成績など能力の実証に基づいて行われている。優秀な人材を採用するという観点から採用試験に多くの受験者が集まるよう工夫する必要がある。<br>また、優秀な人材はもとより、備前市が欲している人材像を明確に打ち出すことが必要であり、人材育成基本方針に盛り込み、採用時のミスマッチを防ぐことが必要である。  | 職員採用事務事業     | 176           | 549            | 0.07         |             |   |   |               |               |  |
| <b>05 財政(税務関係)</b> |               |             |             |     |          |             |  |              | <b>99,690</b> | <b>176,677</b> | <b>25.44</b> | <b>-</b>    |   |   |               |               |  |
|                    |               |             | 市税徴収事業      | 税務課 | B        | 拡充          | 税源移譲により大幅に増加した市民税を徴収するため、現年分の未納を極力少なくし滞納繰越分を増やさないように今後、更なる徴収体制の強化が必要である。   | 市税等徴収事業      | 5,847         | 45,341         | 5.96         |             | 厳しい財政状況の中、自主財源の確保を図るため、また、税負担の公正・公平の原則から、適正な賦課・徴収が求められているところであり、滞納対策、口座振替の強化、促進を図ること。引き続き、現年課税分の滞納を極力少なくする方策を考えること。 | 税の公平性の確保は、行政に対する市民の信頼を得るために重要であると考えます。適正な課税に努めるとともに、滞納者に対しては、適切に対応してください。 | 4 やや高い        | 平均を上回る配分      |  |
|                    |               |             |             |     |          | 市町村税整理組合委託料 | 6,228  | 949          | 0.10          |                |              |             |   |   |               |               |  |
|                    |               |             |             |     |          | 市町村税整理組合負担金 | 1,236  | 100          | 0.01          |                |              |             |   |   |               |               |  |
|                    |               |             | 納税支援事業      | 税務課 | B        | 現状継続        | 納税組合については、合併により加わった職域組合が、納付率100%であり納付額も多いことから、事業を継続して事業を行う必要がある。   | 納税貯蓄組合事務費補助金 | 829           | 220            | 0.04         |             |   |   |               |               |  |

| 政 策           |               |             | 事 務 事 業       |     |          |            |  |                 |       | 施策評価   |      |   |        |        |               |               |
|---------------|---------------|-------------|---------------|-----|----------|------------|--|-----------------|-------|--------|------|---|--------|--------|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名         | 所管  | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名         | 直接事業費 | 人件費    | 人工数  | 施設への<br>貢献度   | 課長コメント | 部長コメント | 基本施策へ<br>の貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               |             | 市税収納管理事業      | 税務課 | C        | 現状継続       | 地方税法、市税条例に定められている業務で、市民に正しく税を納めてもらうことを目標とする。納めすぎた税は速やかに還付し、また、市民が金銭貸借や各種の福祉事業による納付金の減免申請に必要な所得証明書、資産証明書、納税証明書等の交付は正確かつ迅速でなければならない。税の正確な収納は市の財源確保に欠かせない。  | 証明事務            | 222   | 9,248  | 1.18 |   |        |        |               |               |
|               |               |             | 税務庶務事業        | 税務課 | B        | 現状継続       | 職員の資質向上を図り、業務の効率化や市民に対し正確に説明できる能力を身につけることは重要だと考える。他の団体との情報交換を円滑にし業務に役立てることも必要であるとする。また、財政難の折から研修費、旅費などを抑制する傾向にもあるが、新しい研修形態により継続的な実施は確保されているように思われる。必要不可欠な分野であるので、今後も重要に考える。  | 各種研修参加等職員資質向上事務 | 432   | 473    | 0.06 |   |        |        |               |               |
|               |               |             |               |     |          |            |  | 県税務協会負担金        | 16    | 472    | 0.06 |   |        |        |               |               |
|               |               |             |               |     |          |            |  | 中国都市税務協会会費      | 14    | 472    | 0.06 |   |        |        |               |               |
|               |               |             |               |     |          |            |  | 県都市税務協議会負担金     |       | 472    | 0.06 |   |        |        |               |               |
|               |               |             |               |     |          |            |  | たばこ小売組合補助金      | 91    | 472    | 0.06 |   |        |        |               |               |
|               |               |             |               |     |          |            |  | 市民税賦課調査事業       | 税務課   | A      | 見直し  | クレームの分析や継続した業務改善が定着し、順調なコスト削減を実現しています。さらに、効率性や有効性を高めるために、継続的なクレーム分析と業務改善を続けます。また、分析によって得られた適正賦課率をさらに向上させるために、業務改善に関する職場研修を実施して、効率性と有効性を高めていきます。 | 個人市民税  | 15,395 | 32,069        | 4.77          |
|               |               |             | 国民健康保険税賦課調査事業 | 税務課 | A        | 見直し        | 前年から始めた2つの取り組みによって、収納率のアップに貢献できました。今後も保健課と協力し、継続して取り組んでいきます。平成20年度から公的年金からの特別徴収が始まり、さらに複雑な制度になっています。事務レベルが担当者の技量に左右されないように、業務マニュアルの作成に取り組めます。成果である適正賦課率は100%を維持していますが、適正事務処理率は、長寿医療制度の開始による納税義務者数の減少と担当者の人件費の上昇により、目標を達成することができませんでした。平成21年度は、コスト面の削減を目指します。 | 法人市民税           | 1,036 | 4,587  | 0.60 |   |        |        |               |               |
|               |               |             |               |     |          |            |  | 軽自動車税           | 713   | 5,761  | 1.08 |   |        |        |               |               |
|               |               |             |               |     |          |            |  | 市たばこ税           | 45    | 131    | 0.02 |   |        |        |               |               |
|               |               |             |               |     |          |            |  | 鉱産税             | 38    | 131    | 0.02 |   |        |        |               |               |
|               |               |             |               |     |          |            |  | 国民健康保険税         | 1,065 | 10,190 | 2.01 |   |        |        |               |               |
|               |               |             | 介護保険料賦課調査事業   | 税務課 | B        | 見直し        | 法に定められた業務であり、妥当性は高い。単位当たりコストが増加しているが担当者人件費が経費のほとんどを占めている。それゆえ、賦課後（滞納）の事や対象者の為にかかる事務量とそれにかかる人件費のバランスをとりつつも、誰が担当になっても業務の質を安定させるために、業務フローの作成に取り組む必要がある。   | 介護保険料           | 681   | 10,209 | 1.47 |   |        |        |               |               |

| 政 策           |               |             | 事 務 事 業              |     |          |            |  |             |        |        |      |             | 施策評価  |  |               |               |
|---------------|---------------|-------------|----------------------|-----|----------|------------|--|-------------|--------|--------|------|-------------|---|--|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名                | 所管  | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名     | 直接事業費  | 人件費    | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント   | 基本施策へ<br>の貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               |             | 後期高齢者(長寿)医療保険料賦課調査事業 | 税務課 | B        | 見直し        | 法定事務のため、この業務を廃止することはできません。今後の制度改正の内容を確認しながら、安定した処理率の維持に努めていく必要があります。   | 後期高齢者医療保険料  | 694    | 5,500  | 0.91 |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 固定資産税等賦課調査事業         | 税務課 | B        | 現状継続       | 適正公平な課税を実現し納税者の信頼や理解を得るために、職員の現地調査および納税者からの適正な申告の啓発等を引き続き推進する必要がある。また、人員削減に伴い職員の負担が増となるが、適正な事務処理に努めなければならない。さらに、現地確認作業を適正かつ効率的に行うために、航空写真を定期的な撮影することも検討する。 | 固定資産税       | 23,390 | 33,158 | 4.72 |             |   |  |               |               |
|               |               |             |                      |     |          |            |  | 都市計画税       | 60     | 551    | 0.07 |             |   |  |               |               |
|               |               |             |                      |     |          |            |  | 国有資産等市町村交付金 | 0      | 0      | 0.00 |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 土地家屋台帳等管理事業          | 税務課 | B        | 現状継続       | 台帳の管理という事務であるため、経常的な経費がほとんどで削減の余地があまりないが、今後も事務効率の向上を目指す。   | 土地家屋台帳等管理事業 | 537    | 8,245  | 1.12 |             |   |  |               |               |
|               |               |             | <b>06 財政(契約監視関係)</b> |     |          |            |  |             |        |        |      |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 契約管理事業               | 財政課 | B        | 見直し        | 入札契約事務においては、現在実施している指名競争入札からより透明性、公平性の一層の向上を図るべく一般競争入札の導入を行うとともに入札参加者の移動コストの低減と事務の効率化を目的に郵便入札の導入も合わせて行った。平成21年度は、公共工事の品質確保を目的とした総合評価方式による入札の実施を行う。         | 入札事務        | 42     | 9,725  | 1.06 |             | 全国的に入札制度の見直しがなされていることから、研究、検討を進めてください。                  | 入札制度の見直しは、これで終りということはありません。常に、より良い制度を目指してください。               | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |             |                      |     |          |            | 契約事務   | 40          | 4,479  | 0.54   |      |             |   |  |               |               |
|               |               |             |                      |     |          |            | 入札制度見直し事務  | 0           | 2,594  | 0.27   |      |             |   |  |               |               |
|               |               |             |                      |     |          |            | 指名委員会運営事務  | 0           | 1,917  | 0.19   |      |             |   |  |               |               |
|               |               |             |                      |     |          |            | 業者指名関係事務   | 0           | 5,774  | 0.64   |      |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 検査事業                 | 財政課 | A        | 現状継続       | 本事業による公共工事等の品質確保とコスト縮減は、市民生活の向上と工事等の請負者・担当者の技術向上に寄与するものであり、事業執行部門から独立させた検査体制は公共工事等の適正執行に不可欠である。今後はIT化による効率化を図るとともに、より一層検査制度を充実させていく必要がある。                  | コスト縮減計画関係事務 | 0      | 107    | 0.01 |             |   |  |               |               |
|               |               |             |                      |     |          |            |  | 設計審査事務      | 0      | 1,380  | 0.13 |             |   |  |               |               |
|               |               |             |                      |     |          |            |  | 工事等共通事項事務   | 0      | 6,554  | 0.63 |             |   |  |               |               |
|               |               |             |                      |     |          |            |  | 検査関係事務      | 0      | 2,085  | 0.20 |             |   |  |               |               |
|               |               |             | <b>07 財政(財政関係)</b>   |     |          |            |  |             |        |        |      |             |   |  |               |               |
|               |               |             | 財政管理事業               | 財政課 | B        | 拡充         | 市民福祉の推進、市の施策の実現のため、本事業は不可欠のものである。また、運行公共団体の財政の健全化に関する法律による、早期健全化団体、再生団体に転落したいよう、健全な財政運営を行い、歳入に見合った歳出構造への転換を図る。公会計制度改革に対応し貸借対照表などの財務書類を作成し、公表する必要がある。       | 財政管理事業      | 46     | 27,901 | 3.62 |             | 市民への財政状況の公表は、行政の透明性を高めるためにも必要であるが、わかりやすい表現での公表に努めてください。 | 健全な財政運営は、職員としての努めです。トップの判断により思い通りにいかないこともありますが、それでも、努力は必要です。 | 4やや高い         | 平均的な配分        |

| 政 策                   |               | 施 策         |           | 事 務 事 業 |          |            |  |                 |                | 施 策 評 価       |             |  |   |   |               |               |
|-----------------------|---------------|-------------|-----------|---------|----------|------------|--|-----------------|----------------|---------------|-------------|--|---|---|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標)         | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名     | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名         | 直接事業費          | 人件費           | 人工数         | 施設への<br>貢献度  | 課長コメント  | 部長コメント                                    | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|                       |               |             | 地方債管理事業   | 財政課     | B        | 拡充         | 地方債債務がある限り必要な事業である。今後、広域ごみ処理施設整備、東備消防組合消防無線のデジタル化、架橋事業の本格化、公共施設の耐震化、幼保一体型施設整備、備前病院改築などの大規模事業が予定されており、償還財源確保が急務となっている。発行額の抑制、低利借入、繰上償還の実施により、成果指標の改善に努める。                             | 地方債管理事業(事務費)    | 5,016          | 2,276         | 0.30        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            |  | 地方債管理事業(元金償還)   | 1,966,051      | 0             | 0.00        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            |  | 地方債管理事業(利子償還)   | 349,248        | 0             | 0.00        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             | 特定目的基金積立金 | 財政課     | B        | 現状継続       | 目標とする基金残高となるよう毎年度一定額を積み立てる必要があるが、その財源も無いのが現状である。   | 特定目的基金積立金(振興基金) | 0              | 76            | 0.01        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             | 財調・減債積立金  | 財政課     | B        | 拡充         | ここ数年は、景気の低迷や地方交付税の削減により財源不足が発生しているため、毎年、財政調整基金や減債基金を取り崩してきた。平成18年度から平成20年度は、財政調整基金、減債基金ともに取り崩さず、積み立ても予定どおり行うことができた。今後は、大幅な財源不足が発生する見込みであるため、可能な限り基金残高を増加するよう積み立てを行う。                 | 財調・減債積立金        | 0              | 76            | 0.01        |  |   |   |               |               |
| <b>08 財政(財産管理関係)</b>  |               |             |           |         |          |            |  |                 | <b>27,682</b>  | <b>9,788</b>  | <b>1.22</b> | <b>-</b>   |   |   |               |               |
|                       |               |             | 財産管理事業    | 財政課     | B        | 拡充         | 土地については、売却・貸付の推進が図れているものの、財産管理事業費の大半が、建物の維持管理費であり、駅舎管理のあり方や貸付建物についての無償譲渡等の検討を進めるべきであると考えます。  | 財産維持管理業務        | 17,112         | 6,309         | 0.76        |  | 公会計改革では、資産の把握と評価が必要なことから、計画的な実施に努めてください。  | 財産の管理の基本は、資産の把握だと思います。公会計改革に合わせて、進めてください。 | 3中立           | 平均的な配分        |
|                       |               |             |           |         |          |            | 補修業務   | 1,883           | 152            | 0.02          |             |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            | 財産貸借・売却業務  | 4,971           | 2,814          | 0.37          |             |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            | 共済業務   | 1,826           | 513            | 0.07          |             |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            | 工事業務   | 1,890           | 0              | 0.00          |             |  |   |   |               |               |
| <b>09 その他事務管理(議会)</b> |               |             |           |         |          |            |  |                 | <b>175,159</b> | <b>29,988</b> | <b>3.71</b> | <b>-</b>   |   |   |               |               |
|                       |               |             | 市議会運営事業   | 議会事務局   | B        | 見直し        | 傍聴者にとって本会議での内容が分かりやすく、より良い傍聴環境にするために、運営方法の改善や音響設備の改修などを行っているが、本会議や委員会の傍聴者は減少している。しかし、インターネットでの議会中継の視聴者は増加している。今後、ホームページや広報誌などで本会議や委員会の開催日程などの情報提供を積極的にを行い、本会議などの傍聴者や議会中継の視聴者の増加に努める。 | 本会議運営事務         | 44             | 5,070         | 0.64        | 自由意見(市民意識調査)には「議会・議員のことがよく分からない」ことから派生するものが多くあり、議会活動や議員報酬の状況を広報する必要がある。また、政務調査費は前渡方式を改め、かつ、使途制限強化(案分経費の排除)など制度改正を早急に変更できること。 | 編集委員会の任期が1年間であり、諸々の改善協議が難しい状況下にあるが、紙面のより充実を目指し助言の強化が必要である。政務調査費についても全国的な情報提供等による助言強化を行い、透明性の向上を図る必要がある。 | 4や高い                                      | 平均的な配分        |               |
|                       |               |             |           |         |          |            | 委員会運営事務  | 9               | 5,345          | 0.67          |             |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            | その他会議運営事務  | 0               | 152            | 0.02          |             |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            | 東備消防組合議会会議運営事務   | 0               | 403            | 0.05          |             |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            | 東備消防組合議会会議運営事務   | 0               | 0              | 0.00          |             |  |   |   |               |               |
|                       |               |             | 会議録作成運用事業 | 議会事務局   | B        | 見直し        | 会議録は、議員や市民などへの情報提供の手段として重要なものであり、正確性を確保しながら作業効率の向上に努め、会議録の早期情報提供を行う。また、常任委員会等の委員会録の公開を検討する。  | 会議録作成事務         | 2,449          | 1,944         | 0.25        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            |  | 会議録検索システム関連事務   | 623            | 76            | 0.01        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            |  | 委員会録作成事務        | 1,445          | 1,689         | 0.21        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            |  | その他会議録事務        | 27             | 76            | 0.01        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            |  | 東備消防組合議会会議録事務   | 0              | 0             | 0.00        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             | 市議会庶務事業   | 議会事務局   | C        | 現状継続       | 議長車の運行が円滑かつ効率的に実施できるように、議長の出張など公務が円滑に行われている。その他の事務については、予算の範囲内で現状が維持できるよう、創意工夫を続けること。  | 正副議長秘書事務        | 325            | 1,135         | 0.18        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            |  | 議長交際費事務         | 111            | 0             | 0.00        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            |  | 議員報酬・共済事務       | 155,218        | 986           | 0.13        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            |  | 議員出張管理事務        | 184            | 76            | 0.01        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            |  | 会議施設運営管理事務      | 1,756          | 299           | 0.03        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            |  | 公用車運行管理事務       | 195            | 158           | 0.03        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            |  | 各種協議会負担金事務      | 840            | 0             | 0.00        |  |   |   |               |               |
|                       |               |             |           |         |          |            |  | 議員履歴管理事務        | 0              | 76            | 0.01        |  |   |   |               |               |



| 政 策           |               |             | 施 策            |       |          |            |  |                  |       |       |      |             | 事務事業   |  |               |               | 施策評価 |  |  |  |
|---------------|---------------|-------------|----------------|-------|----------|------------|--|------------------|-------|-------|------|-------------|--|--|---------------|---------------|------|--|--|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名          | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名          | 直接事業費 | 人件費   | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント                                   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 法制事務             | 0     | 351   | 0.04 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 請願・陳情等取扱事務       | 0     | 152   | 0.02 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 職員研修事務           | 182   | 304   | 0.00 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | その他庶務事務          | 322   | 4,938 | 0.56 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 市議会広報事業        | 議会事務局 | C        | 見直し        | 情報発信の媒体としては、紙面が有効である。<br>企画、記事作成・編集の全てを議員の手で行い、真の議会広報を目指せば、投資コスト見合うサービス向上が図れると思うが、完全ではなく、まだまだ原稿作成から編集までの職員関与が減っていない。議員の自主性発揮に期待したい。<br>ホームページで議会だよりを広報すれば印刷コストや情報量の制限を気にすることは無いが、受け手の状況を考えれば、パソコンの普及を待たなければならぬだろう。<br>なお、市議会ホームページでの情報公開は、大幅に進展し充実してきている。                    | 市議会だより発行事務       | 2,883 | 1,926 | 0.21 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | ホームページ更新事務       | 0     | 1,010 | 0.13 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 問い合わせ対応事務        | 0     | 0     | 0.00 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 広告事務             | 0     | 0     | 0.00 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 市議会調査事業        | 議会事務局 | C        | 見直し        | 地方議員の調査活動基盤の充実のため、政務調査費の助成制度は必要なものであり、備前市議会が制定した条例等は、政務調査活動の完全公開など、透明性を確保しており、妥当性での評価は高いが、運用面でまだ認識が統一されていないなどにより、制度そのものの効果が完全に発揮されているとは言いがたい。<br>なお、議会報告会などの実施が昨年ほとんどなく、前年より後退した感がある。<br>また、補助内容では「案分経費」の取扱を厳格にすべきであり、「公費での補助」という認識に立ち、今後、政務調査活動に対する補助は、補助率を設定することも検討すべきである。 | 委員会視察事務          | 2,091 | 678   | 0.08 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 議員政務調査支援事務       | 6,114 | 603   | 0.07 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 資料収集事務           | 341   | 2,541 | 0.35 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  |                  | 305   | 4,604 | 0.58 | -           |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 10 その他事務管理(企画) |       |          |            |  |                  |       |       |      |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 特定地域活性化事業      | 企画課   | B        | 現状継続       | 地域間の格差は正に大きく貢献する事業であり、過疎化対策にも一定の効果があるため、引き続き市が関与していくべきものである。   | 中国電源地域市町村振興協議会会費 | 30    | 93    | 0.01 |             | 地域審議会については、平成19年度以降開催されていないが、新市まちづくり計画の計画実施、執行状況を把握していくうえで、審議会の運営について、どうすべきか十分検討する必要がある。 | 予算のない、人件費のみの事業が多いが、担当者の力量が問われるところでもあります。 | 2や低い          | 平均的な配分        |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 岡山県過疎地域対策協議会会費   | 45    | 93    | 0.01 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 岡山県離島振興協議会負担金    | 230   | 185   | 0.02 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             |                |       |          |            |  | 中山間地域活性化対策事業     | 0     | 185   | 0.02 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 定住人口増加対策事業     | 企画課   | C        | 拡充         | 団塊世代の大量退職時代を迎え、定住に関する相談件数は年々増加している。定住者受け入れ体制の充実が必要である。<br>定住促進に係る仕組みづくりを県と協働で行っている。空家情報提供システムについては体制整備を行い本格稼働となる。  | 定住化促進対策事務        | 0     | 487   | 0.06 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |
|               |               |             | 地域審議会事業        | 企画課   | C        | 現状継続       | 新市まちづくり計画の計画実施、執行状況を把握していく必要がある。   | 地域審議会事業          | 0     | 0     | 0.00 |             |  |  |               |               |      |  |  |  |

| 政 策           |               |             | 事 務 事 業                 |         |          |            |  |                |               | 施策評価          |             |  |  |  |               |               |
|---------------|---------------|-------------|-------------------------|---------|----------|------------|--|----------------|---------------|---------------|-------------|--|--|--|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名                   | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名        | 直接事業費         | 人件費           | 人工数         | 施設への<br>貢献度  | 課長コメント   | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               |             | 企画振興調整事業                | 企画課     | B        | 現状継続       | 具体的には、施政方針作成、各部の問題点と課題、企画政策・振興に係る補助及び交付金関係事務、その他の地域振興に係る事務など部署を超えて行う調整事務であり、市政の運営上引き続き必要な事務事業である。<br>地域振興調査においては、多様な行政調査、データ収集、報告のある中、調査の妥当性、有効性を判断して業務を実施していく必要がある。 | 補助金・交付金事業調整    | 0             | 244           | 0.03        |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            |  | 行政施策等企画調整事業    | 0             | 2,123         | 0.29        |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            |  | 地域振興調査事業       | 0             | 429           | 0.05        |  |  |  |               |               |
|               |               |             | 合併関係関連事業                | 企画課     | B        | 縮小         | 合併関連事務事業であり、具体的には合併未調整関連事務、合併補助金・交付金関連事務などを実施。すべての合併市町村で必要な事務である。  | 合併未調整事項関連事務    | 0             | 185           | 0.02        |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            |  | 合併関係補助金・交付金等事務 | 0             | 580           | 0.07        |  |  |  |               |               |
|               |               |             | <b>11 その他事務管理(統計)</b>   |         |          |            |  |                | <b>6,124</b>  | <b>3,151</b>  | <b>0.50</b> | <b>-</b>   |  |  |               |               |
|               |               |             | 統計(国・県委託)事業             | 企画課     | C        | 現状継続       | 人件費を削減するよう、効率的な推進に努めた。   | 工業統計調査事務       | 647           | 465           | 0.08        |  | 統計調査事業は、国の委託事業であり、引き続き実施しなければならない。また、21年度には5年ごとに実施される一番大事な統計であります「国勢調査」の調査区設定も予定されているので、遅滞なく実施していただきたい。さらに、市の統計書についても、今後の市の各種の施策運営のための重要な資料でありますので、引き続き作成していただきたい。 | 調査は、正確に間違いなくやるのが大切です。結果については、有効に使えるよう工夫してください。 | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |             |                         |         |          |            | 漁業センサス   | 895            | 174           | 0.03          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            | 経済センサス   | 16             | 174           | 0.03          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            | 住宅・土地統計調査  | 4,542          | 1,998         | 0.31          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             | 統計(単市)事業                | 企画課     | C        | 現状継続       | 市独自の統計を作成した。   | 備前市の統計等作成事務    | 24            | 340           | 0.05        |  |  |  |               |               |
|               |               |             | <b>12 その他事務管理(財産管理)</b> |         |          |            |  |                | <b>68,746</b> | <b>33,154</b> | <b>5.39</b> | <b>-</b>   |  |  |               |               |
|               |               |             | 庁舎維持管理事業                | 財政課     | B        | 現状継続       | 担当者等で修繕や簡易な作業を実施するとともに、老朽化した空調設備の改修工事については、財源を考えながら実施するなどコスト削減に努めている。  | 庁舎維持管理業務       | 28,897        | 2,990         | 0.39        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策本部となる本庁舎の耐震について研究してください。</li> <li>・未改修エアコンの計画的な改修を検討してください。</li> </ul> | 施設が老朽化しているため維持管理コストがかかっています。計画的に改修コストの削減に努めてください。  | 3中立  | 平均を下回る配分      |               |
|               |               |             |                         |         |          |            | 清掃業務   | 1,597          | 76            | 0.01          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            | 補修業務   | 1,308          | 152           | 0.02          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            | 共済業務   | 207            | 304           | 0.04          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            | 工事業務   | 1,927          | 228           | 0.03          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             | 日生総合支所維持管理事業            | 管理課(日生) | C        | 現状継続       | 組織として必要な業務であり、概ね良好に実施できていると考えられるが、維持管理費の削減等今後検討し継続する。  | 庁舎維持管理業務       | 8,468         | 1,057         | 0.28        |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            | 清掃業務   | 470            | 192           | 0.10          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            | 補修業務   | 471            | 427           | 0.05          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            | 共済業務   | 0              | 192           | 0.10          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            | 工事業務   | 0              | 0             | 0.00          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             | 吉永総合支所維持管理事業            | 管理課(吉永) | C        | 縮小         | 組織として必要な業務であり、概ね良好に実施できているが、経費削減に向け継続して取り組む。   | 庁舎維持管理業務       | 8,862         | 2,220         | 0.23        |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            | 清掃業務   | 327            | 376           | 0.04          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            | 補修業務   | 414            | 100           | 0.01          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            | 共済業務   | 18             | 58            | 0.01          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             |                         |         |          |            | 工事業務   | 0              | 0             | 0.00          |             |  |  |  |               |               |
|               |               |             | 三石出張所管理運営事業             | 市民課     | C        | 現状継続       | 平成20年度窓口業務等合計件数5,785件<br>評価視点を考慮した結果、市民サービス業務を今後も継続する必要がある<br>直接事業費増(H19年度対比)の事由<br>= A重油流出事故のため   | 三石出張所管理運営事業    | 7,609         | 11,880        | 2.00        |  |  |  |               |               |

| 政 策           |               | 施 策         |                         | 事 務 事 業   |          |            |   |  |                          |                          | 施策評価                         |             |  |  |               |               |
|---------------|---------------|-------------|-------------------------|-----------|----------|------------|---|--|--------------------------|--------------------------|------------------------------|-------------|--|--|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名                   | 所管        | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細 事 業 名  | 直接事業費                    | 人件費                      | 人工数                          | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント   | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               |             | 三国出張所管理運営事業             | 市民窓口課(専決) | C        | 現状継続       | 過疎地域で本庁、総合支所等から遠く、交通手段はバスしかない事から、ある程度の用件が本庁、総合支所等へ行かなくてもできるためにも出張所は必要である。                   | 三国出張所管理運営事業                                      | 1,822                    | 8,977                    | 1.60                         |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 不動産登記事業                 | 財政課       | C        | 現状継続       | 現員では、現状のまま継続しなければならぬが、計画的に法定外公共物の登記を完了させるためには、専属の人員配置が必要である。                                | 書類作成業務<br>登記業務                                   | 0<br>0                   | 531<br>911               | 0.07<br>0.12                 |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 土地取得事業                  | 財政課       | B        | 現状継続       | 先行取得用地ではあるが、利用計画が白紙の状態であり、有償整理が進まない状況であるため、有効活用を図りながら、有効活用可能性の低い用地については、普通財産での売却を検討する必要がある。 | 土地開発基金管理業務                                       | 31                       | 76                       | 0.01                         |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 三石財産区管理事業               | 財政課       | B        | 現状継続       | 適正な管理・運営が図れているものの、土地貸付収入が減少しており、特に、空き駐車場の利用促進に努めるなど、駐車場貸付契約者の増加を図る必要がある                     | 管理会運営業務<br>財産維持管理業務<br>財産区基金管理業務                 | 393<br>1,022<br>36       | 379<br>0<br>0            | 0.05<br>0.00<br>0.00         |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 三国地区財産区管理運営事業           | 市民窓口課(専決) | C        | 現状継続       | 森林の荒廃、地球温暖化を防ぐためにも引き続き森林の保育管理等を計画的に行う必要がある。   | 一般管理事業<br>財産区管理事業<br>植樹事業<br>分取造林事業              | 587<br>740<br>598<br>877 | 524<br>100<br>199<br>598 | 0.06<br>0.01<br>0.02<br>0.06 |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 土地開発公社事業                | 財政課       | D        | 現状継続       | 公社の存続意義が変化している中で、保有土地の計画的な売却を進め、保有財産が全て処分された時点で、公社解散を考える必要がある。                              | 財産維持管理業務<br>経理業務<br>調査報告業務<br>貸付金業務              | 0<br>90<br>0<br>1,975    | 152<br>303<br>152<br>0   | 0.02<br>0.04<br>0.02<br>0.00 |             |  |  |               |               |
|               |               |             | <b>13 その他事務管理(秘書)</b>   |           |          |            |   |  | <b>3,862</b>             | <b>21,813</b>            | <b>2.80</b>                  |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 表彰事業                    | 総務課       | B        | 現状継続       | 永続的に行うことで、その有効性が発揮される事業であって、継続実施するべきである。  | 功労・善行表彰<br>栄典関係事業<br>名誉市民表彰事業                    | 19<br>0<br>0             | 237<br>464<br>0          | 0.02<br>0.05<br>0.00         |             | 来朝者や電話でのクレームの対応については、相手方の傾向をよく把握し内容を検討のうえ、今後のクレーム等の対応を行いたい   | 定期的な行事の事前準備やマニュアル化の推進により無駄を省けています。   | 4 やや高い        | 平均的な配分        |
|               |               |             | 市長会事業                   | 総務課       | C        | 現状継続       | 地方六団体の一つであって、目的・対象ともに適切であり、国・県への要望や行政資料の収集、比較検討、調査研究に資する場として今後とも継続して実施すべきである。               | 全国市長会関係事業<br>全国市長会負担金<br>岡山県市長会関係事業<br>岡山県市長会負担金 | 249<br>395<br>0<br>1,767 | 93<br>0<br>243<br>0      | 0.01<br>0.00<br>0.03<br>0.00 |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 渉外・秘書事業                 | 総務課       | C        | 見直し        | 市長、副市長の日程調整及び関係者との円滑な協議、交渉等の場の設定を行い、その職務が最大限発揮できる環境を整えるため実施する必要がある。                         | 渉外事業<br>秘書事業<br>諸請願、陳情、要望関係事業                    | 440<br>724<br>268        | 1,282<br>19,494<br>0     | 0.15<br>2.54<br>0.00         |             |  |  |               |               |
|               |               |             | <b>14 その他事務管理(総務庶務)</b> |           |          |            |   |  | <b>21,277</b>            | <b>37,716</b>            | <b>4.70</b>                  |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 法規事務                    | 総務課       | C        | 現状継続       | 適正な行政事務執行のため、顧問弁護士の設定は必要である。訴訟結果に基づいて、同様な事案を生じないよう適正な事務執行が必要である。                            | 法規事務   | 800                      | 1,637                    | 0.17                         |             | 電子決済はそのほとんどがシステム化されたが、同時に紙媒体で行っているのが現状である。したがって紙媒体を減らす必要がある。 | 様々な研修、啓発等を通じて、職員の危機管理に訴え、法的トラブルを減少させること。また、担当職員の法的なレベルアップを図ることによって総務課への相談件数を減らすことに努めてください。 | 4 やや高い        | 平均を下回る配分      |
|               |               |             | 例規事務                    | 総務課       | C        | 現状継続       | 内部事務管理のため必要なものである。これまで以上のコスト削減は厳しいものがある。また、例規の制定、改廃する際に職員の労力が省力化できるようなシステム導入を検討する余地がある。     | 例規事務   | 5,744                    | 6,300                    | 0.75                         |             |  |  |               |               |

| 政 策           |               | 施 策         |                        | 事 務 事 業 |          |            |   |                          |              | 施 策 評 価       |              |             |   |   |               |               |
|---------------|---------------|-------------|------------------------|---------|----------|------------|---|--------------------------|--------------|---------------|--------------|-------------|---|---|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名                  | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細 事 業 名                  | 直接事業費        | 人件費           | 人工数          | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント  | 基本施策へ<br>の貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               |             | 文書收受、配布、発送事務           | 総務課     | C        | 現状継続       | 内部事務効率化のため、必要なものである。  | 文書收受、配布、発送事務             | 4,551        | 4,297         | 0.84         |             |   |   |               |               |
|               |               |             | 庶務事務                   | 総務課     | C        | 現状継続       | (空白)  | 議案作成事務                   | 67           | 2,167         | 0.25         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | ふるさと備前サポート基金積立事業         | 0            | 152           | 0.02         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 図書追録、新聞等購読               | 3,634        | 2,150         | 0.25         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 当直事務                     | 789          | 1,969         | 0.31         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 収納事務                     | 0            | 16,669        | 1.77         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 諸島地域渡航業務                 | 1,730        | 482           | 0.05         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 電話交換業務                   | 3,305        | 1,631         | 0.26         |             |   |   |               |               |
|               |               |             | 各種団体補助事務               | 総務課     | C        | 見直し        | 各種団体への補助は、義務的なものもあり廃止は難しいが、縮減に努める。  | 和気地区保護司会助成金              |              |               | 0.00         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 備前安全運転管理者協議会会費           | 296          |               |              |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 海上保安協会玉野支部会費             | 18           | 0             | 0.00         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 岡山検察審査協会助成金              | 27           | 0             | 0.00         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 遺体献納ともしび会補助金             | 10           | 0             | 0.00         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 備前署管内暴力追放推進連合会分担金        | 214          | 0             | 0.00         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 地方自治研究機構会費               | 18           | 0             | 0.00         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 岡山行政相談委員協議会会費            | 0            | 93            | 0.01         |             |   |   |               |               |
|               |               |             | 固定資産評価審査委員会事務          |         | C        | 現状継続       | 関係法令等で定められている事務である。   | 固定資産評価審査委員会事務            | 74           | 169           | 0.02         |             |   |   |               |               |
|               |               |             | <b>15 その他事務管理(職員)</b>  |         |          |            |   |                          | <b>3,733</b> | <b>1,168</b>  | <b>0.14</b>  | <b>-</b>    |   |   |               |               |
|               |               |             | 福利厚生事業                 | 総務課     | B        | 見直し        | 労働安全衛生法により事業主に課せられた義務であり、結果表も十分活用されている。H19年度から継続している保健指導により、職員衛生委員会を活用しながらも職員自身が健康であることの大切さを認識する必要がある。<br>職員表彰は、被表彰者はもちろん、他の職員が公務に献身する意欲を高めるために、平成20年度から記念品の授与を廃止したが、真に有効なものとなっているか検証する必要がある。 | 表彰事務事業                   | 0            | 76            | 0.01         |             | 職員のメタボリックシンドローム対策に取り組み、心身の健康相談事業について検証を行う必要がある                          | 数値は良くなっており、施策は有効に機能していると思えるが、内容を濃くして今後一層の充実を望みませぬ。      | 4 やや高い        | 平均的な配分        |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 厚生費補助事務事業                | 1,558        | 263           | 0.03         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 健康相談事務事業                 | 180          | 601           | 0.07         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 健康診断委託事務事業               | 1,995        | 228           | 0.03         |             |   |   |               |               |
|               |               |             | <b>16 その他事務管理(戸籍等)</b> |         |          |            |   |                          | <b>8,987</b> | <b>56,118</b> | <b>11.84</b> | <b>-</b>    |   |   |               |               |
|               |               |             | 戸籍事務                   | 市民課     | B        | 現状継続       | 戸籍総合システムの稼働により、戸籍関連業務の時間短縮、戸籍記載の正確性・迅速化が図られたが、戸籍事務は厳正さと迅速性が常に要求される業務であることから、引き続き職場研修を実施するなど、職員の資質向上に努め、市民サービスの向上・市民満足度を向上させていく。   | 戸籍事務                     | 368          | 9,328         | 1.43         |             | 窓口業務においては、調査結果を踏まえて、わかりやすい説明、親切な接客に努めてもらいたい。また、総合支所と連携し、効率的な業務遂行に努めること。 | 窓口での親切、迅速な対応が求められており、今後窓口の一本化(ワンストップサービス)に向けた具体的な取組が必要。 | 3 中立          | 平均的な配分        |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 戸籍関係証明類交付事務              | 226          | 9,582         | 2.08         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 埋火葬許可事務                  | 30           | 760           | 0.19         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 人口動態事務                   | 0            | 366           | 0.06         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 岡山県戸籍事務協議会負担金            | 6            | 224           | 0.03         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 岡山地方方法務局備前支局管内戸籍事務協議会負担金 | 20           | 0             | 0.00         |             |   |   |               |               |
|               |               |             | 住民基本台帳事務               | 市民課     | C        | 現状継続       | 市民満足度向上のため、事務処理に要する時間短縮及び親切丁寧な窓口対応、また、職員研修等の実施により専門知識を習得するとともに、本庁、支所、出張所で共通認識をもって公平な窓口対応に努める。   | 住民基本台帳事務                 | 352          | 9,039         | 1.43         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 住民基本台帳関係証明類交付事務          | 135          | 9,055         | 1.94         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 自動車臨時運行許可事務              | 59           | 829           | 0.20         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 印鑑登録事務                   | 509          | 1,701         | 0.36         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 印鑑証明発行事務                 | 103          | 5,516         | 1.33         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 外国人登録事務                  | 41           | 2,339         | 0.58         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 外国人記載事項証明                | 3            | 378           | 0.11         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | 外国人登録事務協議会負担金            | 1            | 187           | 0.02         |             |   |   |               |               |
|               |               |             |                        |         |          |            |   | その他窓口事務                  | 1            | 3,974         | 1.71         |             |   |   |               |               |

| 政 策           |               |             | 施 策                      |       |          |            |  |                                    |                       |                                |                              |             | 施策評価  |   |               |               |  |
|---------------|---------------|-------------|--------------------------|-------|----------|------------|--|------------------------------------|-----------------------|--------------------------------|------------------------------|-------------|---|---|---------------|---------------|--|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名                    | 所管    | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価   | 細 事 業 名                            | 直接事業費                 | 人件費                            | 人工数                          | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント  | 部長コメント  | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |  |
|               |               |             | 住民基本台帳ネットワークシステム事務       | 市民課   | C        | 現状継続       | 住民基本台帳カードは、住民サービスの向上・住民の利便性の向上・市の事務の効率化が図られるため普及が望まれるが、当市においても1パーセント強（平成21年3月末現在）と低迷である。   | 住民基本台帳ネットワークシステム運用事務               | 2,399                 | 1,033                          | 0.14                         |             |   |   |               |               |  |
|               |               |             | 出産祝金事務                   | 市民課   | B        | 廃止<br>完了   | 平成20年度で廃止となった事業であるが、要件該当者の支給漏れがないよう努めた。本来ならば、事業内容としては子育て支援事業であるため当該担当でもって欲しかった。  | 出産祝金事務                             | 2,360                 | 530                            | 0.07                         |             |   |   |               |               |  |
|               |               |             | 旅券発券事務                   | 市民課   | C        | 現状継続       | 平成18年10月から移譲された事業である。事務処理時間の短縮や職員の共通知識を深めることを目指し研修会への参加と職場研修を積極的に行ってきた。申請から交付までの旅券発給事務の手続等を適切かつ迅速に行うことができ、市民の方にも満足いただける対応ができたと考え。                  | 旅券発券事務                             | 2,374                 | 1,277                          | 0.16                         |             |   |   |               |               |  |
|               |               |             | <b>17 その他事務管理(出納)</b>    |       |          |            |  |                                    | <b>1,267</b>          | <b>51,269</b>                  | <b>5.84</b>                  |             |   |   |               |               |  |
|               |               |             | 会計事務事業                   | 出納室   | B        | 現状継続       | 20年度については収入・支出伝票数は減少しているがこれ以上の削減は難しいと考える。今後は事務担当者への研修等を行い、事務の迅速・適正執行に努める。  | 審査事務<br>決算事務<br>出納事務<br>県都市管理者会負担金 | 42<br>333<br>323<br>6 | 32,579<br>1,769<br>16,921<br>0 | 3.60<br>0.20<br>2.04<br>0.00 |             | 迅速かつ適正な事務執行が図れるよう職員研修等により精度の高い事務処理に取り組むこと。                    | 会計事務の重要性を認識し、正確で適正な事務処理が行われるよう間違いやすい事例、問題点等を職員研修会で説明し、会計事務担当者の理解と向上に取り組むこと。 | 4 やや高い        | 平均的な配分        |  |
|               |               |             | 一時借入事務                   | 出納室   | B        | 現状継続       | 市の歳計現金の適切な運用を行う業務であり、今後も現事業を継続して実施する必要がある。   | 一時借入金                              | 563                   | 0                              | 0.00                         |             |   |   |               |               |  |
|               |               |             | <b>18 その他事務管理(教育委員会)</b> |       |          |            |  |                                    | <b>16,347</b>         | <b>31,815</b>                  | <b>3.37</b>                  |             |   |   |               |               |  |
|               |               |             | 教育委員会運営事業                | 教育総務課 | B        | 現状継続       | 教育関係予算、例規、諸行事などの審議や、その時々々の教育に関する諸問題について協議を行い、教育行政の方向性を決定する教育委員会会議は、効率化よりもむしろ有効性を高める方向に改善していかねばならない。20年度は、委員が適切な判断ができるための資料提供や学校訪問、社会教育施設視察の充実に努めた。 | 教育委員会運営事業                          | 3,204                 | 3,525                          | 0.36                         |             | どの事業も法律上必要な事業であるので、効率的な事務を行う必要がある。また、学校の業務改善を行うことで事務の効率化を図れる。 | 教育委員会部門の生涯学習課の人権教育、学校教育課の幼稚園運営部門、現在の公民館の組織について市民主体の観点から再検討する必要がある。          | 3 中立          | 平均的な配分        |  |
|               |               |             | 教育委員会事務局運営事務(教育総務課)      | 教育総務課 | C        | 現状継続       | 事務局運営に要する消耗品など、經常経費の削減に努めたが、事務局が本庁から移転し独立した建物となり、直接事業全体では対前年177.5%の増となった。増加した主な原因は、光熱水費、電話代である。  | 教育委員会事務局運営事務<br>教員住宅管理運営事業         | 4,195<br>191          | 14,964<br>0                    | 1.52<br>0.00                 |             |   |   |               |               |  |

| 政策            |               |             | 事務事業                       |         |          |            |   |  |   |   |  |             | 施策評価   |  |               |               |
|---------------|---------------|-------------|----------------------------|---------|----------|------------|---|--|---|---|--|-------------|--|--|---------------|---------------|
| 大項目<br>(基本目標) | 中項目<br>(基本施策) | 小項目<br>(施策) | 事務事業名                      | 所管      | 評価<br>区分 | 今後の方<br>向性 | 総合評価  | 細事業名   | 直接事業費   | 人件費   | 人工数  | 施設への<br>貢献度 | 課長コメント   | 部長コメント                                       | 基本施策への<br>貢献度 | 翌年度予算<br>の方向性 |
|               |               |             | 教育委員会事務局運営事業(学校教育課)        | 学校教育課   | B        | 現状継続       | 法令に基づく事業であり、事業の実施については検討の余地はない。入札の実施によりコストの削減を図ろうとしているが、実施時期等の点で不調におわることが多くなっている。今後、複数年での委託が可能かどうか検討していきたい。                                     | 教育委員会事務局運営事務   | 5,112   | 693   | 0.08   |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 学校運営事務局事業                  | 学校教育課   | B        | 現状継続       | 学校管理下の事故に対する災害給付は必要なものであり、事業の目的は妥当であるが、幼児児童生徒の学校管理下の事故件数と事業費の負担額は関連がないことから、成果の向上を確むことは難しい。また、校園長会の運営については、より効率的な運営方法について検討していきたい。               | 独立行政法人スポーツ振興センター負担金事務<br>結核対策委員会負担金事務<br>租税教育推進事業<br>校園長会運営事業<br>学校保健事務<br>教科書採択事務事業   | 3,184<br>54<br>80<br>0<br>327<br>0                            | 992<br>50<br>21<br>671<br>1,661<br>0                              | 0.11<br>0.01<br>0.00<br>0.07<br>0.18<br>0.00                                 |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 人事事務事業                     | 学校教育課   | B        | 現状継続       | 学校の活性化を図り、教職員個々の意欲の向上及び能力を発揮できる場の提供のため、積極的に人事交流をすすめていく必要がある。そのための事務を行うこの事業は本市教育委員会にとっても重要な事業である。  | 人事事務   | 0   | 6,940   | 0.69   |             |  |  |               |               |
|               |               |             | 就学事務事業                     | 学校教育課   | C        | 現状継続       | 転入学・就学事務については、正確性を損なわずに、事務の簡素化を図るため手順の見直しを考えていくとともに、確固たる基準をもとに処理をすすめていく必要があると考える。   | 転入学等事務事業   | 0   | 2,298   | 0.35   |             |  |  |               |               |
|               |               |             | <b>19 その他事務管理(選挙管理委員会)</b> |         |          |            |   |  |   | <b>21,948</b>   | <b>15,002</b>  | <b>2.30</b> | <b>-</b>   |  |               |               |
|               |               |             | 選挙管理委員会事務                  | 選挙管理委員会 | C        | 整理統合       | 選挙管理委員会事務は法に基づくもので、効果を測定することが困難である。また、指標については人口や選挙によって変動があるが、他の有効な手段が見つからないため、現状での継続としている。しかし、啓発事業については、有効な指標等で評価を得られるので、H22年度からは別の事業として判定をしたい。 | 選挙管理委員会運営事業<br>全国市区選挙管理委員会連合会負担金<br>岡山県都市選挙管理委員会連合会負担金<br>選挙啓発事業   | 2,663<br>33<br>23<br>23                                       | 3,379<br>58<br>262<br>274   | 0.39<br>0.01<br>0.03<br>0.04   |             | 投票率の向上を目指すため、啓発事業や投票所の統廃合を検討する必要がある。   | 若年層の投票率が大幅に下がっている中で、啓発活動を中心とした事業を充実させる必要がある。 | 3中立           | 平均的な配分        |
|               |               |             | 選挙執行                       | 選挙管理委員会 | B        | 見直し        | 選挙により投票率は異なるが、最近では期日前に投票する選挙人が増えている。啓発活動も当然必要だが、期日前投票所の利便性向上なども検討する必要がある。また、投票所の効率化も必要である。  | 市議会議員選挙事業<br>市長選挙事業<br>県知事選挙事業<br>岡山海区漁業調整委員会委員選挙事業<br>農業委員会委員選挙事業   | 375<br>1,125<br>16,708<br>844<br>154                          | 0<br>2,808<br>4,667<br>1,608<br>1,946                             | 0.00<br>0.40<br>0.89<br>0.28<br>0.26   |             |  |  |               |               |
|               |               |             | <b>20 その他事務管理(監査委員)</b>    |         |          |            |   |  |   | <b>2,008</b>  | <b>13,839</b>  | <b>1.53</b> | <b>-</b>   |  |               |               |
|               |               |             | 監査委員事務                     | 監査事務局   | B        | 現状継続       | 事業の目的、対象等は妥当であり、今後も法令等に基づき継続していく。また職場内でのコミュニケーションを高め、監査委員と補助職員の意見を共有化することにより効率的な監査を実施していく。成果指標の到達目標値は、監査内容の充実を図りながら実施する。                        | 例月現金出納検査業務<br>決算等審査業務<br>定期監査業務<br>財政援助団体等監査業務<br>随時監査業務<br>全国都市監査委員会負担金<br>西日本都市監査委員会負担金<br>中国都市監査委員会負担金<br>県都市監査委員会負担金<br>請求に基づく監査業務 | 168<br>370<br>489<br>138<br>188<br>22<br>3<br>0<br>402<br>228 | 4,097<br>3,216<br>2,470<br>594<br>670<br>0<br>0<br>1,327<br>1,465 | 0.41<br>0.36<br>0.28<br>0.07<br>0.08<br>0.01<br>0.00<br>0.00<br>0.15<br>0.17 |             | 行政需要が増大する中で、効率的・効果的な監査業務が実施できるよう、更なる監査手法の検討やフォローアップが必要である。また、市民に対し、監査制度や監査結果等を分かりやすく公表する必要がある。 | -  | 4やや高い         | 平均を上回る配分      |